

---

**留萌市**  
**高齢者・介護保険アンケート調査報告書**  
(第6期 日常生活圏域ニーズ調査報告書)

---

平成 26 年 11 月  
留萌市

# 目次

<b>第1章 調査の概要</b>	<b>2</b>
1. 調査の概要.....	3
2. 調査票の回収結果.....	3
3. 集計結果の表し方.....	3
<b>第2章 集計結果</b>	<b>4</b>
1. 回答者の属性について.....	5
2. ご家族や生活状況について.....	7
3. 運動・閉じこもりについて.....	16
4. 転倒について.....	22
5. 口腔・栄養について.....	25
6. 物忘れについて.....	31
7. 日常生活について.....	34
8. 社会参加について.....	45
9. 健康について.....	57
<b>第3章 市独自設問の集計結果</b>	<b>67</b>
1. 将来の住まいについて.....	68
2. 高齢者福祉事業について.....	70
3. 今後のことについて.....	76

---

## 第1章 調査の概要

---

## 1. 調査の概要

本調査は、平成27年度を初年度とする『第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	平成26年6月1日現在、市内に在住する65歳以上の方、3,000人
抽出方法	無作為抽出
調査期間	平成26年6月26日～平成26年7月11日
調査方法	郵送による調査票の配布・回収

## 2. 調査票の回収結果

調査票の配布数	3,000	—
調査票の回収数	1,993	66.4%
集計対象	1,993	66.4%
集計対象外（白票）	0	0.0%

## 3. 集計結果の表し方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計（性・年齢階級別の集計など）の図については、分析軸の項目の後に（n=XX）として、各項目の回答者数を表記しています。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

---

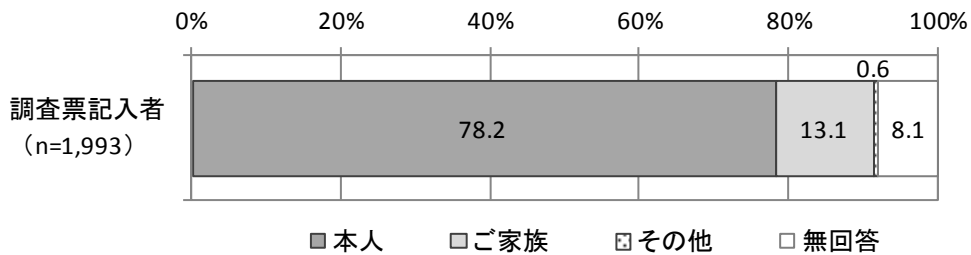
## 第2章 集計結果

---

# 1. 回答者の属性について

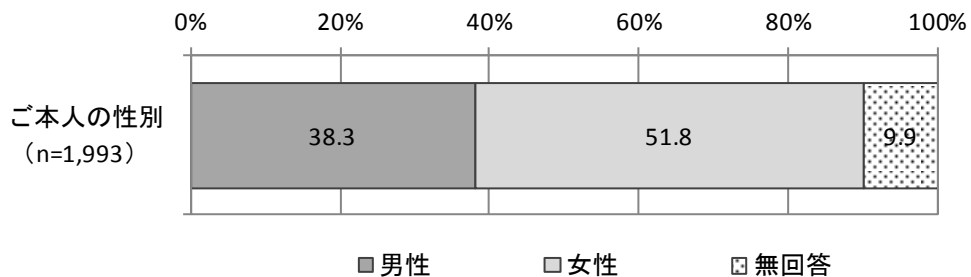
## (1) 調査票の記入者

調査票の記入者は、「本人」が78.2%で最も多く、次いで「ご家族」(13.1%)、「その他」(0.6%)の順となっています。



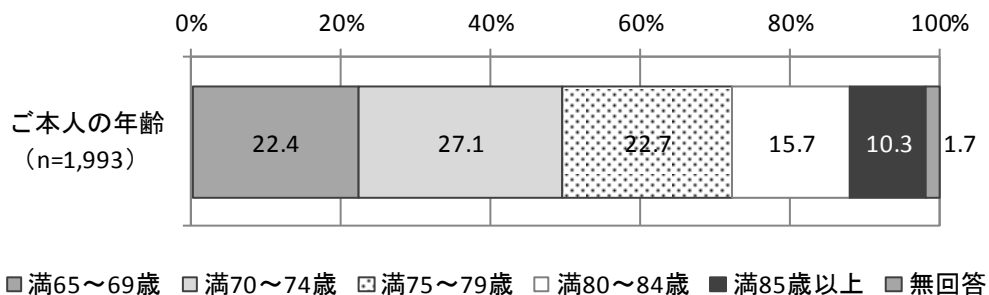
## (2) ご本人の性別

ご本人の性別は、「男性」が38.3%、「女性」が51.8%となっています。



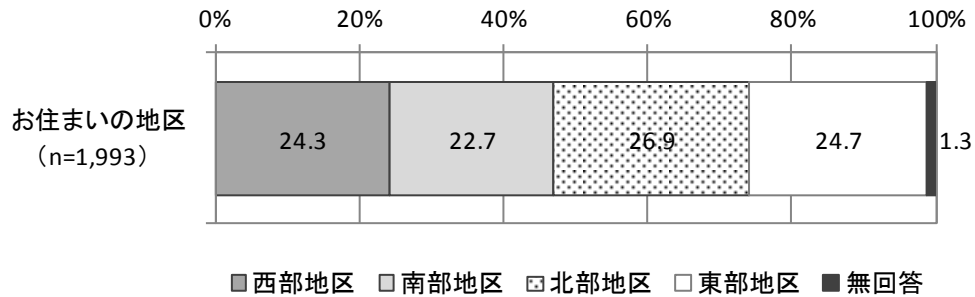
## (3) ご本人の年齢

ご本人の年齢は、「満70～74歳」が27.1%で最も多く、次いで、「満75～79歳」(22.7%)、「満65～69歳」(22.4%)と続いています。



#### (4)ご本人のお住まい

お住まいの地区は、「北部地区」が26.9%で最も多く、次いで「東部地区」(24.7%)、「西部地区」(24.3%)、「南部地区」(22.7%)の順となっています。



《地区名と町名の対応表》

地区名	町名
西部地区	明元町、旭町、泉町、大町、寿町、幸町、瀬越町、錦町、本町、港町、宮園町
南部地区	沖見町、浜中町、平和台、見晴町、礼受町
北部地区	開運町、春日町、栄町、三泊町、塩見町、末広町、住之江町、千鳥町、野本町、花園町、船場町、元町
東部地区	五十嵐町、大和田町、東雲町、高砂町、樽真布町、潮静、峠下町、藤山町、堀川町、幌糠町、緑ヶ丘町、南町、元川町

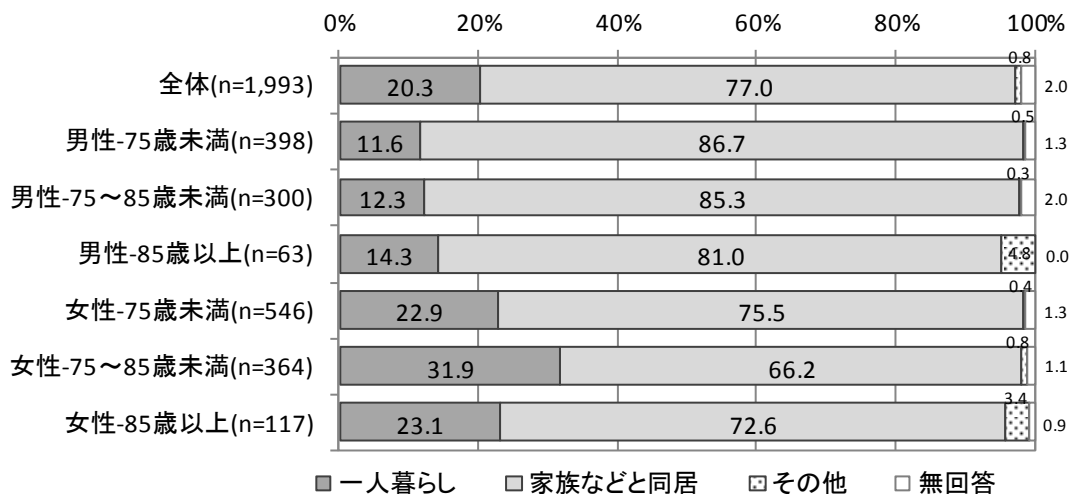
## 2. ご家族や生活状況について

### A-問 1. 家族構成をお教えてください。(1つに○)

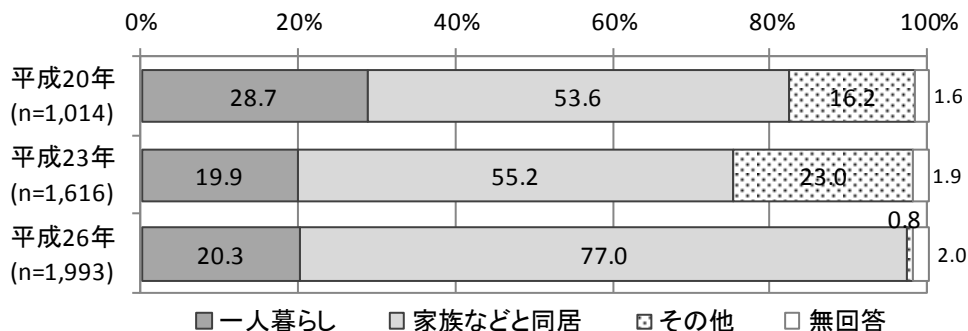
全体では、「家族など同居」が77.0%を占めています。「一人暮らし」は全体と比べて男性は少なく、女性は多い傾向にあり、特に女性の75～85歳未満では「一人暮らし」が31.9%と多くなっています。

過去の調査結果との比較では、「一人暮らし」は前回調査時の平成23年とほぼ変わっていませんが、「家族など同居」は77.0%で前回から約20ポイント増となっています。前回以前の調査では「夫婦世帯」、「一人暮らし、夫婦世帯以外の65歳以上世帯」、「その他世帯」と選択肢が分かれていたため、「その他」に含まれていた家族同居世帯が、今回調査の「家族など同居」と回答したためと考えられます。

《家族構成》



《家族構成（過去調査との比較）》



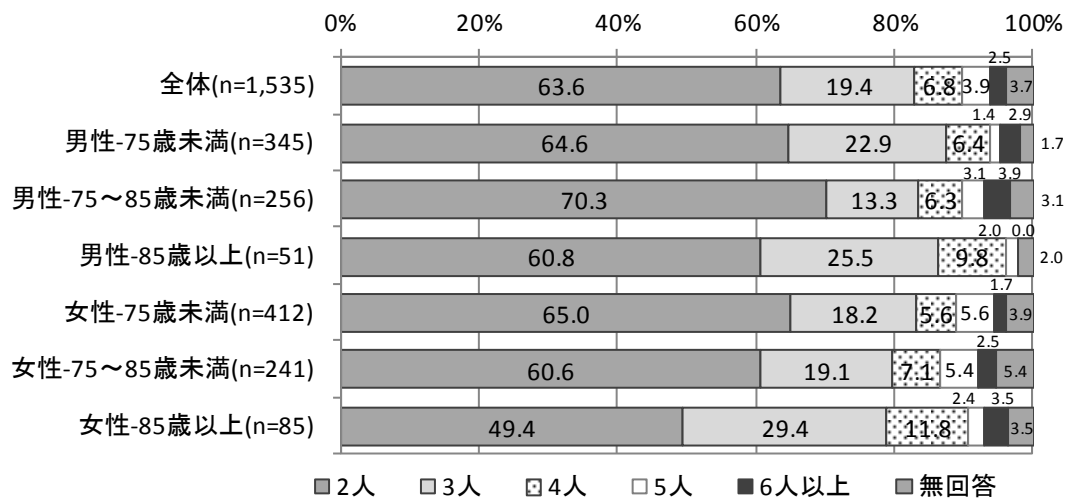


**A-問 1-1. (家族など同居されている方のみ)ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか(いくつでも)**

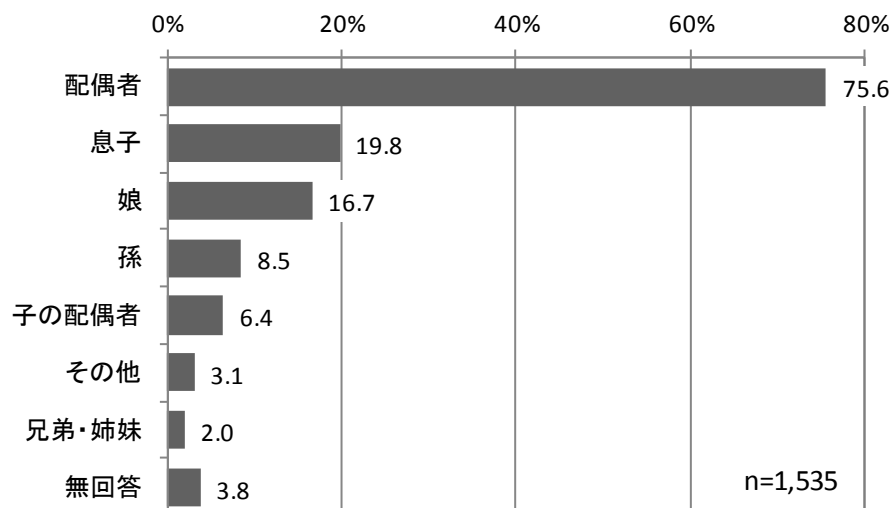
家族と同居されている人の同居人数は、全体では「2人」が63.6%で最も多く、次いで「3人」(19.4%)、「4人」(6.8%)と続いています。

また、同居している家族は、「配偶者」が75.6%を占めており、「配偶者と2人で暮らしている高齢者世帯」が市内に多くの割合で存在することが推測されます。

《ご自分を含めて何人で暮らしていますか》



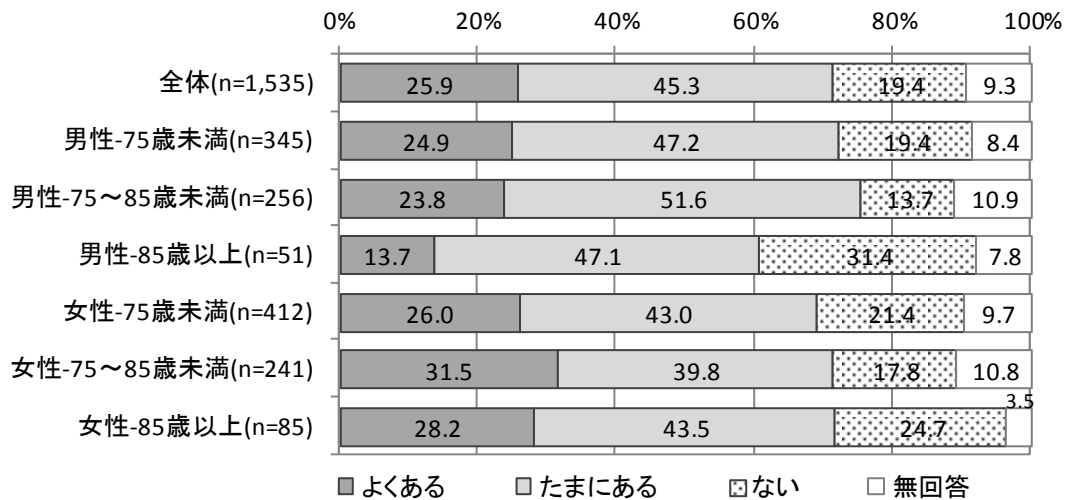
《同居されている方はどなたですか》



### A-問 1-2. (家族など同居されている方のみ)日中、1人になることがありますか

家族など同居している 1,535 人のうち、日中、1人になることが「よくある」は、全体では 25.9%となっています。「よくある」「たまにある」を合わせた場合、家族など同居していても、日中、1人になることがある人は、性・年齢階級別に関係なく6～7割となっています。

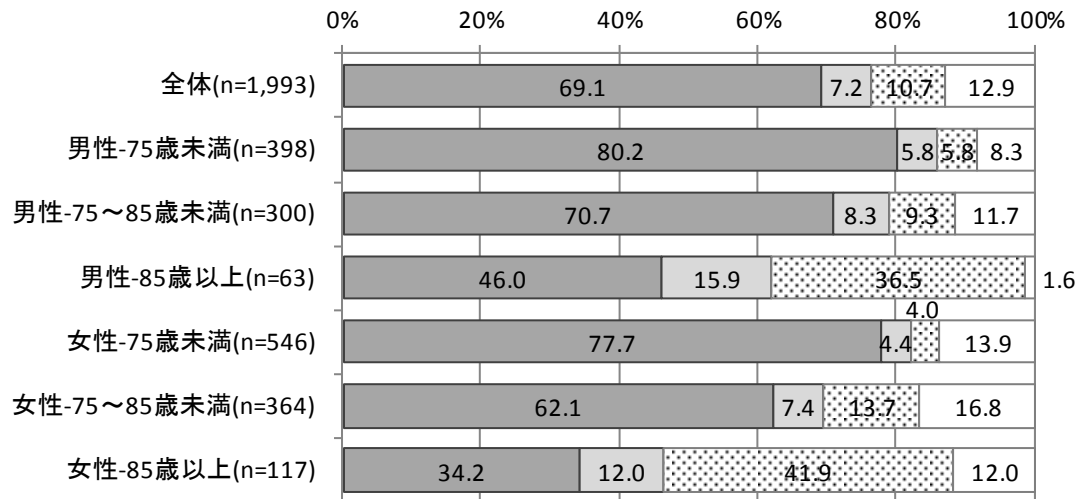
《日中、1人になることがありますか》



## A-問 2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(1つに○)

介護・介助の必要性は、男女ともに75歳未満の約8割は「介護・介助の必要はない」と回答しています。85歳以上になると、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が男性で36.5%、女性で41.9%と増加しています。

《普段の生活で介護・介助が必要かどうか》



- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▨ 現在、何らかの介護・介助を受けている
- 無回答

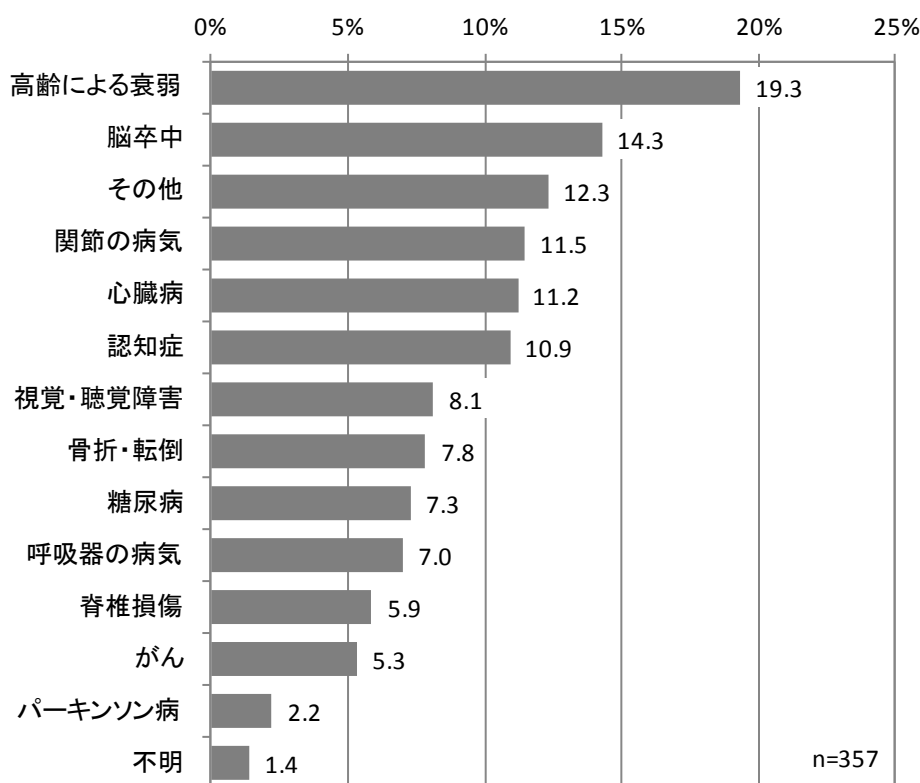
## A-問 2-1. (介護・介助が必要な方のみ)

### 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、全体では「高齢による衰弱」19.3%が最も多く、次いで「脳卒中」(14.3%)、「その他」(12.3%)、「関節の病気」(11.5%)「心臓病」(11.2%)と続いています。

また、性・年齢階級別にみると、男女ともに75歳未満では「脳卒中」が21.7%で最も多く、男性の75歳～85歳未満では「呼吸器の病気」(18.9%)、女性の75歳～85歳未満では「関節の病気」(18.2%)が最も多い状況です。85歳以上は男女ともに「高齢による衰弱」が最も多くなっています。

《介護・介助が必要になった主な原因》



《介護・介助が必要になった主な原因の上位3項目》

	1位	2位	3位
全体 (n=357)	高齢による衰弱 19.3%	脳卒中 14.3%	その他 12.3%
男性 75歳未満 (n=46)	脳卒中 21.7%	心臓病 17.4%	視覚・聴覚障害、その他 8.7%
男性 75～85歳未満 (n=53)	呼吸器の病気 18.9%	心臓病 15.1%	脳卒中、視覚・聴覚障害 13.2%
男性 85歳以上 (n=33)	高齢による衰弱 42.4%	その他 21.2%	認知症 18.2%
女性 75歳未満 (n=46)	脳卒中 21.7%	関節の病気 17.4%	高齢による衰弱 10.9%
女性 75～85歳未満 (n=77)	関節の病気 18.2%	その他 15.6%	高齢による衰弱 14.3%
女性 85歳以上 (n=63)	高齢による衰弱 34.9%	認知症 30.2%	骨折・転倒 17.5%

《介護・介助が必要になった主な原因（性・年齢階級別）》

（単位：％）

	脳卒中	心臓病	がん	呼吸器の病気	関節の病気	認知症	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒
全体 (n=357)	14.3	11.2	5.3	7.0	11.5	10.9	2.2	7.3	8.1	7.8
男性 75 歳未満 (n=46)	21.7	17.4	6.5	4.3	4.3	6.5	2.2	4.3	8.7	0.0
男性 75～85 歳未満 (n=53)	13.2	15.1	11.3	18.9	3.8	7.5	0.0	7.5	13.2	11.3
男性 85 歳以上 (n=33)	6.1	6.1	6.1	9.1	3.0	18.2	3.0	6.1	15.2	6.1
女性 75 歳未満 (n=46)	21.7	8.7	4.3	8.7	17.4	4.3	2.2	8.7	4.3	4.3
女性 75～85 歳未満 (n=77)	10.4	10.4	3.9	3.9	18.2	3.9	0.0	6.5	5.2	7.8
女性 85 歳以上 (n=63)	12.7	6.3	3.2	3.2	11.1	30.2	6.3	7.9	7.9	17.5

	頸椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体 (n=357)	5.9	19.3	12.3	1.4	24.6
男性 75 歳未満 (n=46)	4.3	4.3	8.7	2.2	26.1
男性 75～85 歳未満 (n=53)	7.5	11.3	11.3	0.0	24.5
男性 85 歳以上 (n=33)	6.1	42.4	21.2	0.0	15.2
女性 75 歳未満 (n=46)	4.3	10.9	6.5	0.0	34.8
女性 75～85 歳未満 (n=77)	10.4	14.3	15.6	1.3	31.2
女性 85 歳以上 (n=63)	4.8	34.9	14.3	1.6	11.1

※網掛け部は「無回答」を除き、各属性ごとに最も割合が高い箇所

**A-問 2-2. (介護・介助を受けている方のみ)**

**主にどなたの介護・介助を受けていますか**

**A-問 2-3. (介護・介助を受けている方のみ)**

**主に介護・介助している方の年齢は？**

主に誰から介護・介助を受けているかは、全体では「配偶者」が35.2%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」(23.9%)、「娘」(16.0%)と続いています。また、85歳以上の女性は「介護サービスのヘルパー」が30.6%で最も多くなっていますが、「娘」(26.5%)、「息子」(20.4%)の割合も高くなっています。

介護・介助している人の年齢は、全体では「65歳未満」が32.4%で最も多くなっていますが、65歳以上は合計で55.0%となっており、高齢者による介護の割合が高くなっています。

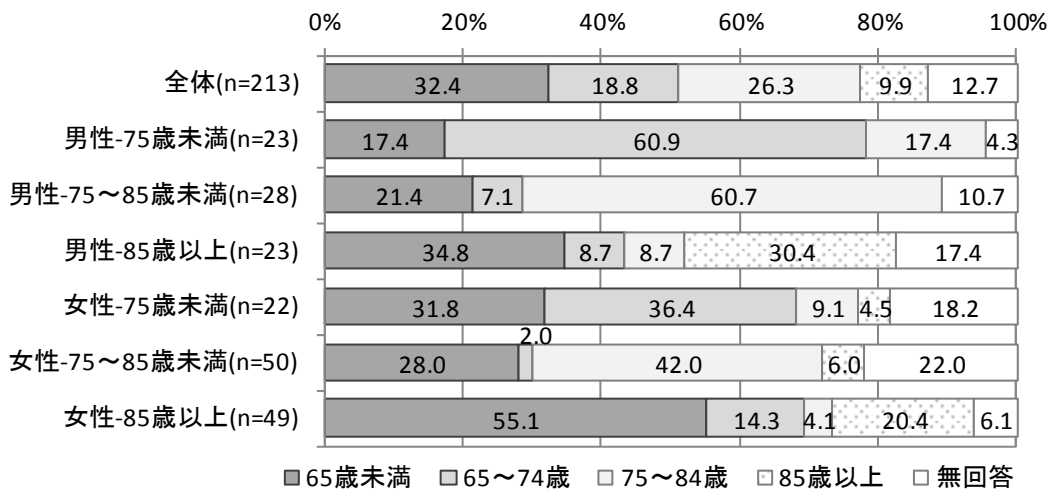
《主にどなたの介護・介助を受けているか》

(単位：%)

	配偶者	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体(n=357)	35.2	9.4	16.0	2.3	0.0	2.3	23.9	4.7	6.1
男性 75歳未満(n=46)	65.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	17.4	0.0	8.7
男性 75～85歳未満(n=53)	67.9	0.0	10.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1
男性 85歳以上(n=33)	34.8	0.0	21.7	0.0	0.0	0.0	26.1	4.3	13.0
女性 75歳未満(n=46)	40.9	4.5	18.2	0.0	0.0	4.5	18.2	4.5	9.1
女性 75～85歳未満(n=77)	28.0	6.0	18.0	4.0	0.0	0.0	30.0	8.0	6.0
女性 85歳以上(n=63)	8.2	20.4	26.5	4.1	0.0	2.0	30.6	6.1	2.0

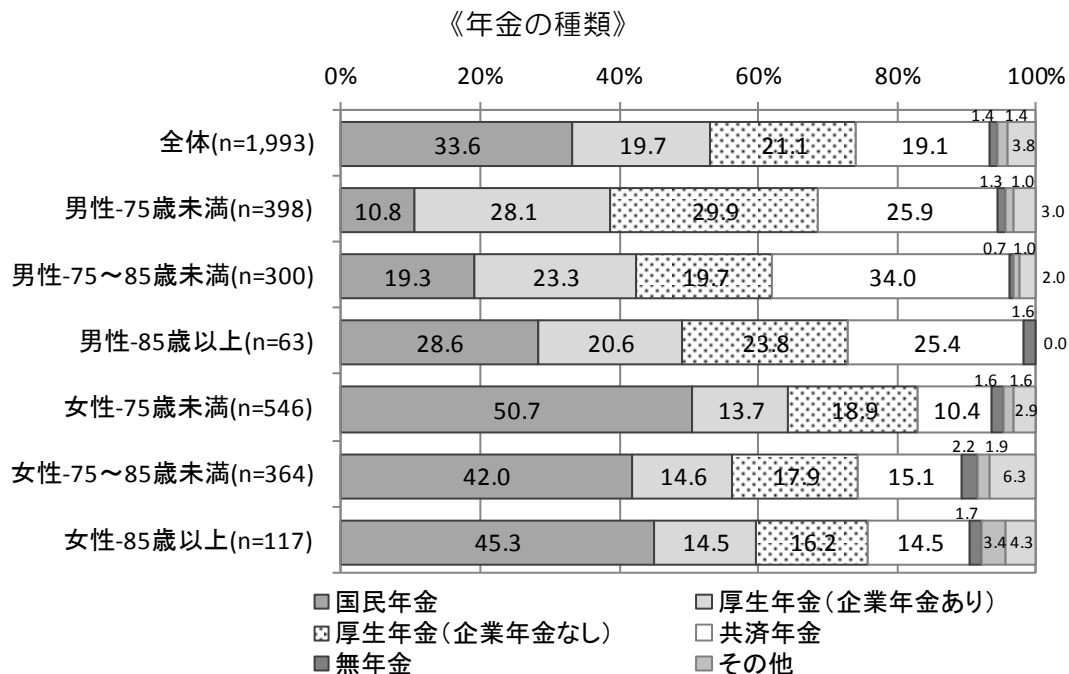
※網掛け部は「無回答」を除き各属性ごとに最も割合が高い箇所

《主に介護・介助している方の年齢》



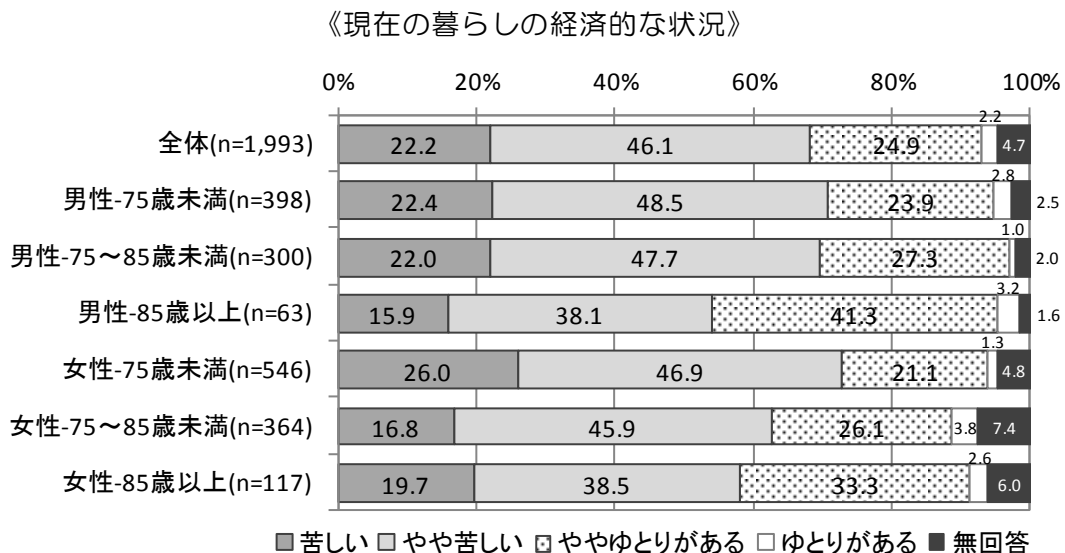
### A-問 3. 年金の種類は次のどれですか

年金の種類は、全体で「国民年金」が 33.6%で最も多く、次いで「厚生年金（企業年金なし）」（21.1%）、「厚生年金（企業年金あり）」（19.7%）と続いています。



### A-問 4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の暮らしの経済的状況は、全体では「苦しい」が 22.2%、「やや苦しい」が 46.1% となっており、合計で約7割が経済的に苦しい状況です。性・年齢階級別にみると、75歳未満の女性は 26.0%の人が「苦しい」、46.9%が「やや苦しい」と回答しており、全体と比べて多くなっています。



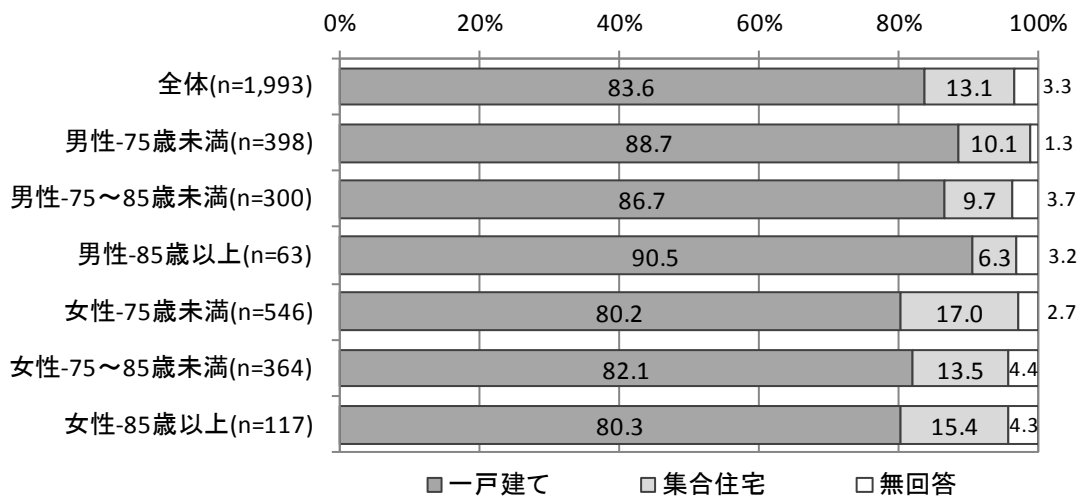
**A-問 5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つに○）**

**A-問 6. お住まいは次のどれにあたりますか（1つに○）**

住まいは、全体、性・年齢階級別にかかわらず、約8割以上が「一戸建て」となっています。

住まいの種類は、全体では「持家」が79.1%を占め、次いで「公営住宅」が11.2%で続いています。

《住まいは一戸建てか集合住宅か》



《住まいの種類》

(単位：%)

	持家	民間賃貸住宅	公営住宅	借間	その他	無回答
全体 (n=1, 993)	79.1	4.1	11.2	1.1	2.2	2.4
男性 75 歳 未 満 (n=398)	83.9	4.5	7.8	1.0	1.8	1.0
男性 75～85 歳 未 満 (n=300)	83.0	4.0	7.7	1.0	1.3	3.0
男性 85 歳 以 上 (n=63)	84.1	3.2	7.9	1.6	3.2	0.0
女性 75 歳 未 満 (n=546)	74.5	3.8	15.8	0.9	2.7	2.2
女性 75～85 歳 未 満 (n=364)	79.9	4.1	10.2	1.1	1.4	3.3
女性 85 歳 以 上 (n=117)	76.1	2.6	13.7	1.7	4.3	1.7

※網掛け部は「無回答」を除き各属性ごとに最も割合が高い箇所



### 3. 運動・閉じこもりについて

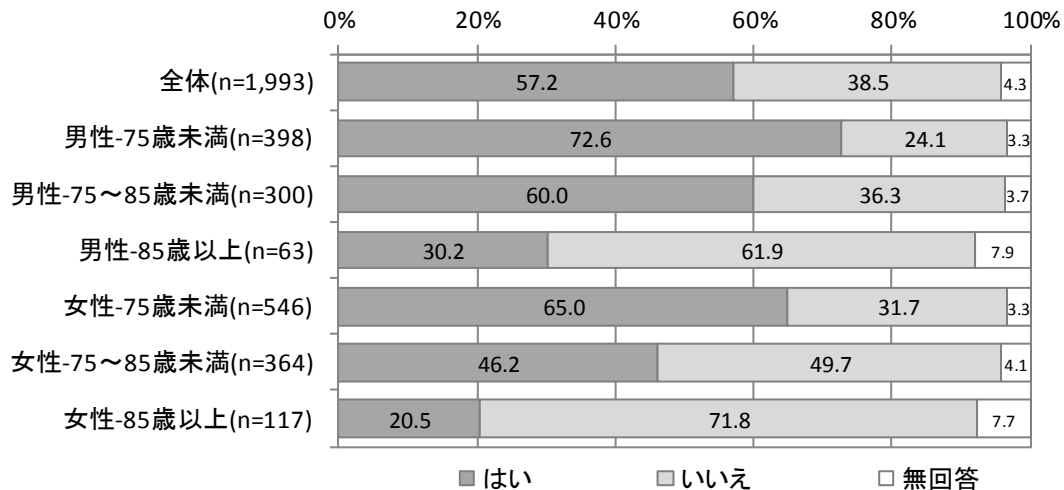
B-問 1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

B-問 2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

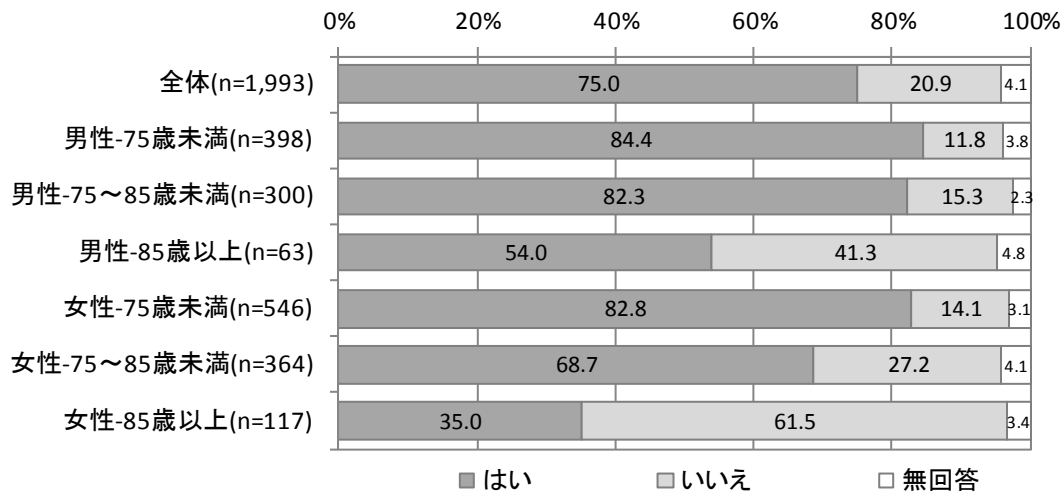
全体では、“手すりや壁をつたわずに階段を昇り降りできる”人は、57.2%となっています。男女ともに年齢が高くなるにつれて“手すりや壁をつたわずに階段を昇り降りできる”人の割合が少なくなっています。

“何もつかまらずに椅子から立ち上がれる”人は、全体では75.0%となっていますが、85歳以上で急激に少なくなり、男性が54.0%、女性は35.0%となっています。

《階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしていますか》



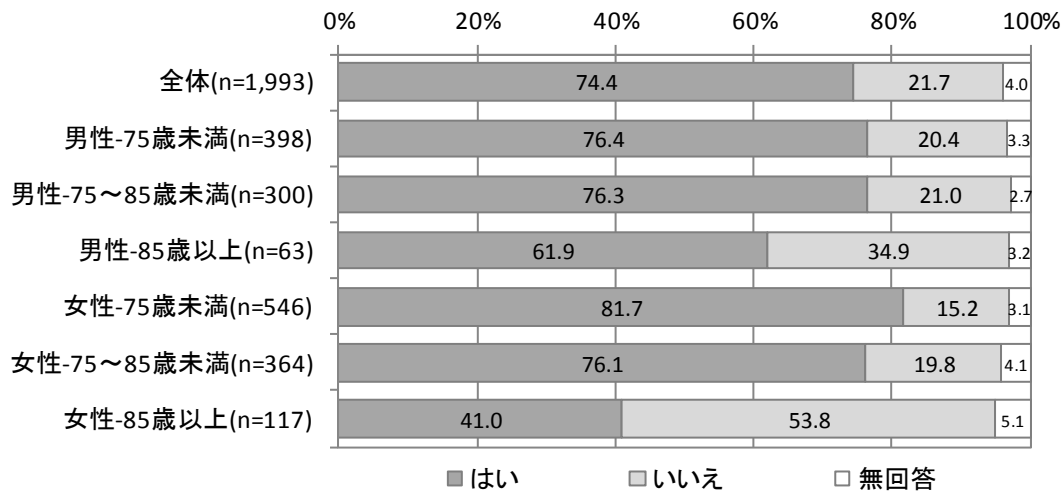
《椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか》



### B-問 3. 15分くらい続けて歩いていますか

全体では、“15分くらい続けて歩いている”人は74.4%を占めています。男性は、75歳未満と75～85歳未満の間で差はほとんどありませんが、85歳以上になると「はい」の割合が75～85歳未満より約15ポイント減少しています。女性は、年齢とともに“15分くらい続けて歩いている”割合が徐々に少なくなり、85歳以上になると急激に減少しています。

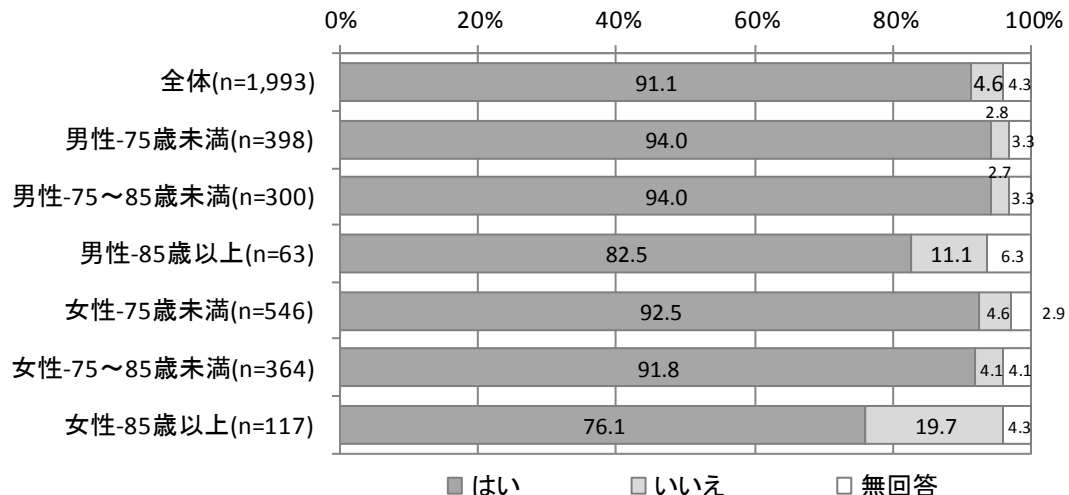
《15分くらい続けて歩いていますか》



### B-問 4. 5m以上歩けますか

全体では、“5m以上歩ける”人は91.1%を占めています。85歳以上になると“5m以上歩ける”人の割合は、男性が約12ポイント、女性は約15ポイント減少しています。

《5m以上歩けますか》



**B-問 5. 週に 1 回以上は外出していますか**

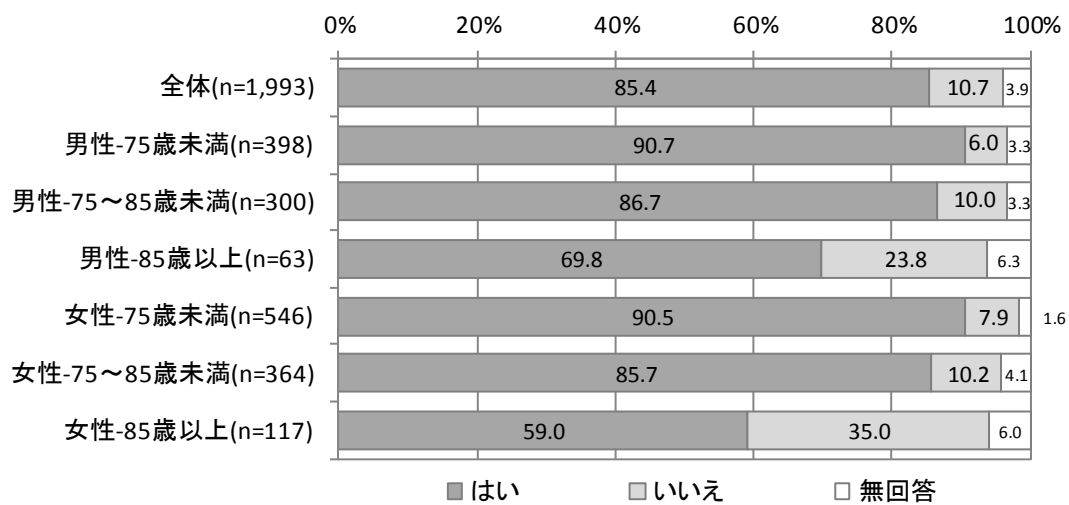
**B-問 6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか**

全体では、“週に 1 回以上は外出している”人は 85.4%を占めています。

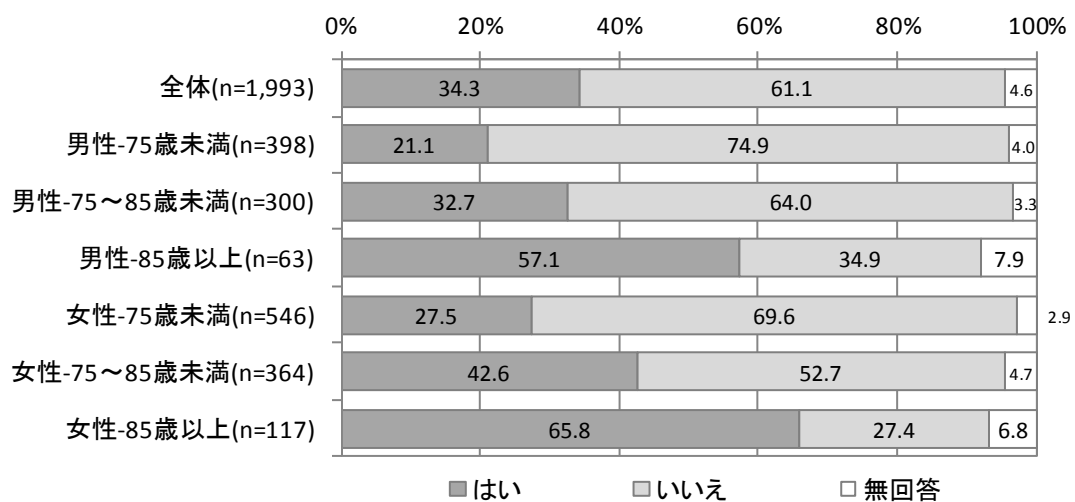
男女ともに 75 歳未満と 75～85 歳未満の間に大きな差は見られませんが、85 歳以上になると“週に 1 回以上は外出している”人の割合が減少しています。

“昨年と比べて外出の回数が減っている”人は、全体で 34.3%となっています。男女ともに年齢が高くなるにつれて“昨年と比べて外出の回数が減っている”人は徐々に増加し、85 歳以上では男性が 57.1%、女性は 65.8%となっています。

《週に 1 回以上は外出していますか》



《昨年と比べて外出の回数が減っていますか》



## B-問 7. 外出を控えていますか

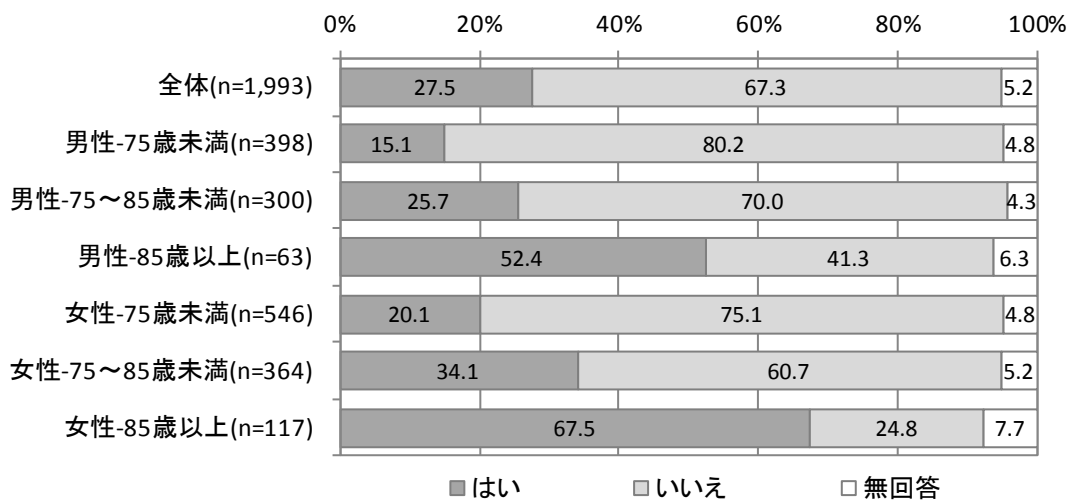
### B-問 7-1. (外出を控えている方のみ)

#### 外出を控えている理由は、次のうちどれですか(いくつでも)

全体では、“外出を控えている”人は27.5%となっていますが、性・年齢階級別で見ると、85歳以上では、男性が52.4%、女性は67.5%まで増加します。

“外出を控えている理由”は、全体では、「足腰などの痛み」(55.1%)が最も多く、次いで「病気」(19.9%)と続いています。性・年齢階級別でも「足腰などの痛み」が最も多くなっていますが、男女ともに85歳以上で「トイレの心配」の割合が増加しています。

《最近外出を控えていますか》



《外出を控えている場合の理由》

(単位：%)

	病気	障害	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障害	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体 (n=548)	19.9	8.6	55.1	14.4	10.0	9.1	12.4	13.7	12.2	8.6	6.0
男性 75歳未満 (n=60)	23.3	18.3	40.0	13.3	5.0	8.3	13.3	13.3	3.3	5.0	8.3
男性 75~85歳未満 (n=77)	16.9	14.3	39.0	10.4	16.9	6.5	10.4	14.3	11.7	6.5	7.8
男性 85歳以上 (n=33)	15.2	3.0	51.5	27.3	24.2	15.2	21.2	3.0	21.2	12.1	3.0
女性 75歳未満 (n=110)	18.2	4.5	55.5	9.1	0.0	4.5	11.8	22.7	10.9	10.9	5.5
女性 75~85歳未満 (n=124)	22.6	4.0	66.1	10.5	5.6	8.1	8.1	15.3	12.9	5.6	4.8
女性 85歳以上 (n=79)	22.8	6.3	67.1	26.6	20.3	15.2	13.9	3.8	13.9	15.2	1.3

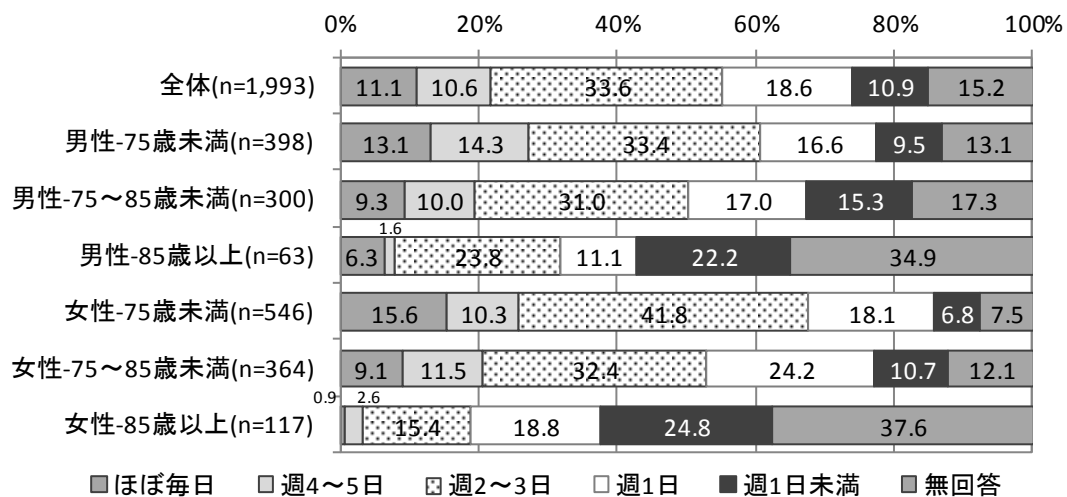
※網掛け部は「無回答」を除き各属性ごとに最も割合が高い箇所

## B-問 8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか(それぞれ1つ)

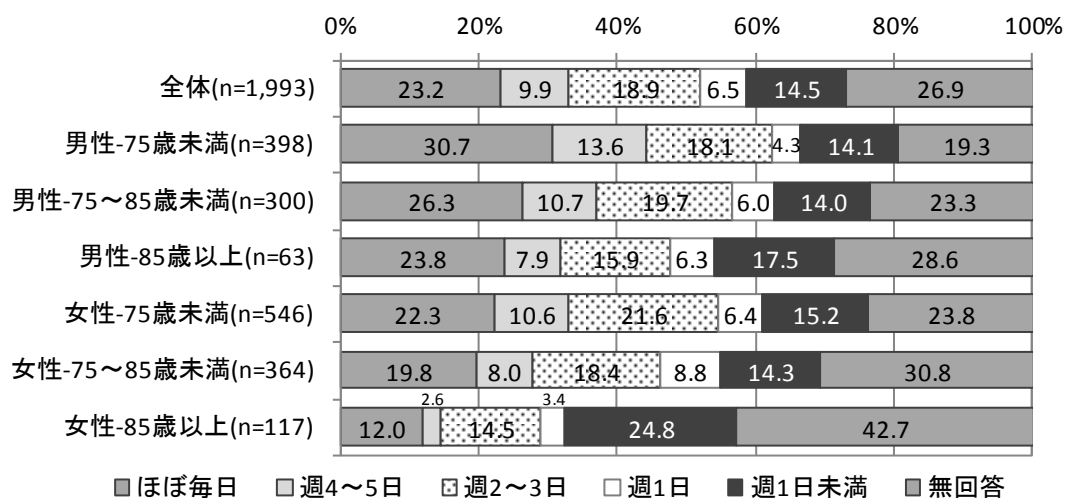
買物の外出頻度は、全体では、「週 2～3 日」が 33.6%で最も多く、次いで「週 1 日」(18.6%)、「ほぼ毎日」(11.1%)と続いています。性・年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて外出頻度が少なくなっています。

散歩の外出頻度は、全体では「ほぼ毎日」が 23.2%で最も多く、次いで「週 2～3 日」(18.9%)、「週 1 日未満」(14.5%)と続いています。散歩の外出頻度も、年齢が高くなるにつれて少なくなっていますが、特に 85 歳以上の女性は、「ほぼ毎日」が 12.0%まで少なくなり、「週 1 日未満」が 24.8%に増えています。

《買物の外出頻度》



《散歩の外出頻度》



## B-問 9. 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

“外出する際の移動手段”は、全体では「徒歩」が50.7%で最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」(36.4%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(27.7%)と続いています。

男性は、85歳未満で「自動車(自分で運転)」が最も多く、85歳以上は「徒歩」が最も多くなっています。

女性は、85歳未満で「徒歩」が最も多く、85歳以上は「自動車(人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。

《外出する際の移動手段》

(単位：%)

	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体 (n=1,993)	50.7	15.1	1.9	36.4	27.7	0.3	18.2	1.2	0.1	1.3	15.1	1.4	2.2
男性 75歳未満 (n=398)	44.5	16.6	2.8	79.4	7.8	0.3	5.3	0.5	0.0	0.0	5.8	0.3	1.5
男性 75～85歳未満 (n=300)	45.3	17.7	2.3	60.0	10.7	0.7	13.0	1.0	0.0	1.3	12.7	1.7	2.0
男性 85歳以上 (n=63)	42.9	12.7	0.0	22.2	31.7	0.0	11.1	3.2	0.0	3.2	27.0	3.2	4.8
女性 75歳未満 (n=546)	58.8	18.3	2.7	23.6	39.9	0.2	24.7	0.7	0.0	0.2	11.0	0.2	0.4
女性 75～85歳未満 (n=364)	59.3	10.2	0.3	6.3	38.7	0.3	28.3	1.4	0.0	1.9	23.6	1.6	2.7
女性 85歳以上 (n=117)	33.3	0.0	0.0	0.0	53.8	0.0	12.8	6.8	0.0	7.7	33.3	5.1	5.1

※網掛け部は「無回答」を除き各属性ごとに最も割合が高い箇所

## 4. 転倒について

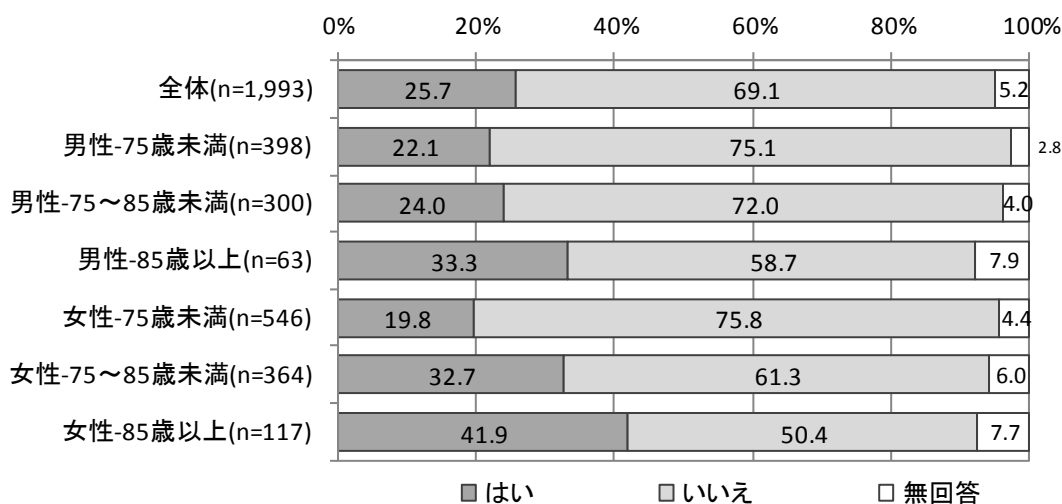
C-問 1. この1年に転んだことがありますか

C-問 2. 転倒に対する不安は大きいですか

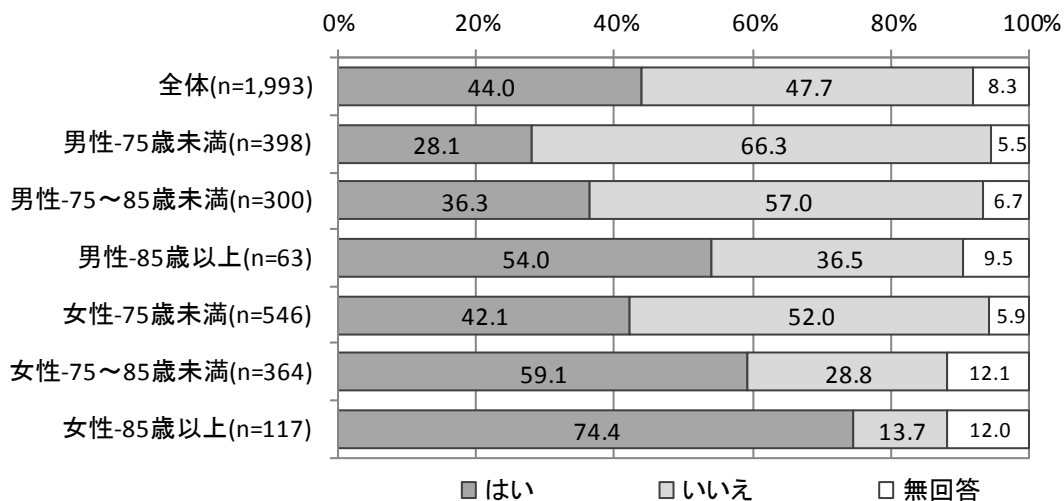
“この1年に転んだことがある”人は、全体で25.7%となっていますが、男女ともに85歳以上で割合が高くなり、男性は33.3%、女性は41.9%となっています。

“転倒に対する不安が大きい”人は、全体で44.0%となっています。性・年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて“転倒に対する不安が大きい”人の割合が高くなる傾向があります。

《この1年に転んだことがありますか》



《転倒に対する不安は大きいですか》



**C-問 3. 背中が丸くなってきましたか**

**C-問 4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか**

**C-問 5. 杖を使っていますか**

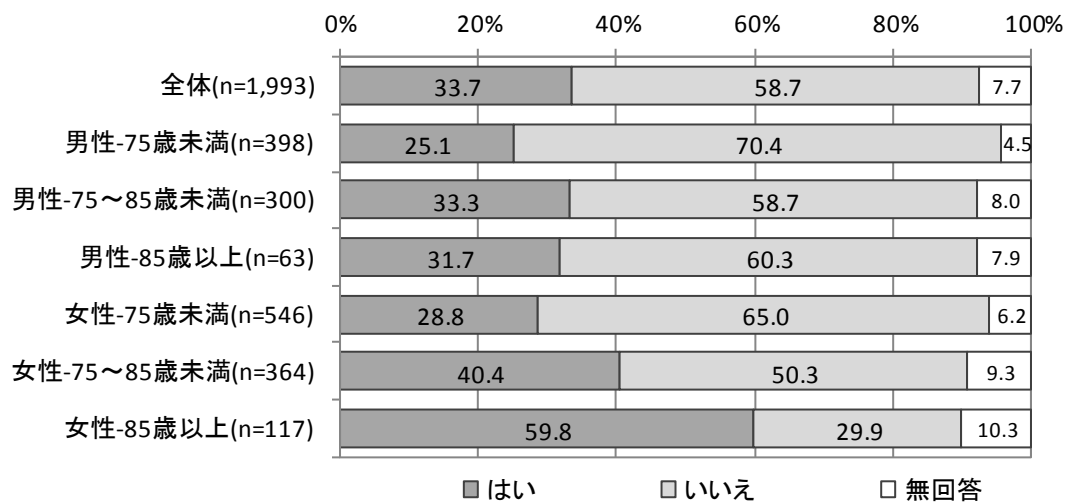
“背中が丸くなってきた”人は、全体で33.7%となっています。

性・年齢階級別では、男性は全体とほぼ同等かやや少ない状況ですが、女性は75～85歳未満で40.4%、85歳では59.8%と全体よりも多くなっています。

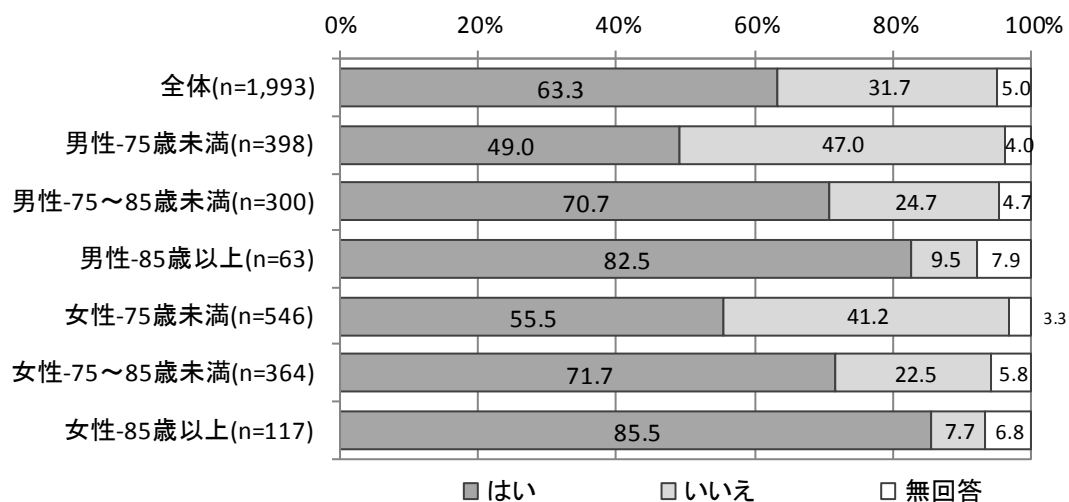
“以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う”人は、男女ともに、年齢が高くなるにつれて増加傾向にあり、特に85歳以上では約8割以上となっています。

“杖を使っている”人は、全体では13.2%ですが、85歳以上では、男性が36.5%、女性は45.3%と多くなっています。

《背中が丸くなってきましたか》

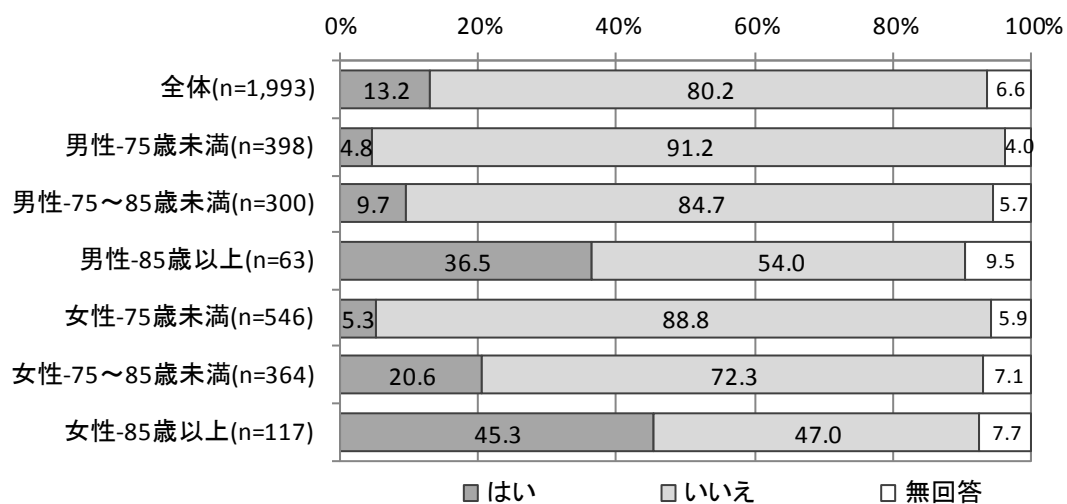


《以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか》





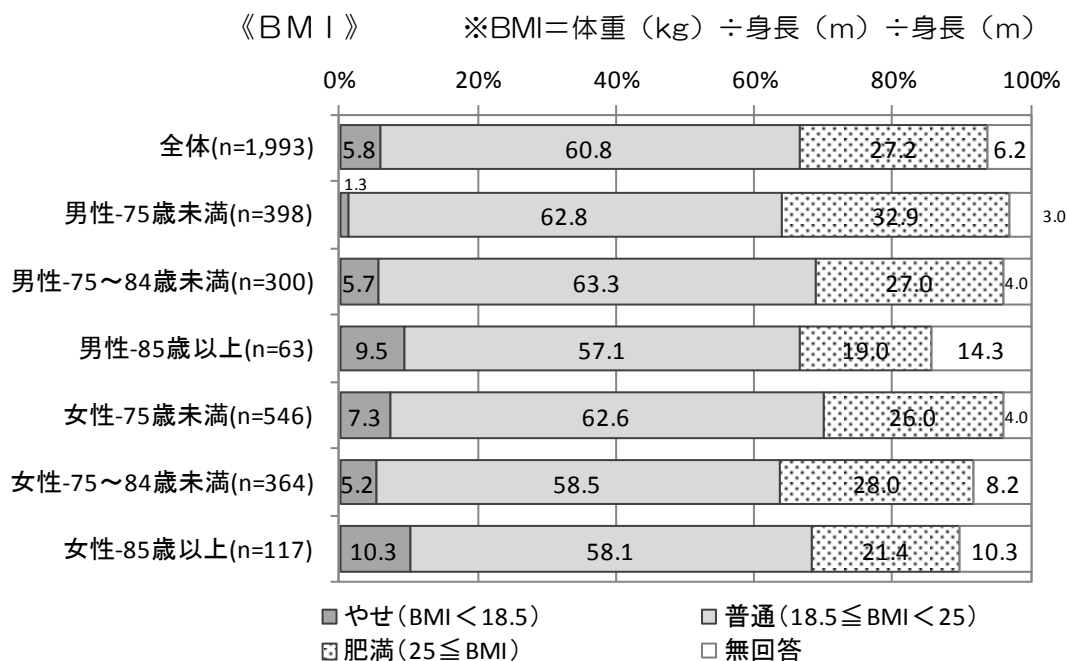
《杖を使っていますか》



## 5. 口腔・栄養について

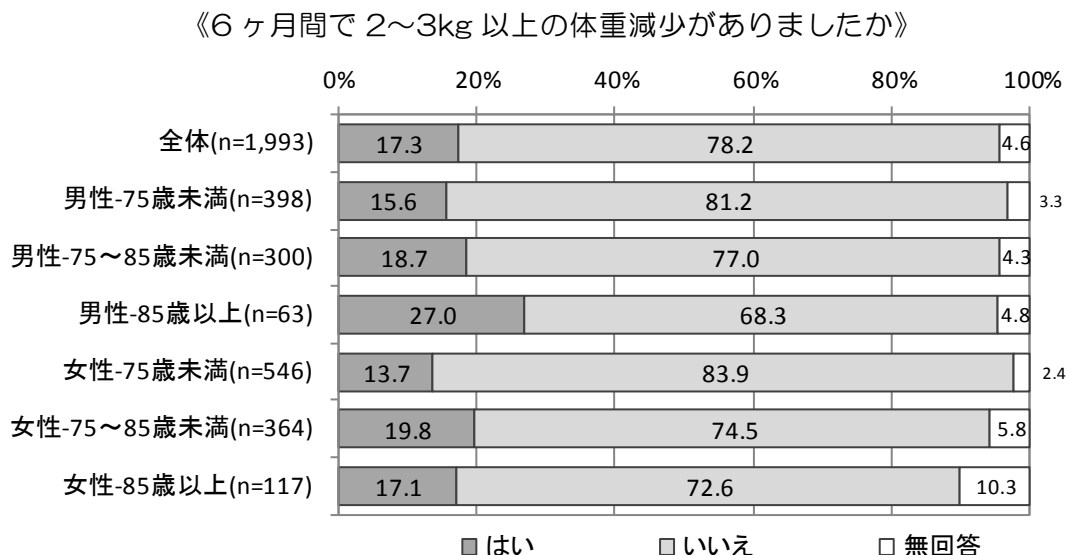
### D-問 1. 身長と体重

身長と体重で計算されるBMIは、全体、性・年齢階級別ともに約6割が「普通（ $18.5 \leq \text{BMI} < 25$ ）」となっています。「やせ（ $\text{BMI} < 18.5$ ）」は1割前後と少なく、「肥満（ $25 \leq \text{BMI}$ ）」は、男女ともに85歳以上で全体よりも少なくなっています。



### D-問 2. 6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

“6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少があった”人は、全体では17.3%となっていますが、85歳以上の男性は27.0%と他に比べて割合が高くなっています。



**D-問 3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか**

**D-問 4. お茶や汁物等でむせることがありますか**

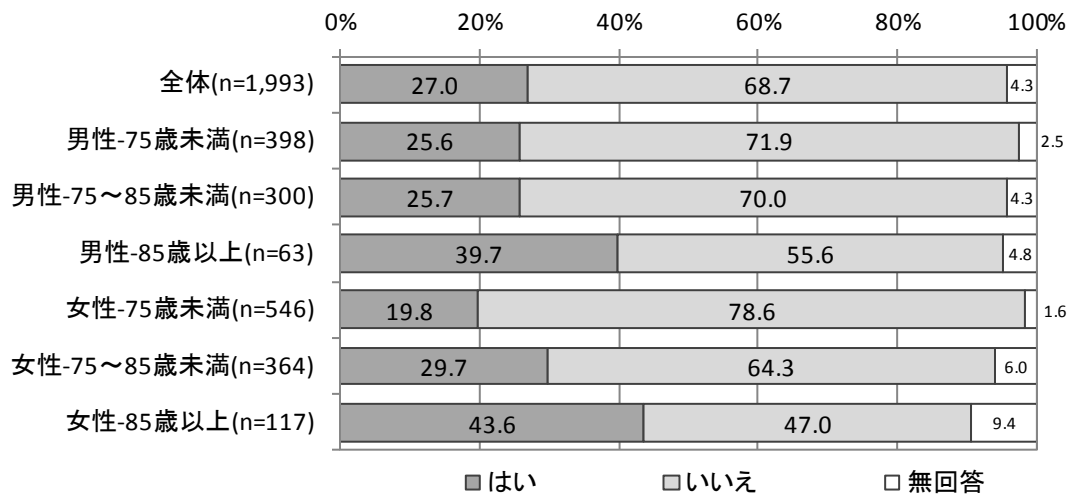
**D-問 5. 口の渇きがきになりますか**

“半年前に比べて固いものが食べにくくなった”人は、男女ともに85歳以上で約4割と全体よりも高くなっています。

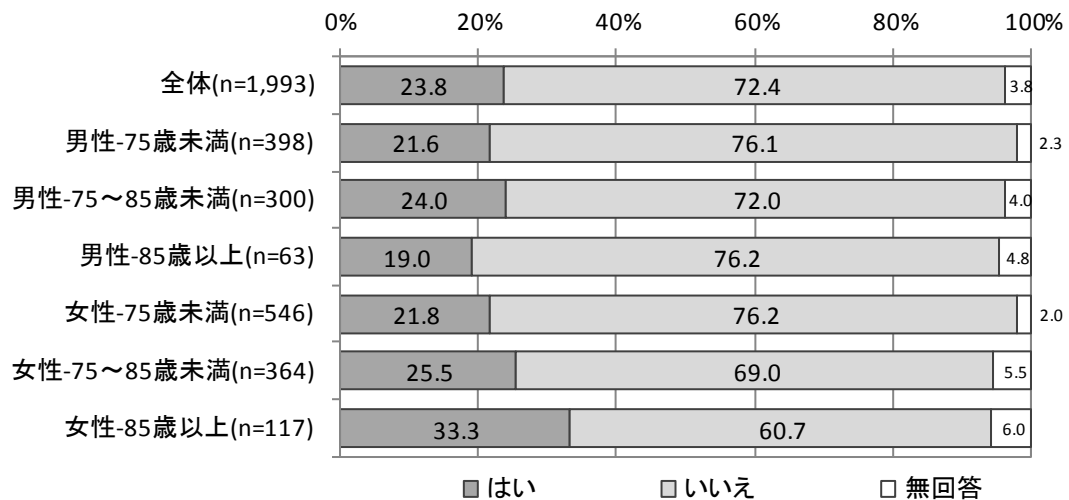
“お茶や汁物等でむせる”人は、全体で23.8%となっており、女性は年齢とともに徐々に割合が高くなる傾向がみられます。

“口の渇きが気になる”人は、男女ともに75歳以上で全体と比べて多くなっています。

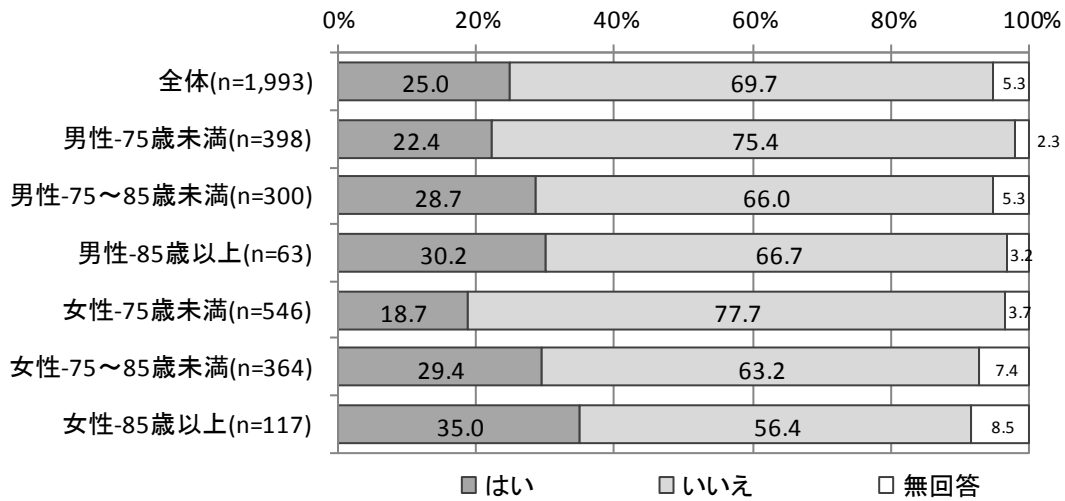
《半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか》



《お茶や汁物等でむせることがありますか》



《口の渇きが気になりますか》



**D-問 6. 入れ歯を使用していますか**

**D-問 6-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか**

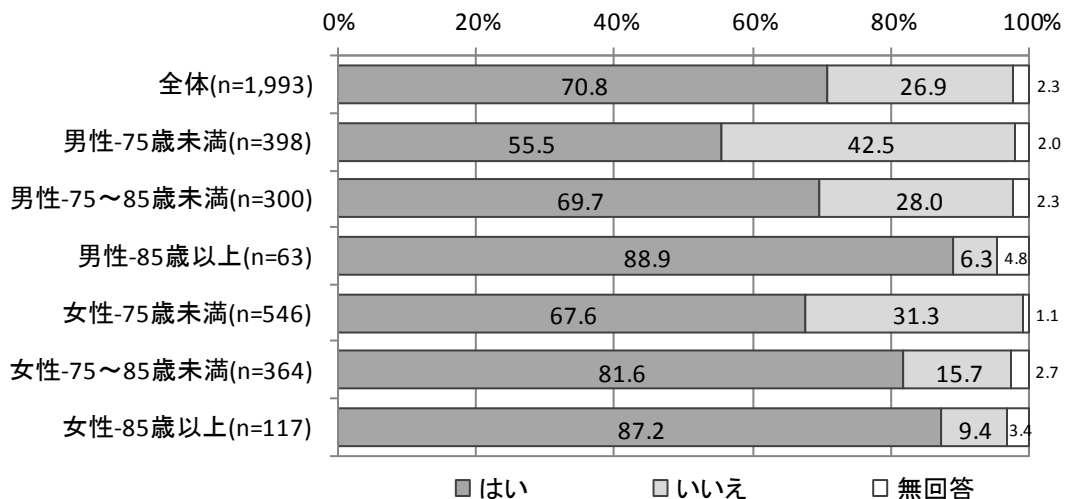
**D-問 6-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか**

全体では、“入れ歯を使用している”人は約7割を占め、男女ともに85歳以上では9割弱となっています。

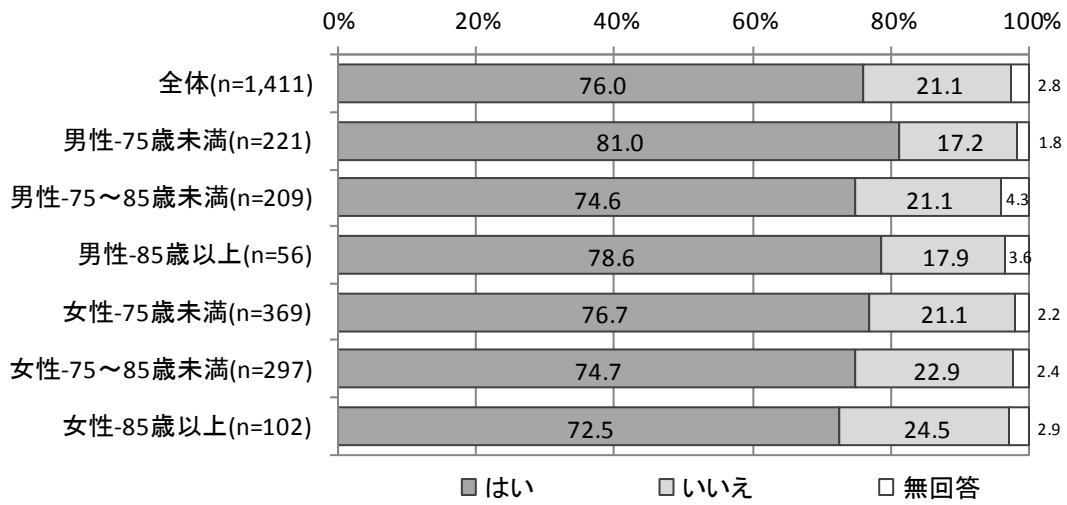
“入れ歯を使用している”1,411人のうち、“入れ歯のかみ合わせが良い”と回答した人は、全体、性・年齢階級別ともに7～8割となっています。

“毎日入れ歯の手入れをしている”人は、全体、性・年齢階級別ともに8～9割となっています。

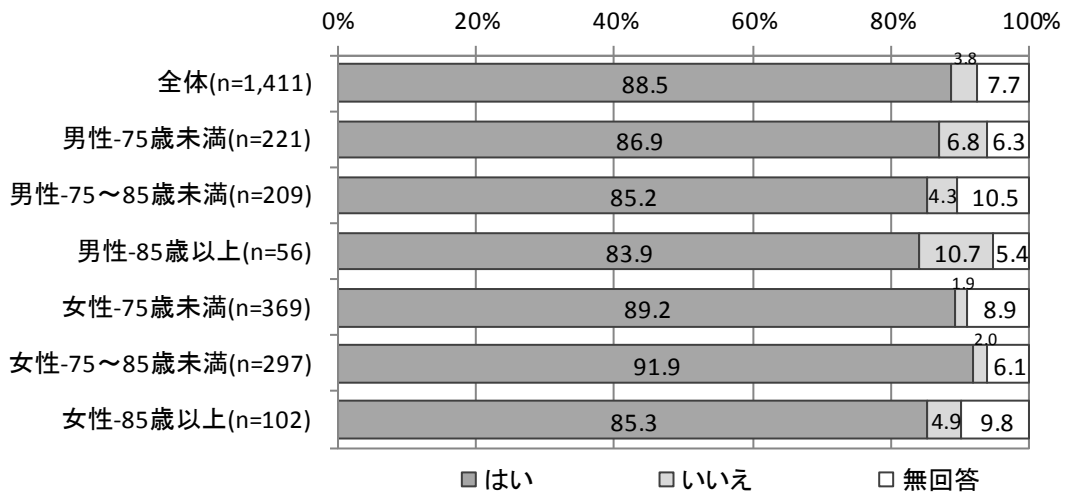
《入れ歯を使用していますか》



《噛み合わせは良いですか》



《毎日入れ歯の手入れをしていますか》



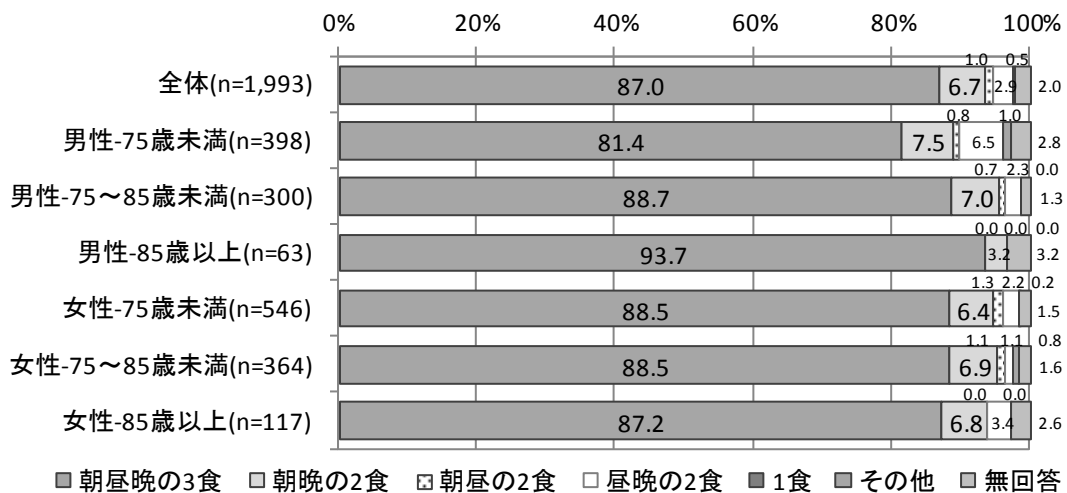
**D-問 7. 1日の食事の回数は何回ですか（1つに○）**

**D-問 8. 食事を抜くことがありますか（1つに○）**

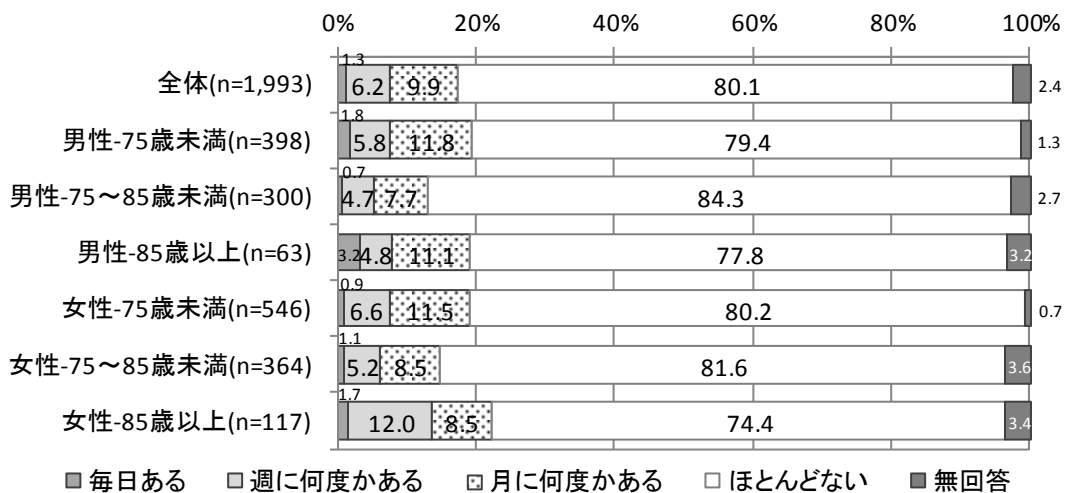
1日の食事回数は、「朝昼晩の3食」との回答が、全体、性・年齢階級別ともに8~9割を占めています。

“食事を抜くことがありますか”は、全体、性・年齢階級別ともに「ほとんどない」が約8割となっています。

《1日の食事の回数は何回ですか》



《食事を抜くことがありますか》



**D-問 9. 自分1人でなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか(1つに○)**

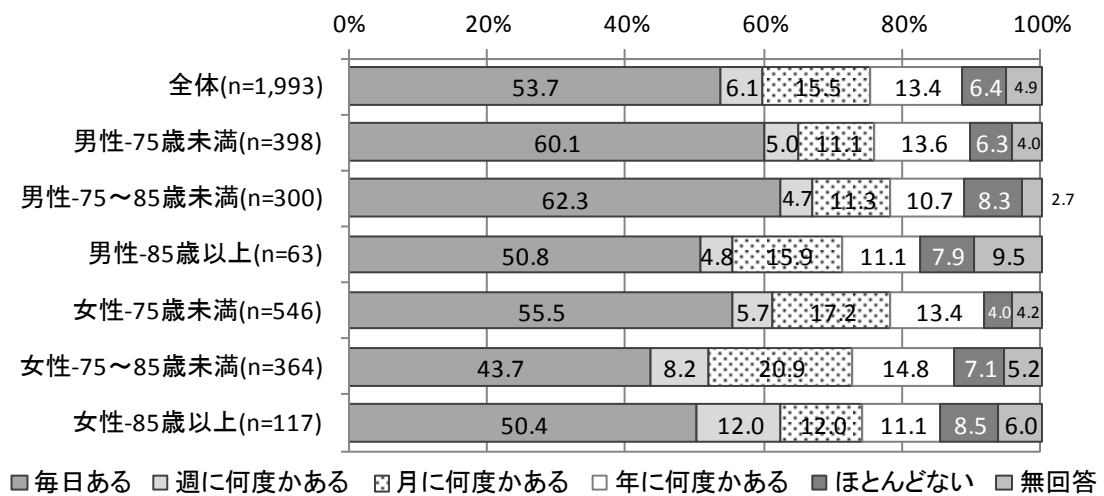
**D-問 9-1 (どなたかと食事をとにもする機会がある方のみ)**

**食事をとにもする人はどなたですか (いくつでも)**

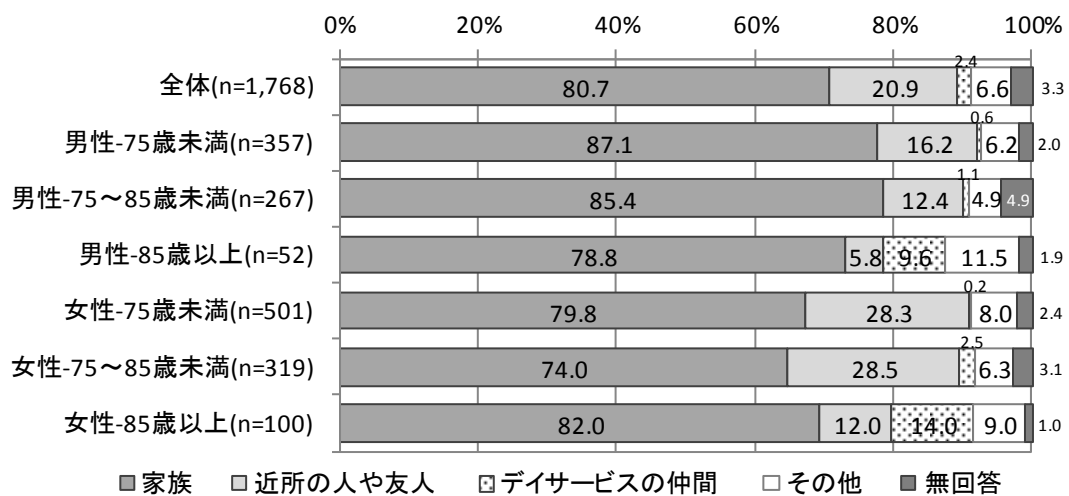
どなたかと食事をとにもする機会が「毎日ある」人は、全体では 53.7%が最も多く、次いで「月に何度かある」15.5%と続いています。

“食事をとにもする人”は、性・年齢階級別ともに「家族」が最も多くなっていますが、85歳未満の女性は、「近所の人や友人」が約28%みられます。

《どなたかと食事をとにもする機会がありますか》



《食事をとにもする人はどなたですか》



## 6. 物忘れについて

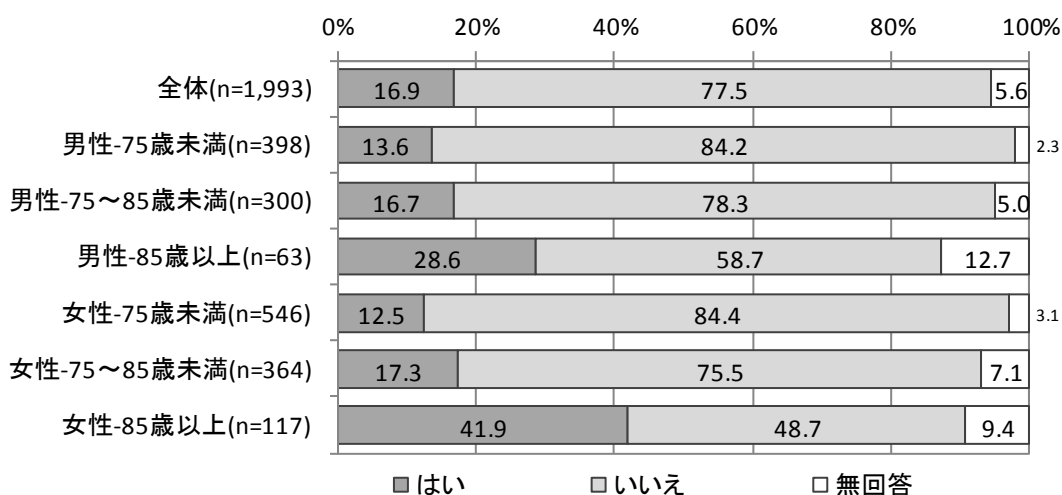
E-問 1. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか

E-問 2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

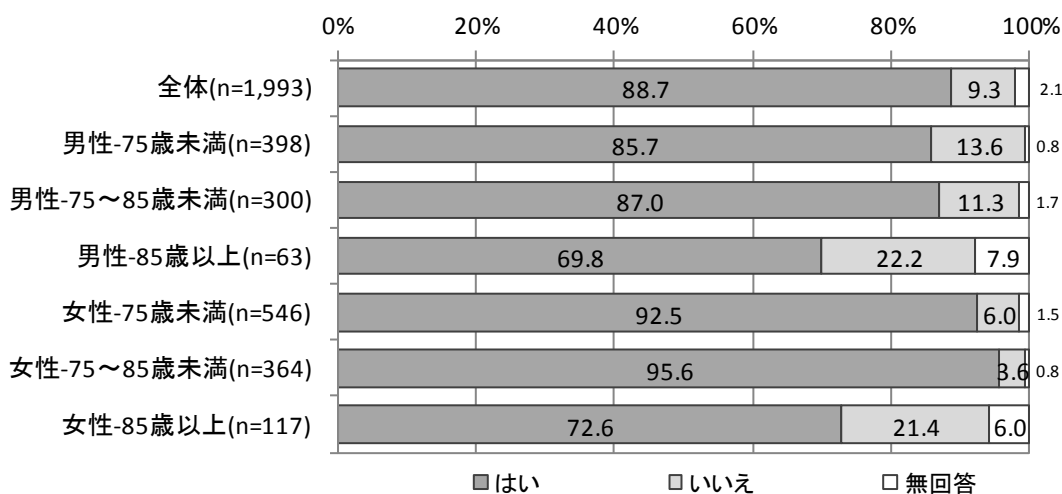
“周りの人から物忘れがあるとされる”人は、全体では16.9%ですが、85歳以上では、男性が28.6%、女性は41.9%と多くなっています。

“自分で電話番号を調べて、電話をすることができる”人は、全体では約9割を占めています。性・年齢階級別では、男女ともに85歳以上で約7割まで減少しています。

《物忘れがあるとされますか》



《自分で電話番号を調べて、電話をかけることができますか》





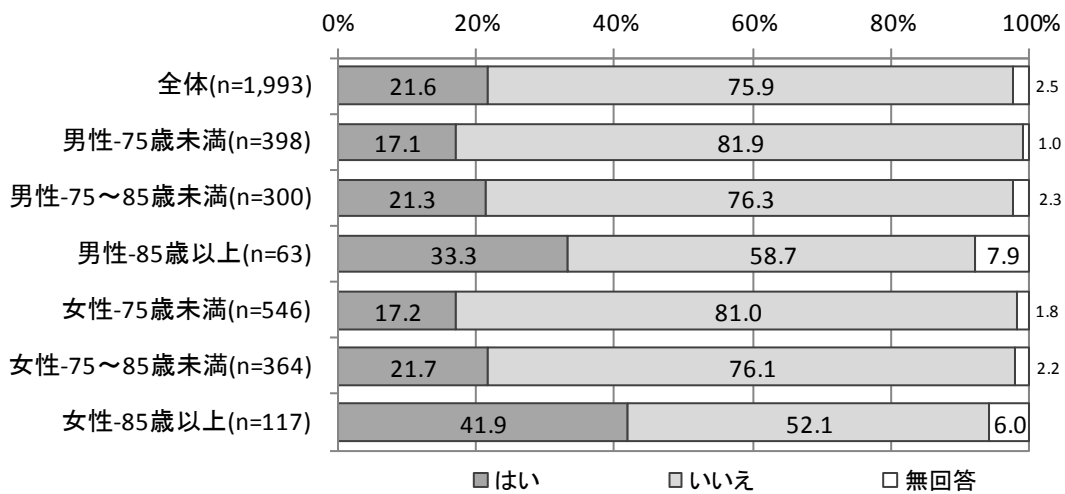
**E-問 3. 今日が何月何日かわからない時がありますか**

**E-問 4. 5分前のことが思い出せますか**

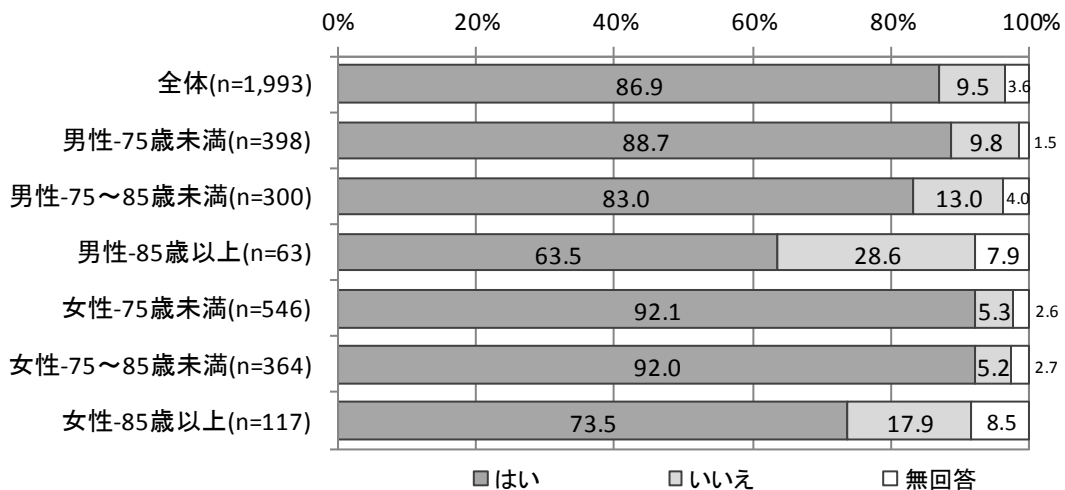
“今日が何月何日かわからない時がある”人は、男女ともに年齢が高くなるにつれて割合が高くなっています。特に、85歳以上では、3～4割まで増加しています。

“5分前のことが思い出せる”人は、全体では86.9%となっていますが、85歳以上では、男性が63.5%、女性は73.5%まで減少しています。

《今日が何月何日かわからない時がありますか》



《5分前のことが思い出せますか》



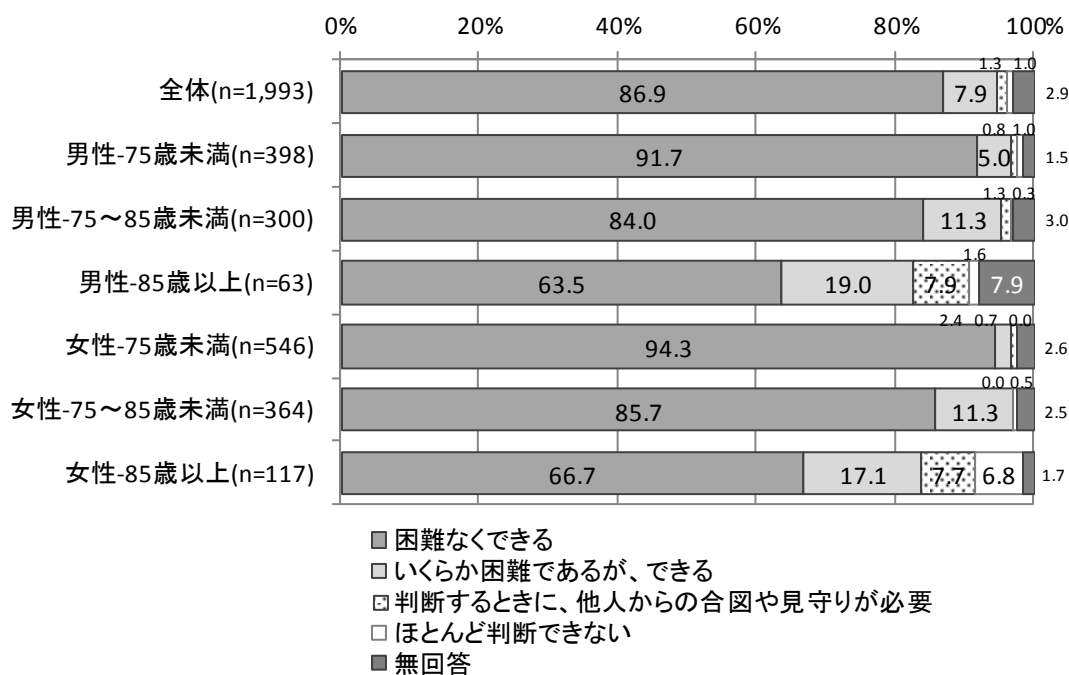
**E-問 5. その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか**

**E-問 6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか (1つに○)**

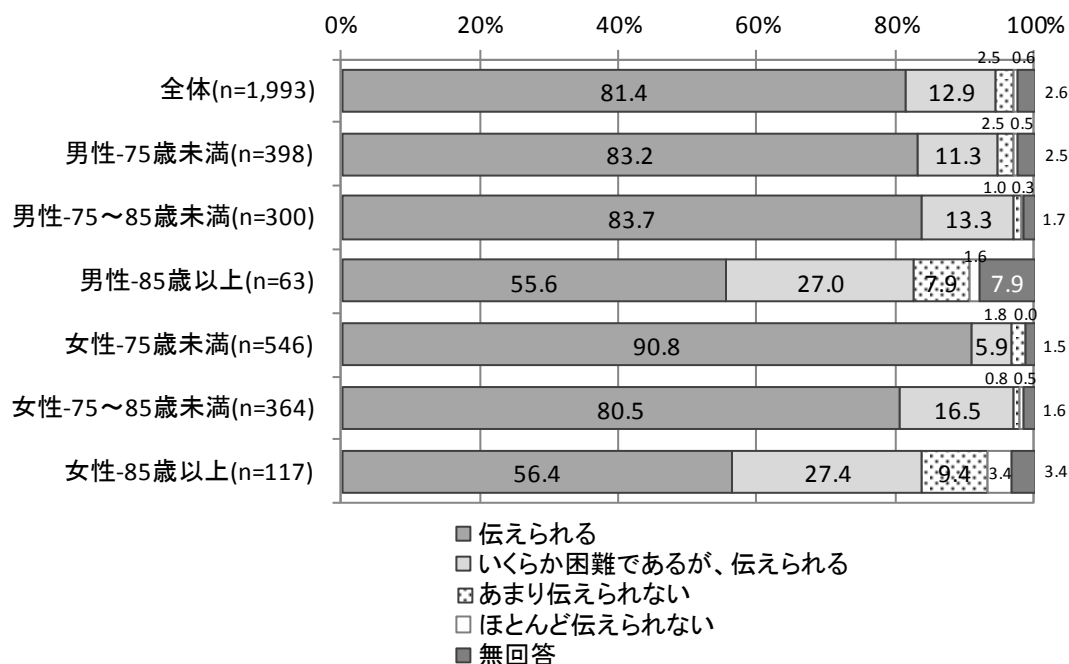
その日の活動の判断は、全体の8割以上の方が「困難なくできる」と回答しているのに対し、男性の85歳以上は63.5%、女性の85歳以上は66.7%まで減少しています。

人に自分の考えをうまく伝えられるかは、全体では、8割以上の方が「伝えられる」と回答していますが、男女ともに85歳以上になると55%前後まで減少しています。

《その日の活動を自分で判断できますか》



《人に自分の考えをうまく伝えられますか》



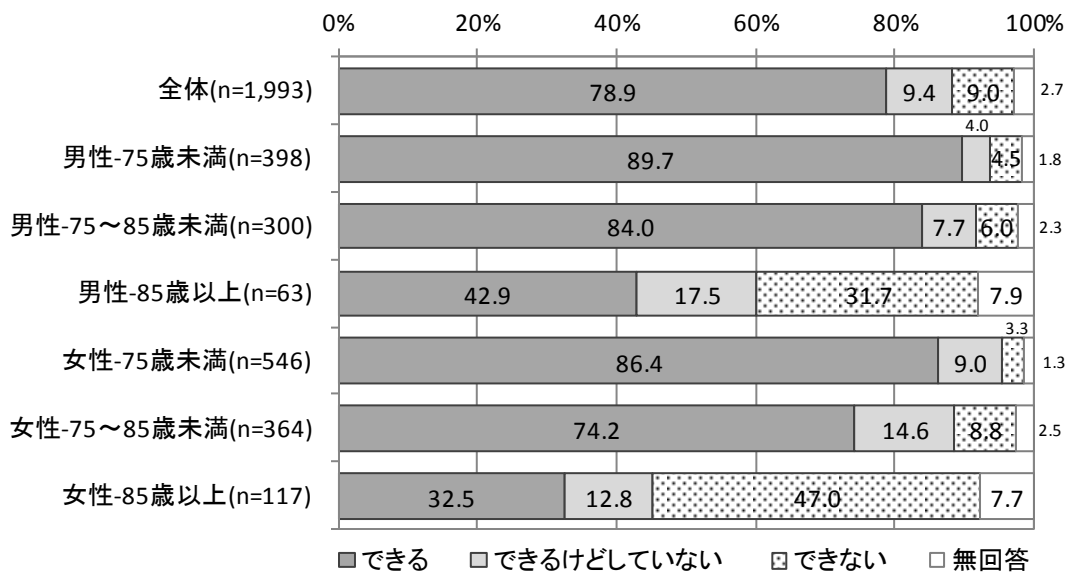
## 7. 日常生活について

### F-問 1. バスや電車で1人で外出していますか（自家用車でも可）

“バスや電車で1人で外出している”人は、全体で78.9%となっています。

男女ともに、年齢が高くなるにつれその割合は減少し、85歳以上では「できない」と回答している人が、男性が31.7%、女性は47.0%に増加しています。

《バスや電車で1人で外出していますか》



## F-問 2. 日用品の買物をしていますか

### F-問 2-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ)

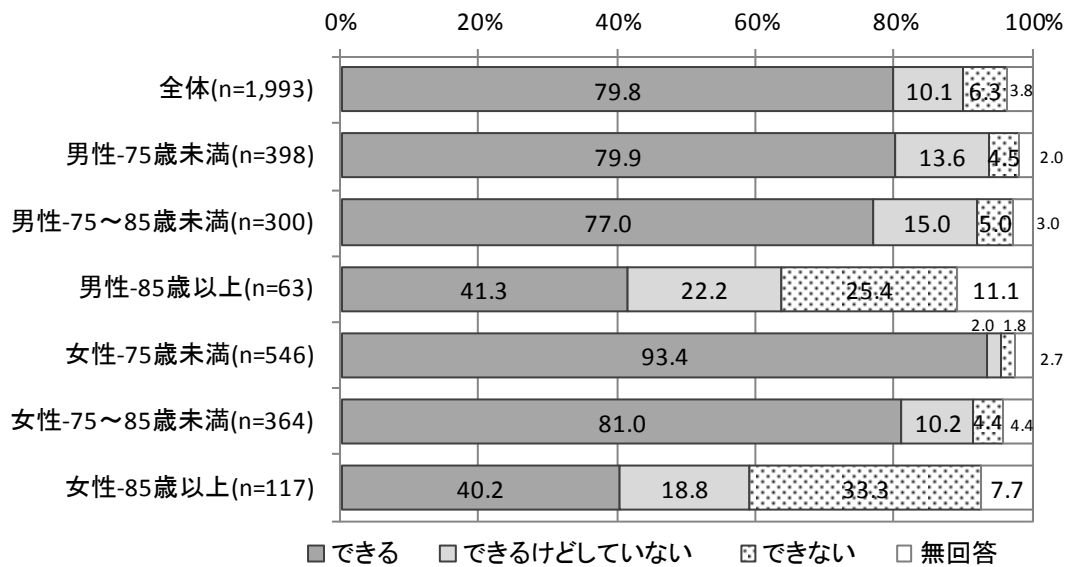
#### 日用品の買物をする人は主にどなたですか (1つに○)

日用品の買物が「できる」人は、全体では 79.8%を占めていますが、85 歳以上では、男性が 41.3%、女性は 40.2%と大幅に減少しています。

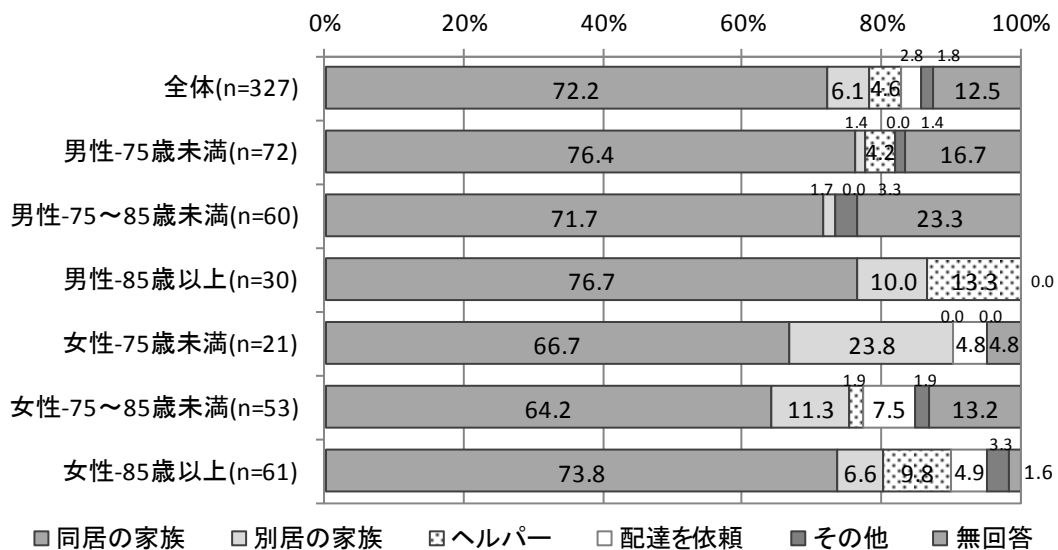
“日用品の買物をしていない、できない” 人のために日用品の買物をする人は、全体、性・年齢階級別ともに「同居の家族」が 6~7 割で最も多くなっています。

女性の 75 歳未満では「別居の家族」が 23.8%と多くなっています。

《日用品の買物をしていますか》



《日用品の買物をする人は主にどなたですか》



### F-問 3. 自分で食事の用意をしていますか

#### F-問 3-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)

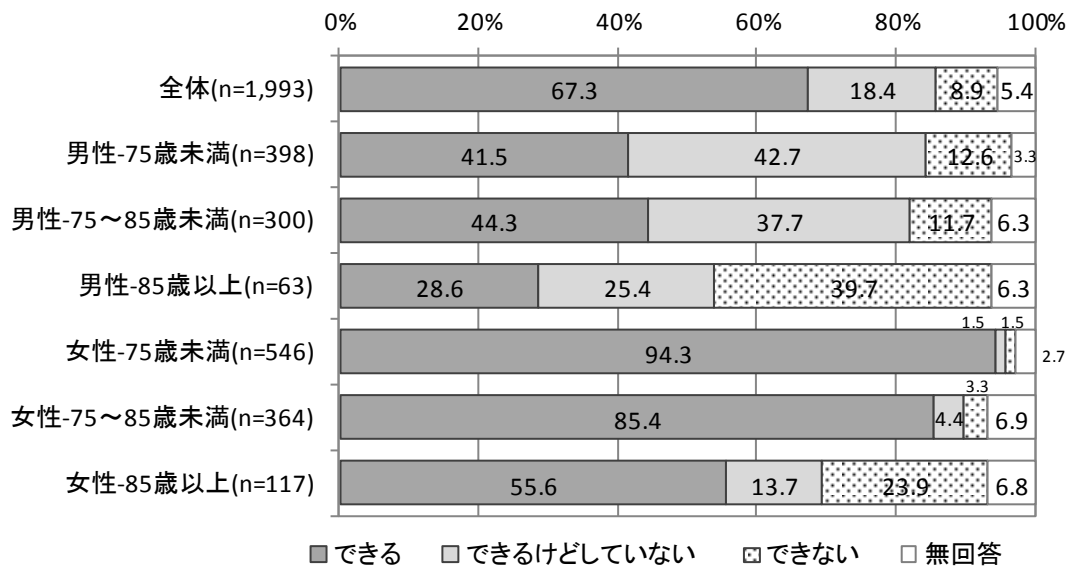
#### 食事の用意をする人は主にどなたですか (1つに○)

自分で食事の用意が「できる」人は、女性の75歳未満では94.3%を占めていますが、85歳以上では55.6%まで減少しています。男性は、「できる」人は、75歳未満は41.5%、75～85歳未満は44.3%、85歳以上は28.6%で女性に比べて割合が低くなっています。

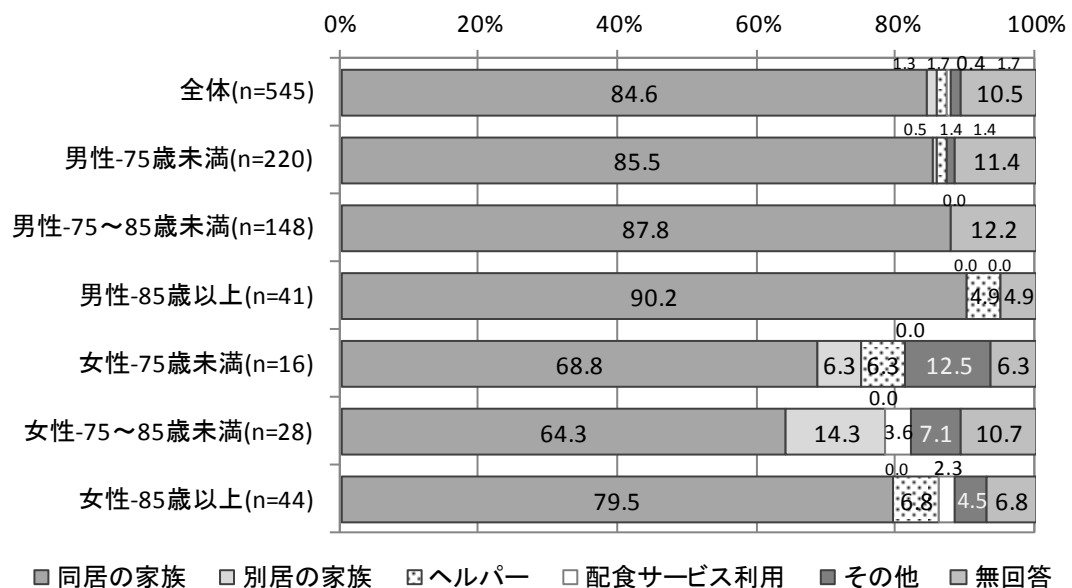
自分で食事の用意ができない人のために、主に食事の用意をする人は、全体、性・年齢階級別ともに、「同居の家族」が最も多くなっています。

女性の75～85歳未満では「別居の家族」が14.3%と多くなっています。

《自分で食事の用意をしていますか》



《食事の用意をする人は主にどなたですか》



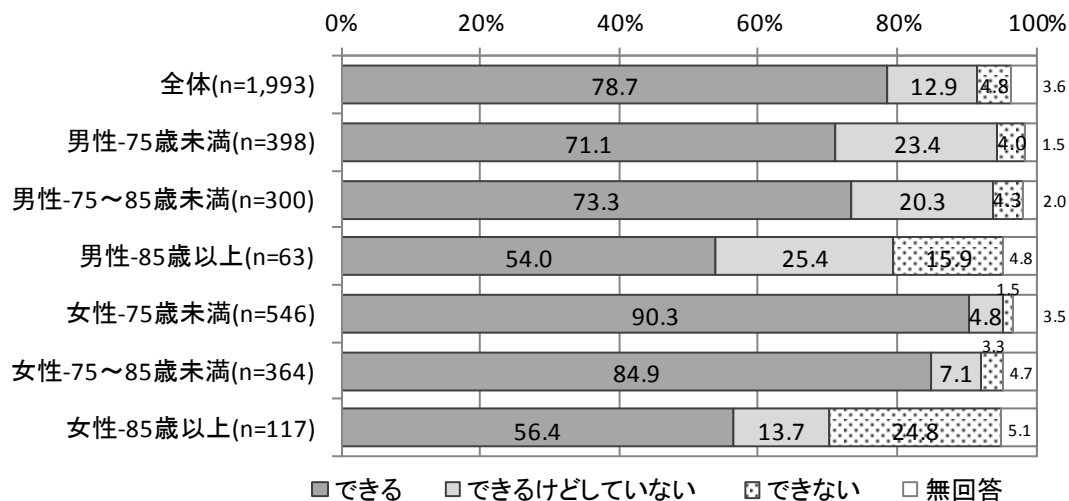
## F-問 4. 請求書の支払いをしていますか

全体では、請求書の支払いが「できる」人は 78.7%が最も多く、次いで「できるけどしていない」が 12.9%で続いており、「できない」は 4.8%にとどまっています。

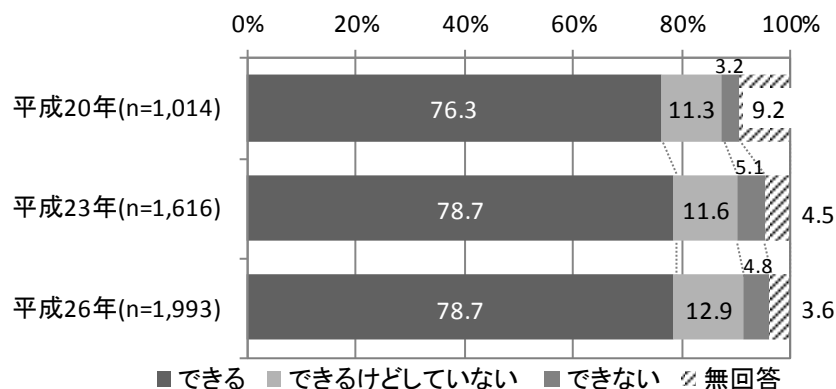
性・年齢階級別にみると、男女ともに 85 歳以上で「できない」が増えており、男性は 15.9%、女性は 24.8%となっています。

過去に実施された平成 20 年の調査との比較では、「できる」は 76.3%から 78.7%に増加し、「できるけどしていない」が 11.3%から 12.9%に増加していますが、経年による大きな変化はみられませんでした。

《請求書の支払いをしていますか》



《請求書の支払いをしていますか（過去調査との比較）》

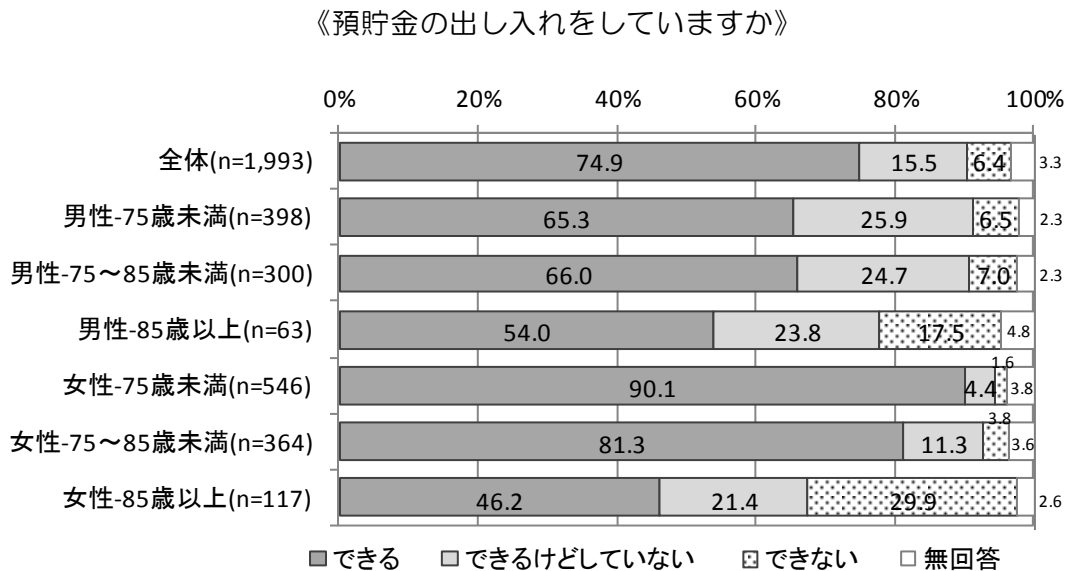


※過去調査における、「お金の管理と支払いをしていますか」の設問との比較を行っています。

## F-問 5. 預貯金の出し入れをしていますか

全体では、預貯金の出し入れが「できる」は、74.9%、次いで、「できるけどしていない」(15.5%)、「できない」(6.4%)の順となっています。

性・年齢別では、85歳未満の女性は全体と比べて「できる」の割合が高くなっていますが、男女ともに85歳以上になると「できない」の回答が増加しています。

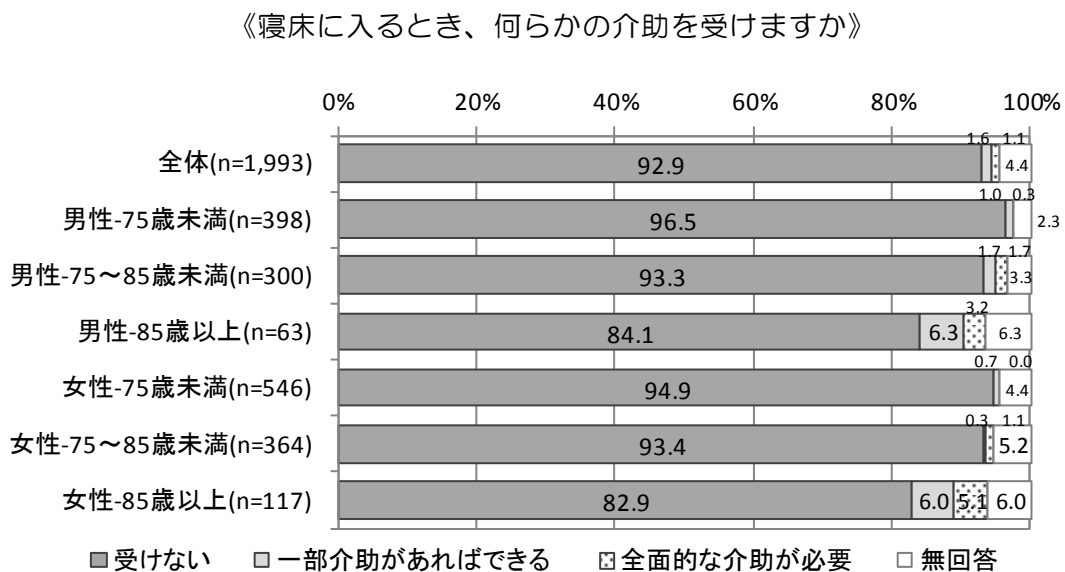
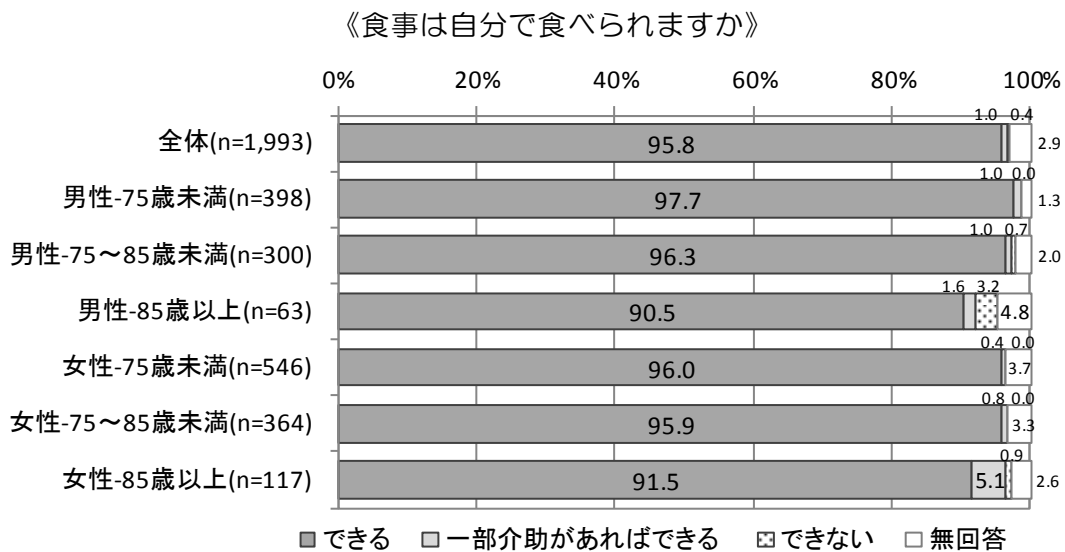


**F-問 6. 食事は自分で食べられますか**

**F-問 7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか**

食事を自分で食べられるかどうかは、全体、性・年齢階級別ともに、「できる」が9割以上を占めています。

寝床に入るとき、何らかの介助を受けるかどうかは、全体、性・年齢階級別ともに「受けない」が8割以上となっていますが、男女ともに85歳以上で「受けない」人は約10ポイント減少しています。





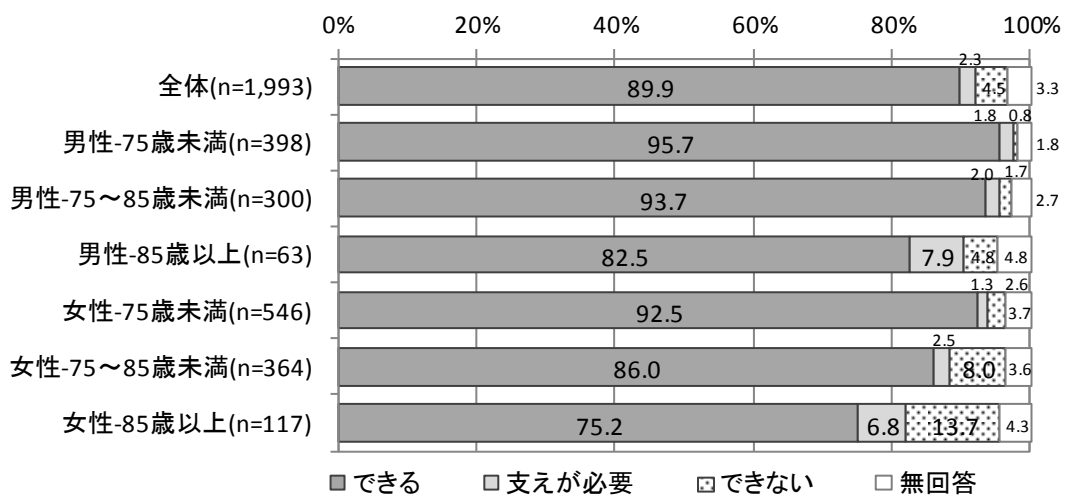
**F-問 8. 座っていることができますか**

**F-問 9. 自分で洗面や歯磨きができますか**

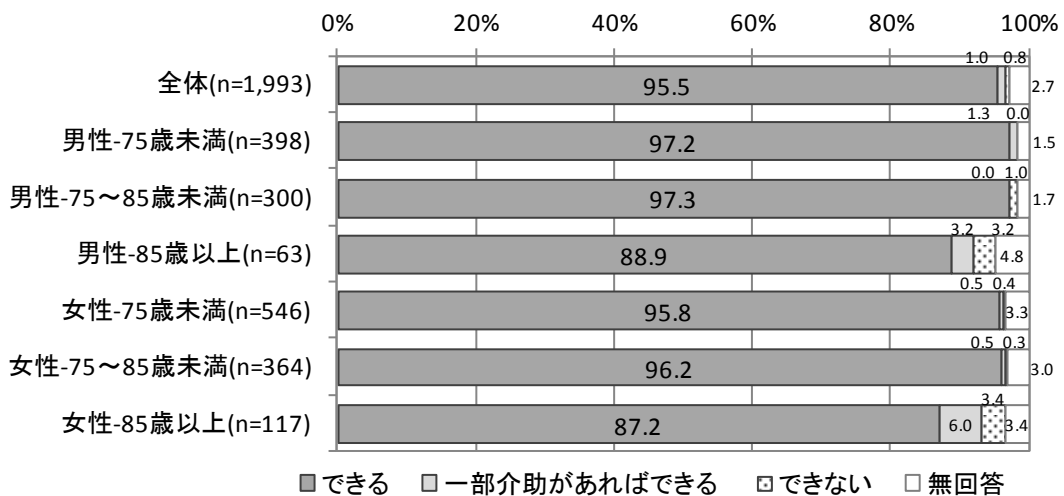
全体では、座っていることが「できる」は、89.9%を占めています。男女ともに、「できない」の回答は年齢とともに増加し、85歳以上の男性は4.8%、85歳以上の女性は13.7%となっています。

自分で洗面や歯磨きが「できる」は、全体、性・年齢階級別ともに8割以上を占めています。

《座っていることができますか》



《自分で洗面や歯磨きができますか》



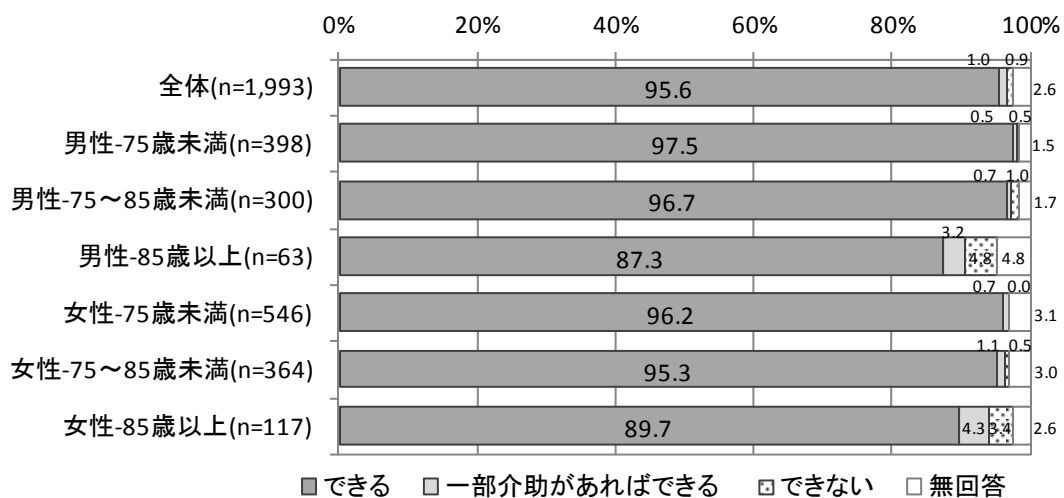
**F-問 10. 自分でトイレができますか**

**F-問 11. 自分で入浴ができますか**

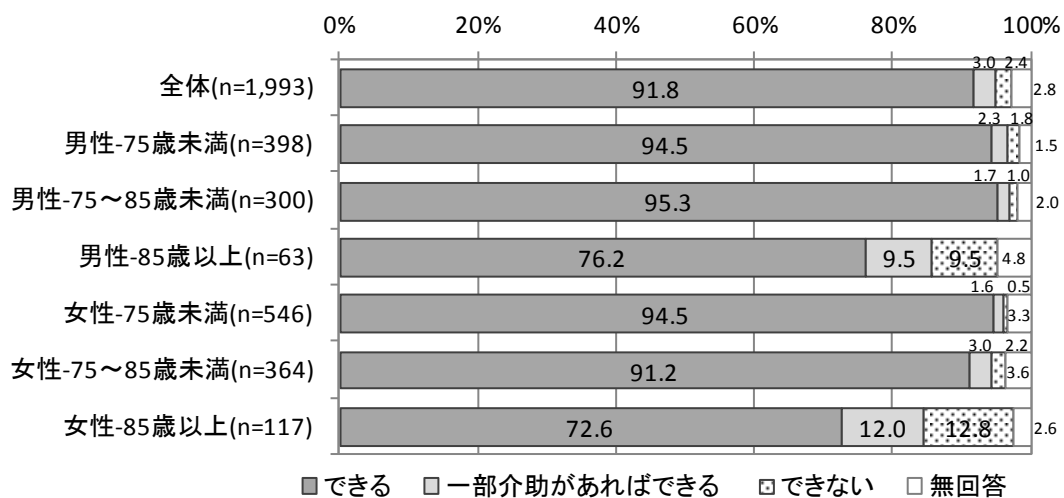
自分でトイレが「できる」は、全体、性・年齢階級別ともに 9 割前後を占めていますが、男女ともに 85 歳以上で、「できる」の割合が少なくなっています。

自分で入浴が「できる」は、全体では 91.8%を占めています。男女ともに 85 歳未満は「できる」が 9 割以上ですが、85 歳以上は、男性が 76.2%、女性は 72.6%まで「できる」が減少しています。

《自分でトイレができますか》



《自分で入浴ができますか》



F-問 12. 50m 以上歩けますか

F-問 13. 階段を昇り降りできますか

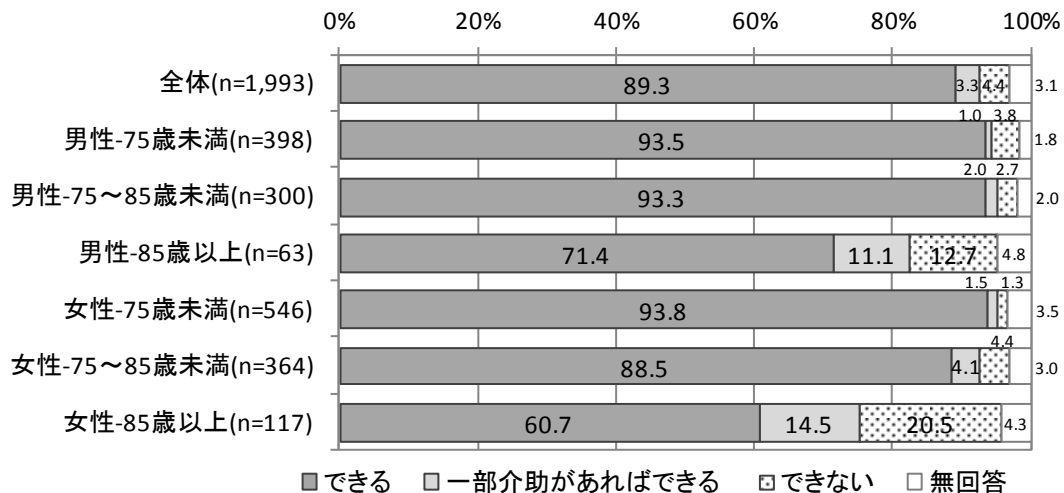
F-問 14. 自分で着替えができますか

全体では、50m 以上歩くことが「できる」は 89.3%を占めています。男女ともに 75 歳未満と 75～85 歳未満との間で大きな差はありませんが、85 歳以上は「できない」が男性が 12.7%、女性は 20.5%と増加しています。

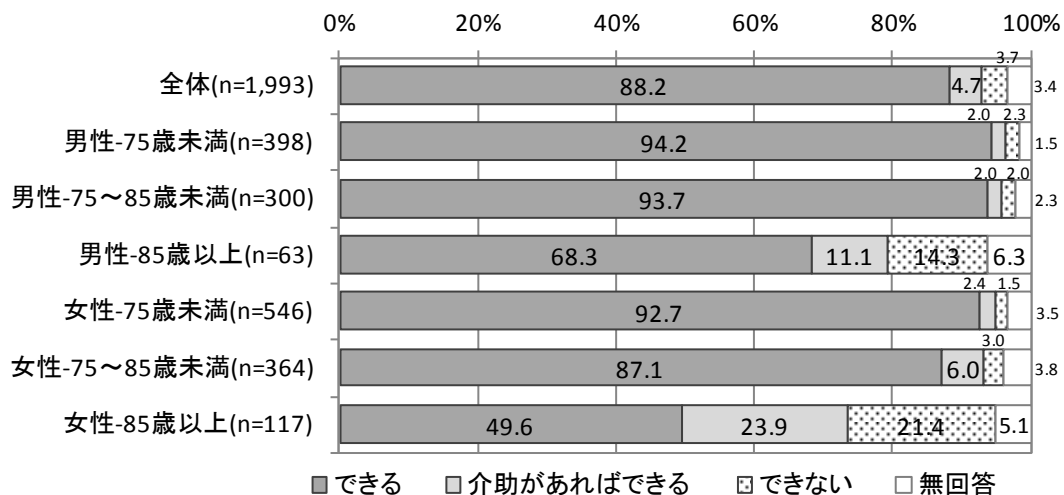
階段を昇り降り「できる」は、男女ともに 85 歳未満は 8 割以上を占めていますが、85 歳以上では、男性が 68.3%、女性は 49.6%まで減少しています。

自分で着替えが「できる」は、全体、性・年齢階級別いずれも 8 割以上を占めていますが、85 歳以上では約 10 ポイントの減少がみられます。

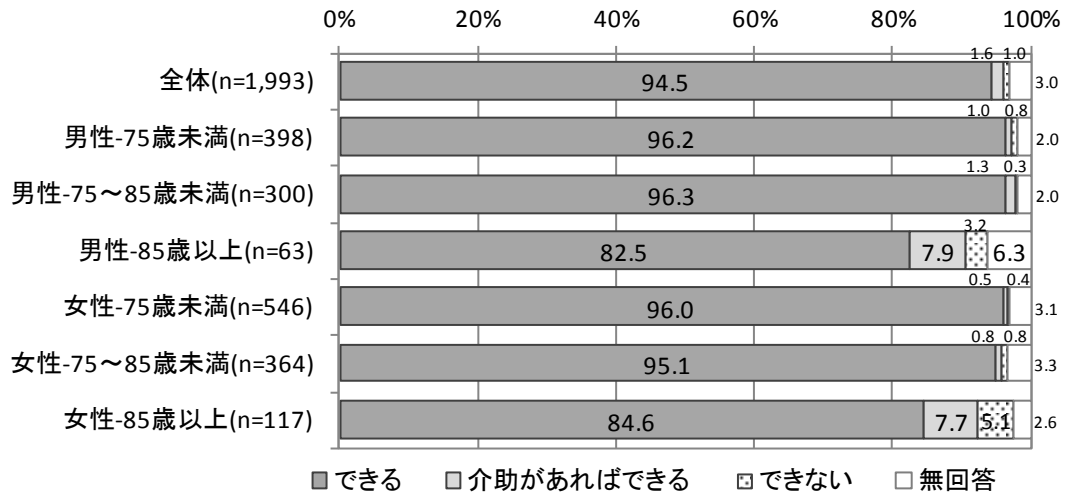
《50m 以上歩けますか》



《階段を昇り降りできますか》



《自分で着替えができますか》



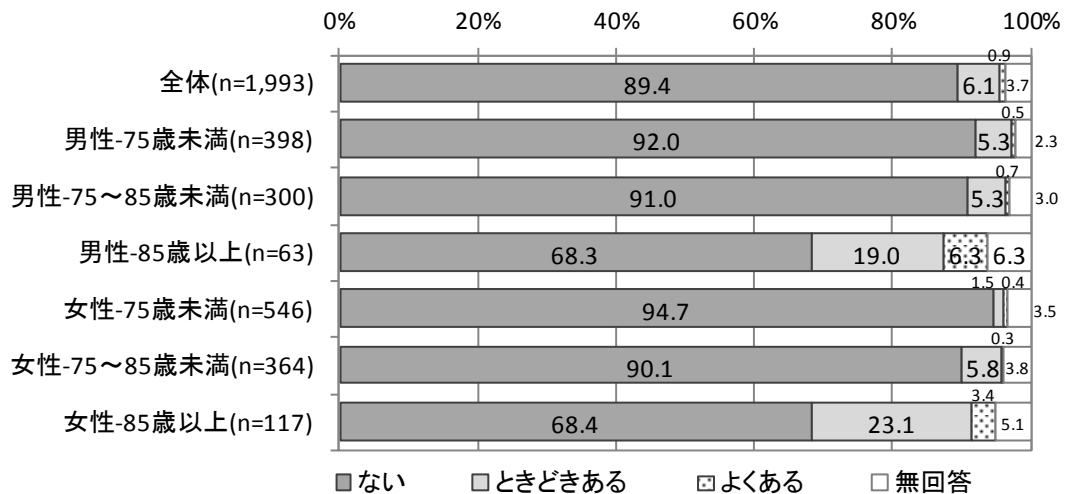
F-問 15. 大便の失敗がありますか

F-問 16. 尿漏れや尿失禁がありますか

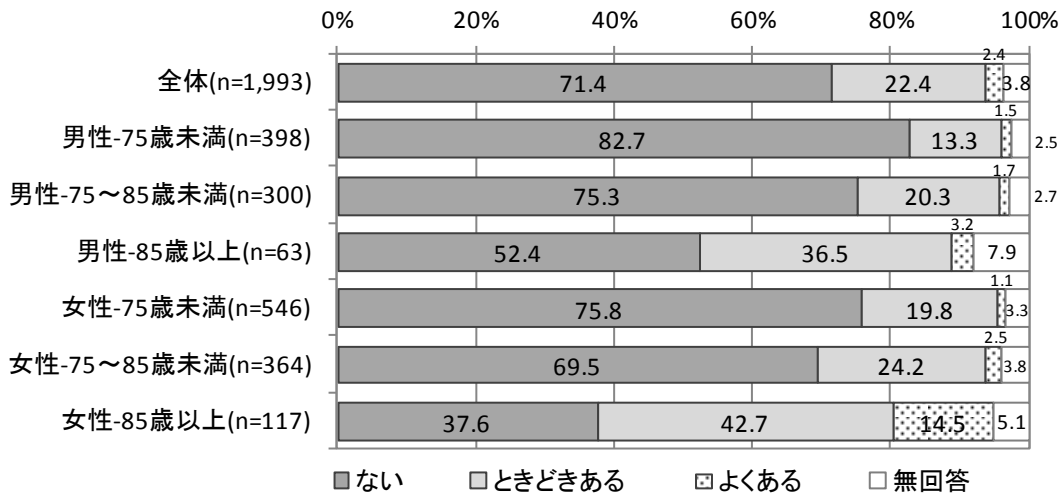
大便の失敗が「ない」は、男女ともに85歳未満は9割以上となっていますが、85歳以上では「ときどきある」は、男性が19.0%、女性は23.1%に増加しています。

尿漏れや尿失禁が「ない」は、全体では71.4%となっています。性・年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて「ない」の割合が少なくなっています。

《大便の失敗がありますか》



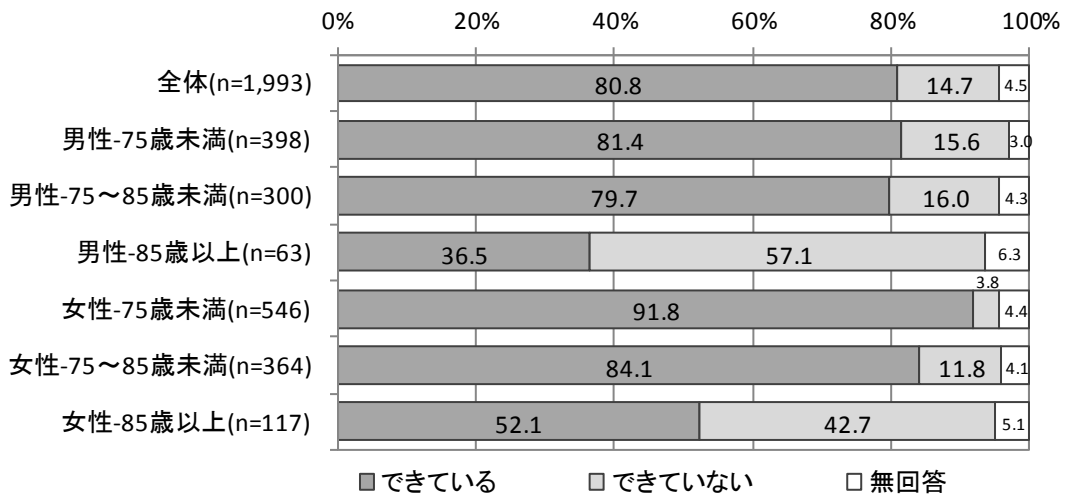
《尿漏れや尿失禁がありますか》



**F-問 17. 家事全般ができていますか**

家事全般が「できている」は、全体では 80.8%となっていますが、85 歳以上では、男性が 36.5%、女性は 52.1%と大幅に減少しています。

《家事全般ができていますか》



## 8. 社会参加について

G-問 1. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

G-問 2. 新聞を読んでいますか

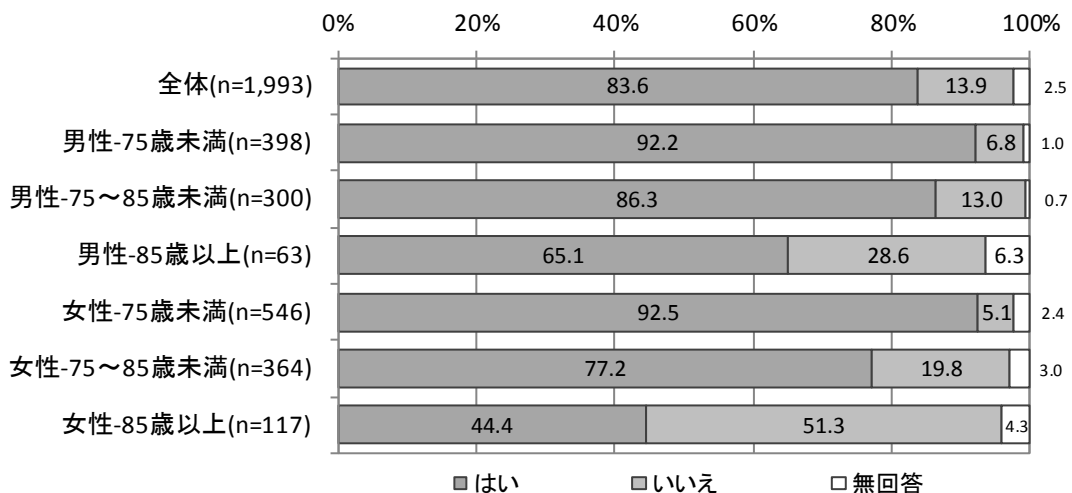
G-問 3. 本や雑誌を読んでいますか

年金などの書類が書けるかどうかは、全体では「はい」が83.6%を占めています。性・年齢階級別では、85歳以上の男性が65.1%、85歳以上の女性は44.4%と少なくなっています。

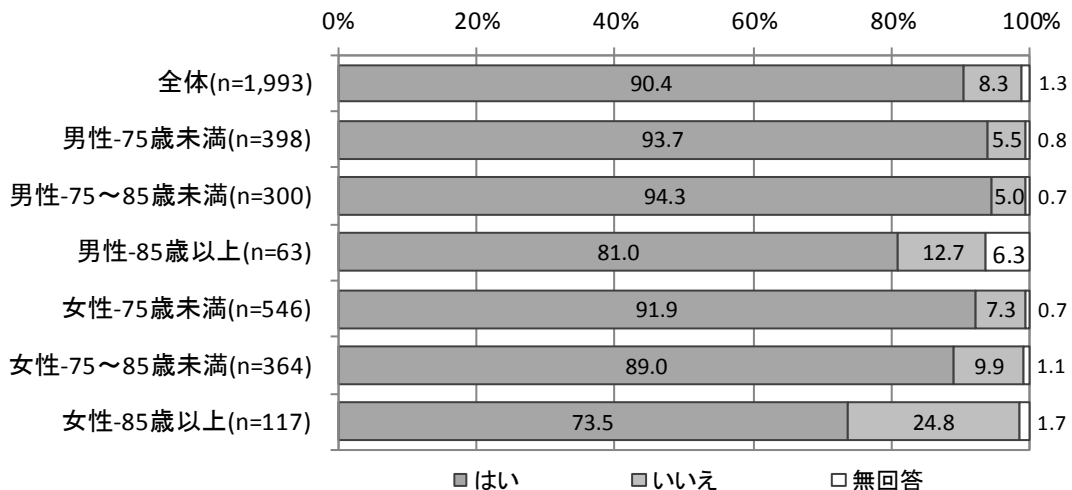
新聞を読んでいるかどうかは、全体、性・年齢階級別いずれも「はい」が7割以上となっていますが、男女ともに85歳以上で15ポイント程度少なくなっています。

本や雑誌を読んでいるかどうかは、全体では、「はい」が75.6%となっています。男女ともに、85歳以上で急激な減少がみられ、男性が54.0%、女性は52.1%まで「はい」の割合は少なくなっています。

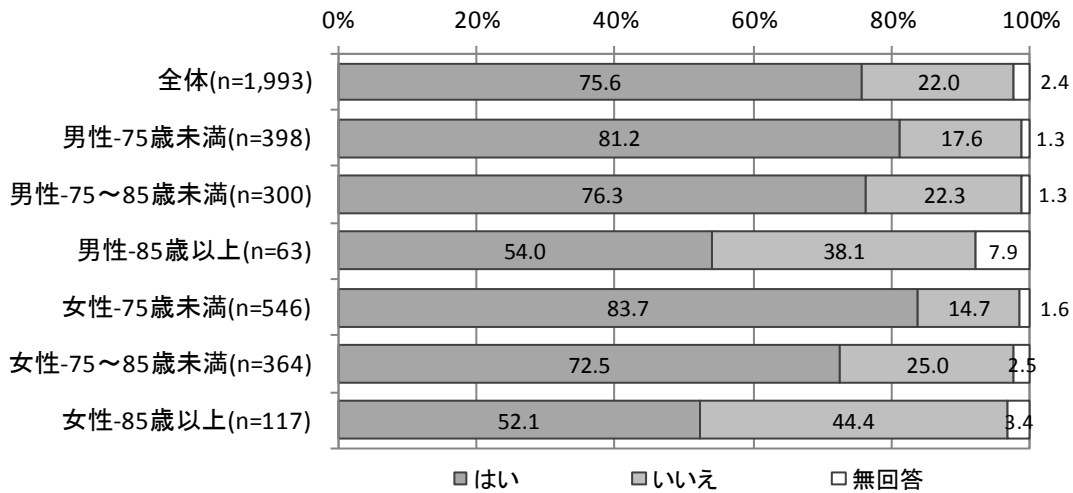
《年金などの書類が書けますか》



《新聞を読んでいますか》



《本や雑誌を読んでいますか》



**G-問 4. 健康についての記事や番組に関心がありますか**

**G-問 5. 友人の家を訪ねていますか**

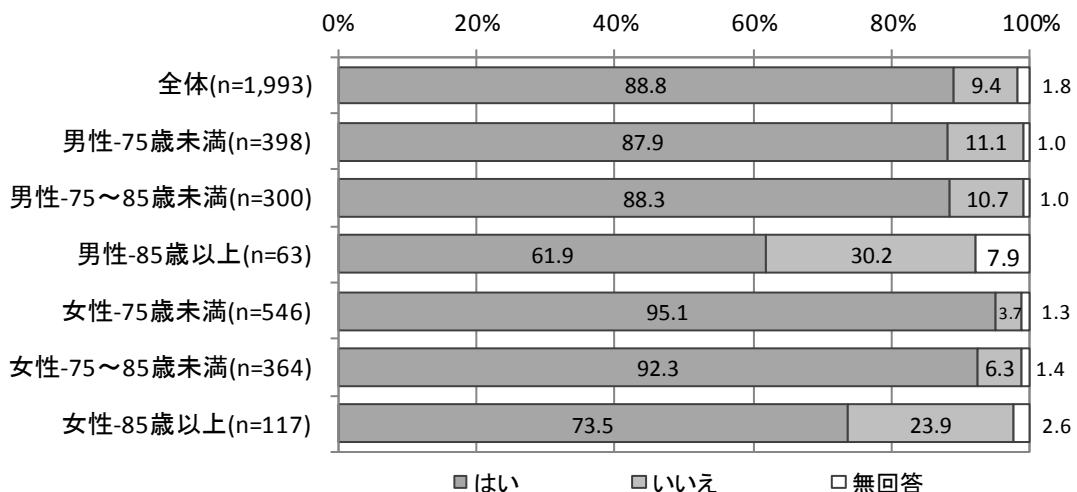
**G-問 6. 家族や友人の相談にのっていますか**

健康についての記事や番組に関心があるかどうかは、全体では「はい」が 88.8%を占めていますが、男女ともに 85 歳以上で 15 ポイント以上少なくなっています。

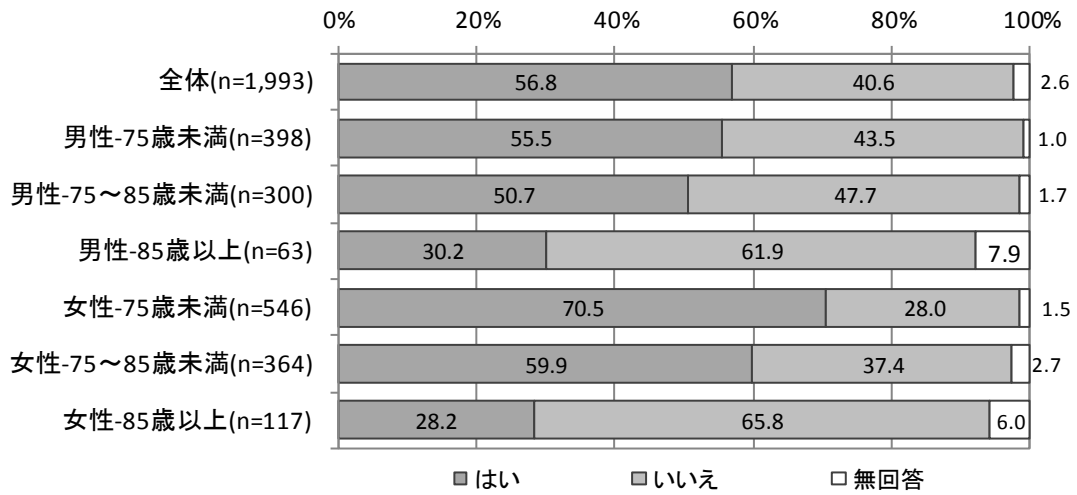
友人の家を訪ねているかどうかは、75 歳未満では、男性の 55.5%、女性の 70.5%に対し、85 歳以上では、男性は 30.2%、女性は 28.2%まで減少しています。

家族や友人の相談にのっているかどうかは、全体では「はい」が 76.0%となっていますが、85 歳以上の男性は 50.8%、85 歳以上の女性は 47.0%で全体よりも少なくなっています。

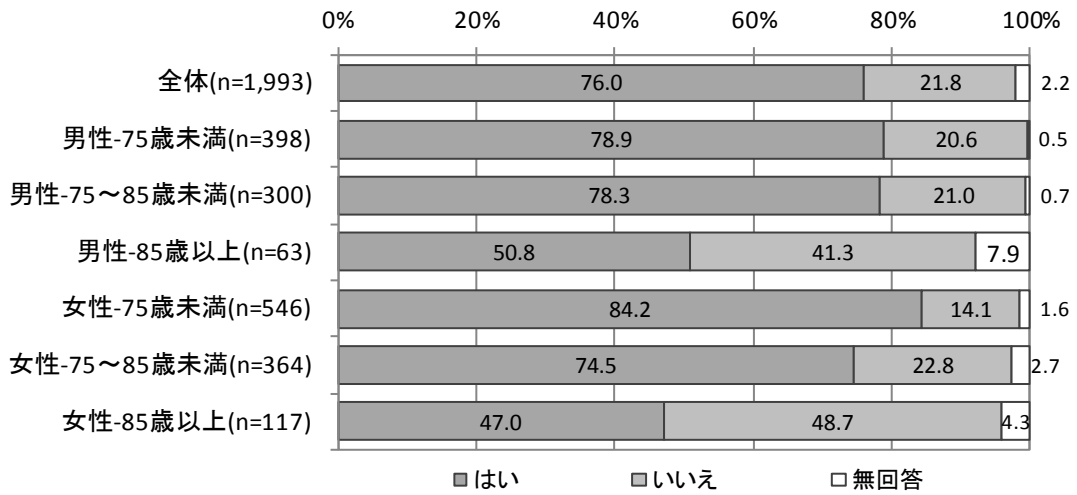
《健康についての記事や番組に関心がありますか》



《友人の家を訪ねていますか》



《家族や友人の相談にのっていますか》





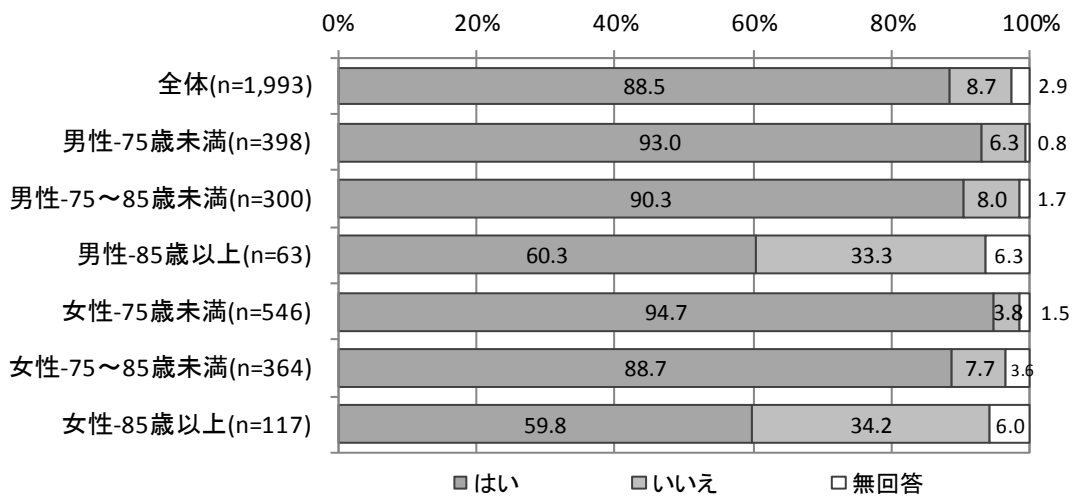
**G-問 7. 病人を見舞うことができますか**

**G-問 8. 若い人に自分から話しかけることがありますか**

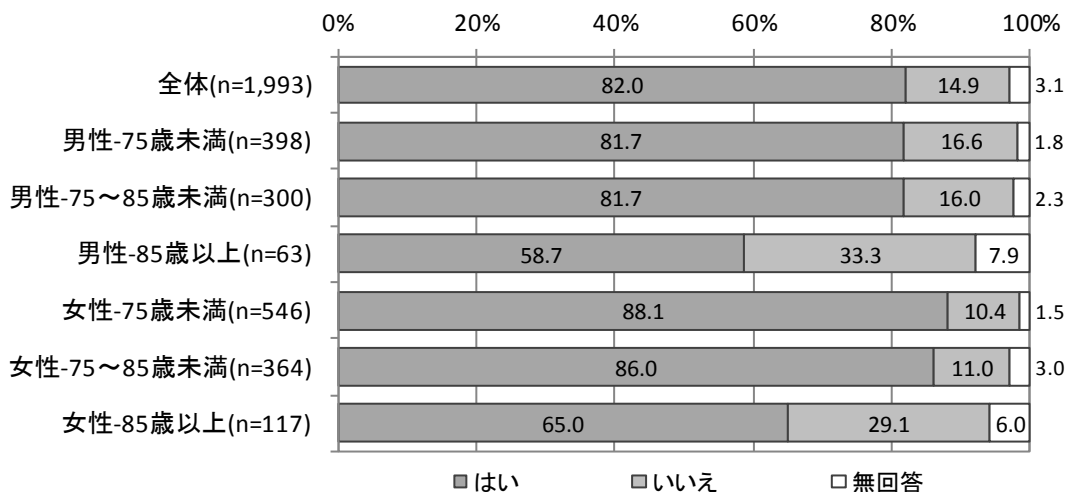
“病人を見舞うことができる”人は、男女ともに85歳未満では約9割を占めているのに対し、85歳以上では約6割まで減少しています。

“若い人に自分から話しかけることがある”人は、男女ともに85歳未満では8~9割を占めていますが、85歳以上では男性が58.7%、女性は65.0%に減少しています。

《病人を見舞うことができますか》



《若い人に自分から話しかけることがありますか》



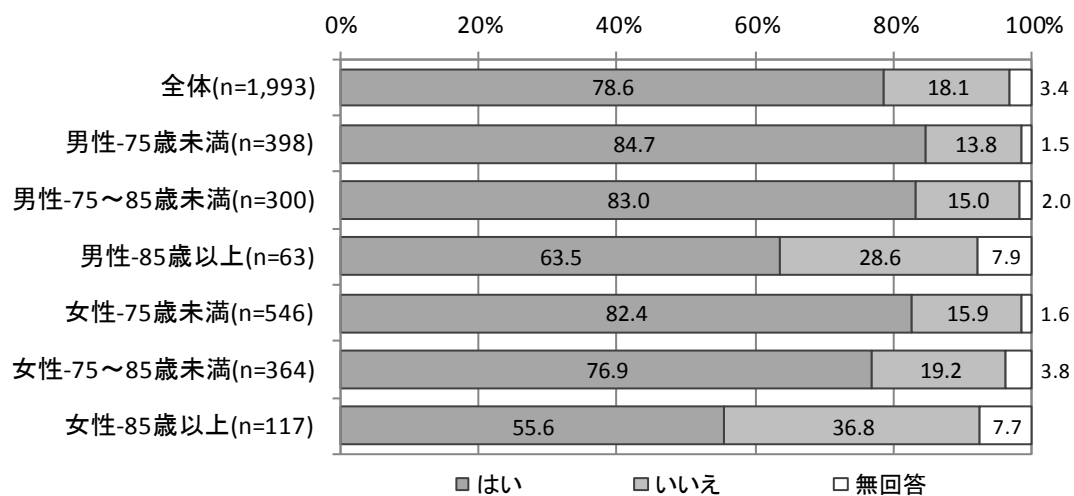
**G-問 9. 趣味はありますか**

**G-問 10. 生きがいがありますか**

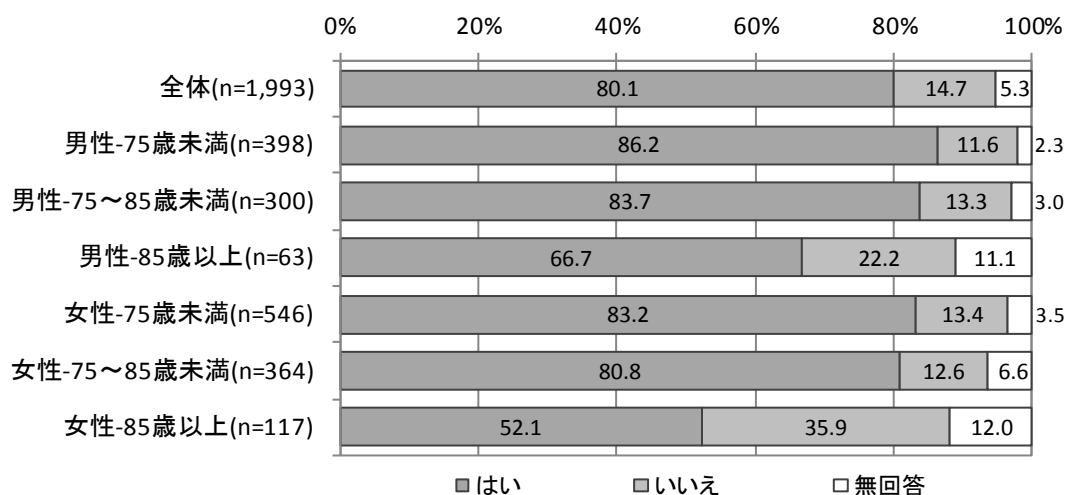
“趣味がある”人は、全体では78.6%となっています。性・年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて減少する傾向にあります。

“生きがいがある”人は、全体では80.1%となっていますが、85歳以上では、男性が66.7%、女性は52.1%と少なくなっています。

《趣味はありますか》



《生きがいがありますか》

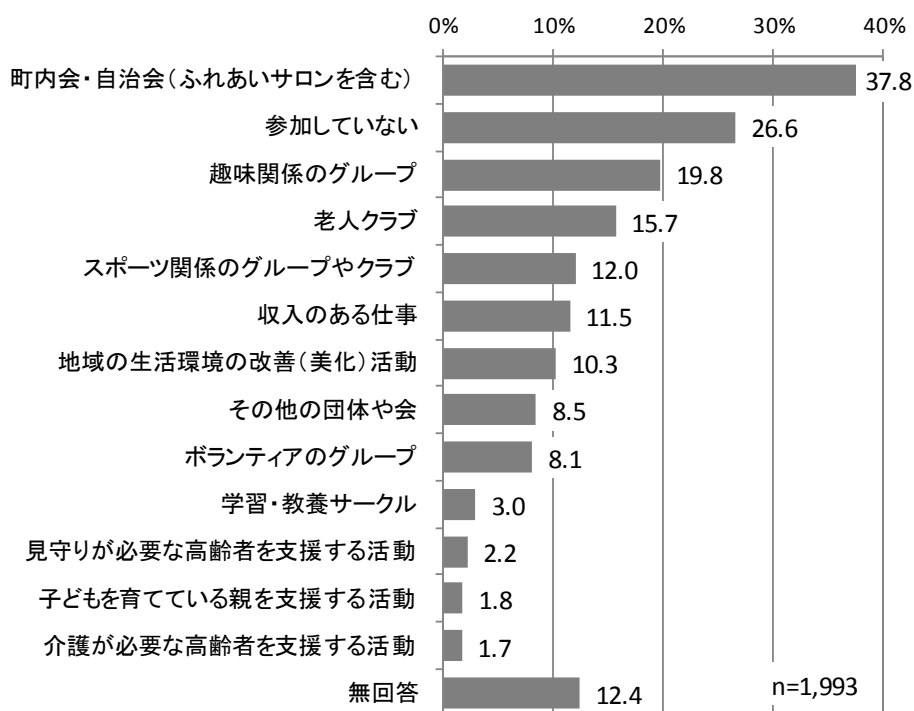


**G-問 11. 以下のような会・グループ等に参加していますか？(あてはまるもの全てに○をしてください)**

全体でみると、「町内会・自治会（ふれあいサロンを含む）」が 37.8%で最も多く、次いで「参加していない」（26.6%）、「趣味関係のグループ」（19.8%）と続いています。

性・年齢階級別では、男性は全ての年齢階級で「町内会・自治会（ふれあいサロンを含む）」が最も多くなっていますが、女性は 75 歳以上で「参加していない」が最も多くなっています。

《参加している会・グループ等》



《参加している会・グループ等（性別・年齢階級別）》

（単位：％）

	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	老人クラブ	町内会・自治会 （ふれあいサロンを含む）	学習・教養サークル	見守りが必要な高齢者を支援する活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子どもを育てている親を支援する活動	地域の生活環境の改善（美化）活動	収入のある仕事	その他の団体や会	参加していない	無回答
全体 (n=1,993)	8.1	12.0	19.8	15.7	37.8	3.0	2.2	1.7	1.8	10.3	11.5	8.5	26.6	12.4
男性-75歳未満 (n=398)	9.8	18.8	25.1	11.1	49.0	1.5	3.3	1.3	2.5	15.6	23.9	13.8	19.3	6.8
男性-75～85歳未満 (n=300)	9.3	16.7	23.0	18.7	46.3	2.7	2.7	1.7	2.3	14.3	7.7	8.3	27.3	8.0
男性-85歳以上 (n=63)	1.6	7.9	6.3	28.6	33.3	1.6	0.0	1.6	1.6	6.3	6.3	4.8	23.8	23.8
女性-75歳未満 (n=546)	11.4	11.4	20.3	10.3	38.8	4.9	2.7	2.2	2.7	10.3	15.4	7.3	23.8	9.9
女性-75～85歳未満 (n=364)	5.5	7.4	20.6	19.2	26.9	3.6	1.4	1.6	0.5	6.0	3.6	6.0	33.5	16.5
女性-85歳以上 (n=117)	1.7	0.0	5.1	18.8	18.8	0.0	0.9	1.7	0.0	0.9	0.0	6.0	45.3	22.2

※網掛け部は、「無回答」を除き各分類別に最も多い箇所

**G-問 12. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします**  
**(あてはまるもの全てに○をしてください)**

“心配事や愚痴を聞いてくれる人”は、全体では「配偶者」が多くなっていますが、女性を年齢階級別にみると、75歳未満は「配偶者」「友人」（ともに47.3%）、75～85歳未満は「別居の子ども」（33.8%）、85歳以上は「同居の子ども」（40.2%）が最も多くなっており、各年齢階級で「配偶者」が一番多い男性とは傾向が違ってきます。

“心配事や愚痴を聞いてあげる人”は、男性は全ての年齢で「配偶者」が最も多くなっているのに対し、女性は、85歳未満では「友人」が最も多く、85歳以上では「そのような人はいない」が最も多い状況です。

“看病や世話をしてくれる人”は、全体的に「配偶者」が最も多くなっていますが、85歳以上の女性は「同居の子ども」が最も多くなっています。

“看病や世話をしてあげる人”は、全体では「配偶者」が最も多くなっていますが、男女ともに85歳以上では「そのような人はいない」の回答が最も多くなっています。

《あなたとまわりの人の「たすけあい」について》 (単位：%)

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人									
全体 (n=548)	48.7	15.3	28.3	23.9	9.9	30.2	2.1	3.3	9.7
男性 75歳未満 (n=60)	73.1	9.5	22.9	17.6	6.5	26.1	2.5	4.8	4.5
男性 75～85歳未満 (n=77)	66.3	8.7	24.3	18.7	5.0	15.0	1.0	6.0	10.3
男性 85歳以上 (n=33)	50.8	20.6	27.0	9.5	6.3	17.5	6.3	3.2	14.3
女性 75歳未満 (n=110)	47.3	14.5	34.2	32.8	13.6	47.3	2.2	1.8	4.9
女性 75～85歳未満 (n=124)	27.7	20.6	33.8	30.2	12.9	30.2	1.6	2.5	11.8
女性 85歳以上 (n=79)	12.0	40.2	25.6	14.5	11.1	23.1	4.3	2.6	12.0
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人									
全体 (n=548)	39.0	10.5	23.5	25.1	12.5	31.7	2.7	6.3	13.5
男性 75歳未満 (n=60)	65.3	8.8	22.4	22.1	11.1	29.9	3.8	6.3	6.8
男性 75～85歳未満 (n=77)	57.0	8.0	23.0	18.0	6.7	16.0	2.0	6.0	13.3
男性 85歳以上 (n=33)	41.3	17.5	22.2	14.3	1.6	9.5	1.6	11.1	22.2
女性 75歳未満 (n=110)	35.0	11.5	29.1	35.2	17.4	48.0	3.3	4.4	7.7
女性 75～85歳未満 (n=124)	18.1	11.3	24.7	29.1	16.2	34.6	1.9	4.9	16.2
女性 85歳以上 (n=79)	6.0	16.2	13.7	7.7	7.7	18.8	2.6	21.4	22.2

※網掛け部は、「無回答」を除き各分類別に最も多い箇所

《あなたとまわりの人の「たすけあい」について（つづき）》

（単位：％）

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
(3) 看病や世話をしてくれる人									
全体 (n=548)	52.9	18.5	23.9	13.5	1.9	5.3	1.4	5.3	9.8
男性 75 歳未満 (n=60)	77.9	11.8	17.8	12.1	1.5	2.0	2.0	5.8	4.3
男性 75～85 歳未満 (n=77)	72.3	10.7	21.3	8.3	1.0	3.0	1.0	4.7	7.7
男性 85 歳以上 (n=33)	57.1	27.0	28.6	9.5	0.0	1.6	1.6	3.2	14.3
女性 75 歳未満 (n=110)	50.4	16.7	27.5	17.4	2.9	9.5	0.9	5.1	7.9
女性 75～85 歳未満 (n=124)	30.8	25.3	28.3	14.3	3.0	6.9	1.9	6.0	13.2
女性 85 歳以上 (n=79)	11.1	47.9	24.8	13.7	0.9	5.1	2.6	6.0	14.5
(4) 看病や世話をしてあげる人									
全体 (n=548)	45.7	9.9	12.9	17.3	3.0	5.4	1.5	16.9	18.5
男性 75 歳未満 (n=60)	65.8	10.6	13.1	14.8	2.8	3.8	3.3	14.1	8.0
男性 75～85 歳未満 (n=77)	55.7	7.3	10.3	9.3	0.7	1.7	0.3	14.3	20.3
男性 85 歳以上 (n=33)	30.2	1.6	9.5	7.9	0.0	0.0	0.0	36.5	27.0
女性 75 歳未満 (n=110)	48.5	10.6	18.5	28.9	4.9	9.2	2.0	12.5	13.0
女性 75～85 歳未満 (n=124)	29.7	11.3	12.9	15.9	3.6	6.9	0.0	19.2	23.4
女性 85 歳以上 (n=79)	7.7	12.8	4.3	10.3	0.9	3.4	1.7	41.0	29.1

※網掛け部は、「無回答」を除き各分類別に最も多い箇所

**G-問 13. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）**

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、全体では「そのような人はいない」が27.7%で最も多くなっています。男性の75歳以上は、「自治会・町内会・老人クラブ」が最も多く、女性の85歳以上は、「ケアマネジャー」が最も多くなっています。

《家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手》（単位：%）

	老人クラブ 自治会・町内会・	民生委員 社会福祉協議会・	ケアマネジャー	看護師 医師・歯科医師・	役所・役場 地域包括支援センター・	その他	そのような人はいない	無回答
全体 (n=1,993)	21.0	10.8	8.3	24.6	9.3	10.2	27.7	14.8
男性-75歳未満 (n=398)	24.4	10.3	4.5	26.4	12.3	12.6	32.2	6.5
男性-75~85歳未満 (n=300)	28.7	13.7	7.3	31.0	13.0	8.0	24.0	10.7
男性-85歳以上 (n=63)	28.6	14.3	17.5	25.4	3.2	9.5	25.4	12.7
女性-75歳未満 (n=546)	15.6	8.8	4.2	24.7	8.4	11.2	32.1	15.8
女性-75~85歳未満 (n=364)	19.5	13.2	9.9	24.7	6.3	10.2	25.3	16.8
女性-85歳以上 (n=117)	16.2	10.3	28.2	16.2	6.0	5.1	24.8	20.5

※網掛け部は、「無回答」を除き各分類別に最も多い箇所

**G-問 14. 友人関係についておうかがいします**

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)

(2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか

同じ人には何度会っても1人と数えることとします (1つに○)

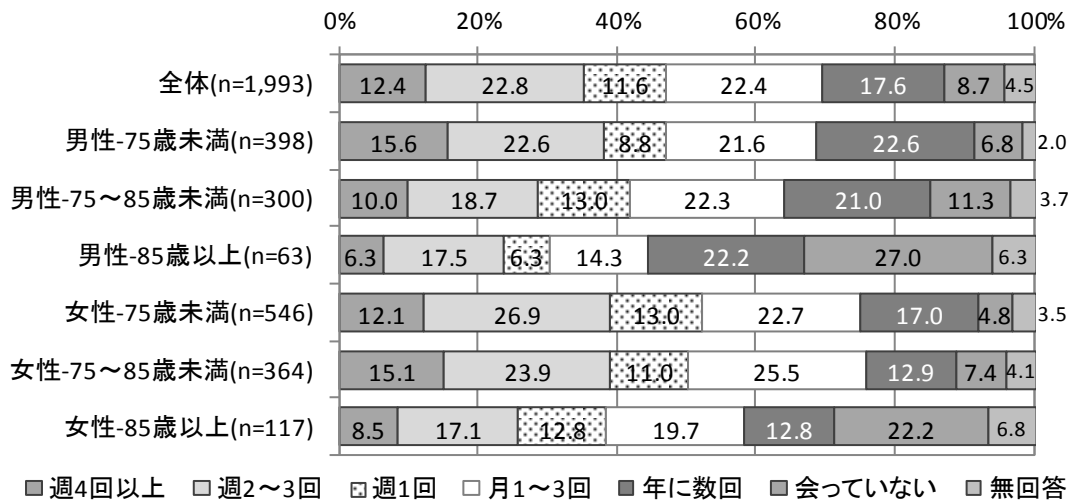
(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

友人・知人と会う頻度は、全体では「週2~3回」22.8%が最も多く、次いで「月1~3回」(22.4%)と続いています。男女ともに年齢が高くなるにつれて友人・知人と会う頻度が減少しています。

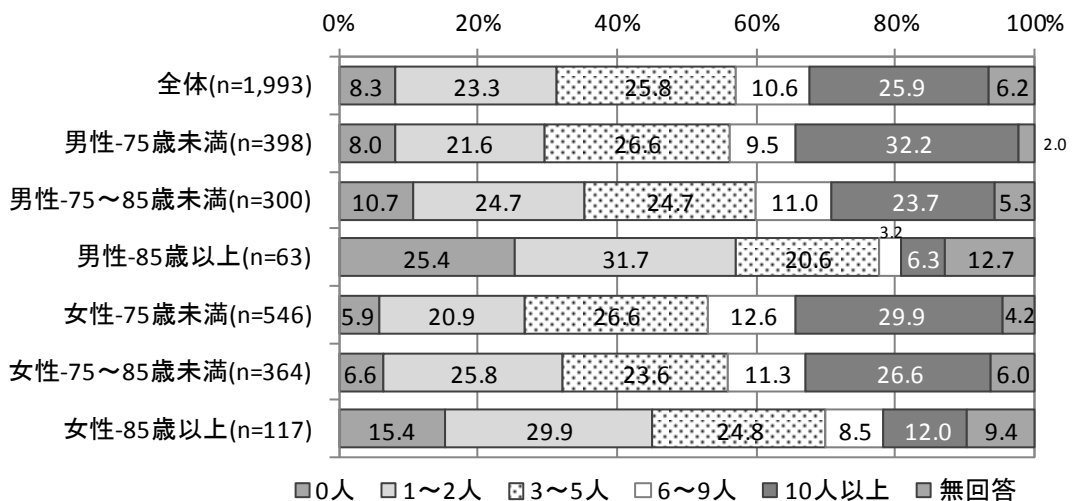
この1ヶ月間に会った友人・知人の数は、男女ともに75歳未満は「10人以上」が最も多く、85歳以上では「1~2人」が最も多い状況です。

“よく会う友人・知人との関係”は、全体的に「近所・同じ地域の人」が最も多くなっています。

《友人・知人と会う頻度》



《この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか》





《よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか》

(単位：%)

	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の友人	その他	いない	無回答
全体 (n=1,993)	53.3	8.0	13.0	28.8	32.4	6.2	10.6	5.2	6.4
男性-75歳未満 (n=398)	49.0	6.5	14.3	46.7	40.7	7.8	9.0	4.5	3.3
男性-75～85歳未満 (n=300)	56.3	3.7	10.3	35.0	33.3	5.0	8.3	5.3	7.3
男性-85歳以上 (n=63)	33.3	1.6	3.2	14.3	19.0	3.2	15.9	17.5	11.1
女性-75歳未満 (n=546)	56.8	12.1	15.6	30.0	33.7	9.0	9.9	3.8	4.2
女性-75～85歳未満 (n=364)	57.1	10.7	17.3	15.1	32.7	4.1	12.4	4.9	6.0
女性-85歳以上 (n=117)	52.1	2.6	5.1	6.8	14.5	3.4	17.9	11.1	11.1

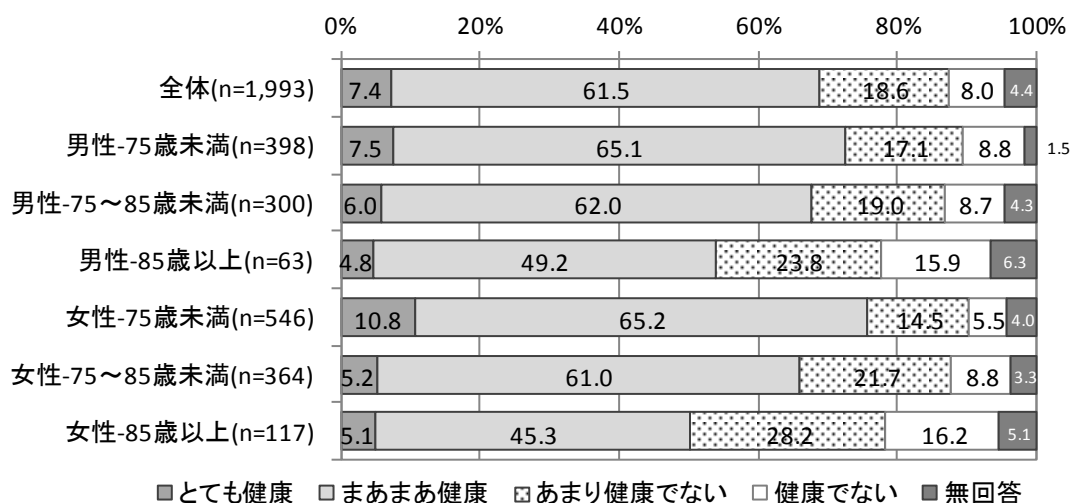
※網掛け部は、「無回答」を除き各分類別に最も多い箇所

## 9. 健康について

### H-問 1. 普段、ご自分で健康だと思いますか

本人の主観的健康感は、全体では「とても健康」(7.4%)、「まあまあ健康」(61.5%)で、合計 68.9%となっています。また、男女ともに、年齢が高くなるにつれて「とても健康」「まあまあ健康」の割合が少なくなっています。

《普段、自分を健康だと思いますか》

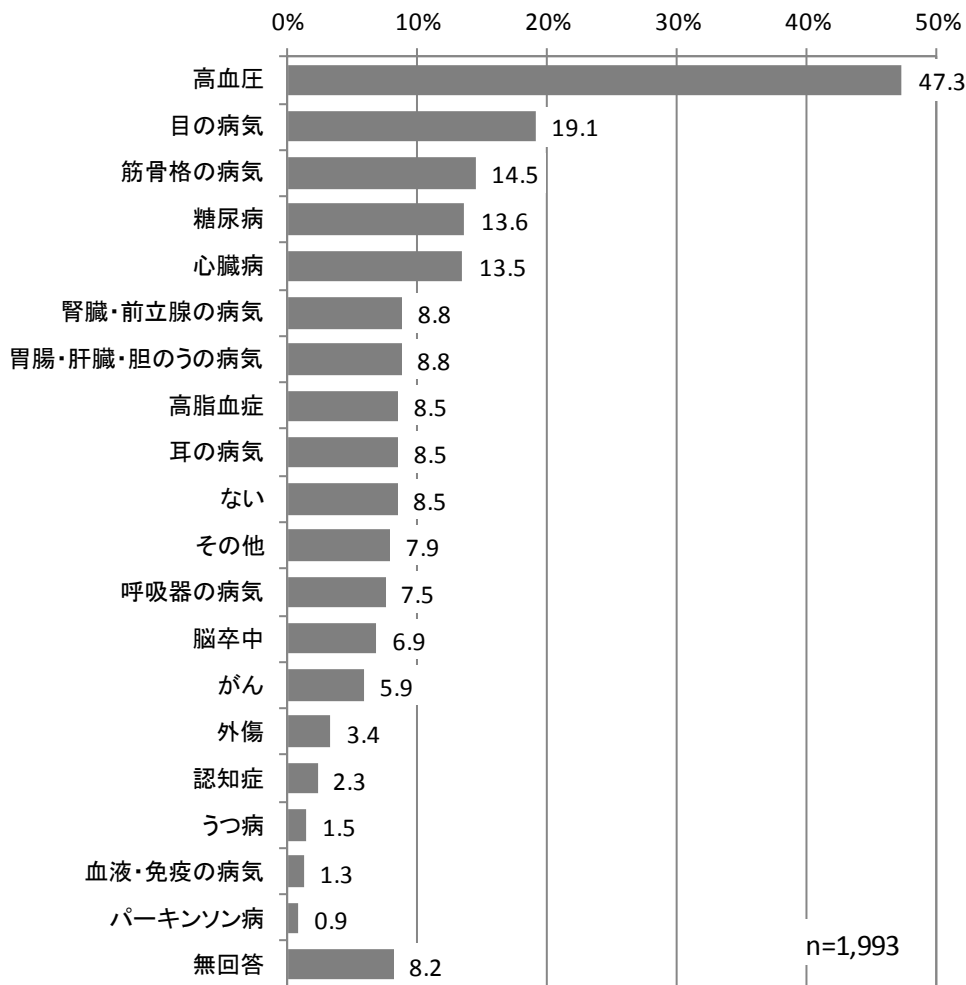


## H-問 2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

全体では、「高血圧」が47.3%と他の病気に比べて非常に多くなっており、次いで「目の病気」（19.1%）、「筋骨格の病気」（14.5%）と続いています。

性・年齢階級別でも「高血圧」が最も多くなっていますが、全体と比較して、75歳以上の男性は「腎臓・前立腺の病気」、「心臓病」の割合が高くなっており、75歳以上の女性では「目の病気」、「筋骨格の病気」の割合が高くなっています。

《現在治療中、または後遺症のある病気》



《現在治療中、または後遺症のある病気（性別・年齢階級別）》

（単位：％）

	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷
全体 (n=1,993)	47.3	6.9	13.5	13.6	8.5	7.5	8.8	8.8	14.5	3.4
男性-75歳未満 (n=398)	46.7	9.5	13.1	17.8	9.0	5.8	9.0	12.8	4.0	3.3
男性-75～85歳未満 (n=300)	49.0	9.0	18.7	17.7	3.0	10.3	10.0	22.7	7.0	3.3
男性-85歳以上 (n=63)	39.7	9.5	20.6	17.5	3.2	12.7	4.8	23.8	7.9	6.3
女性-75歳未満 (n=546)	43.8	4.0	8.2	9.7	14.1	5.7	8.2	1.6	18.1	2.4
女性-75～85歳未満 (n=364)	51.9	4.1	13.2	12.1	8.5	9.1	8.8	1.9	24.2	3.3
女性-85歳以上 (n=117)	55.6	8.5	19.7	12.0	7.7	6.0	4.3	3.4	29.1	7.7

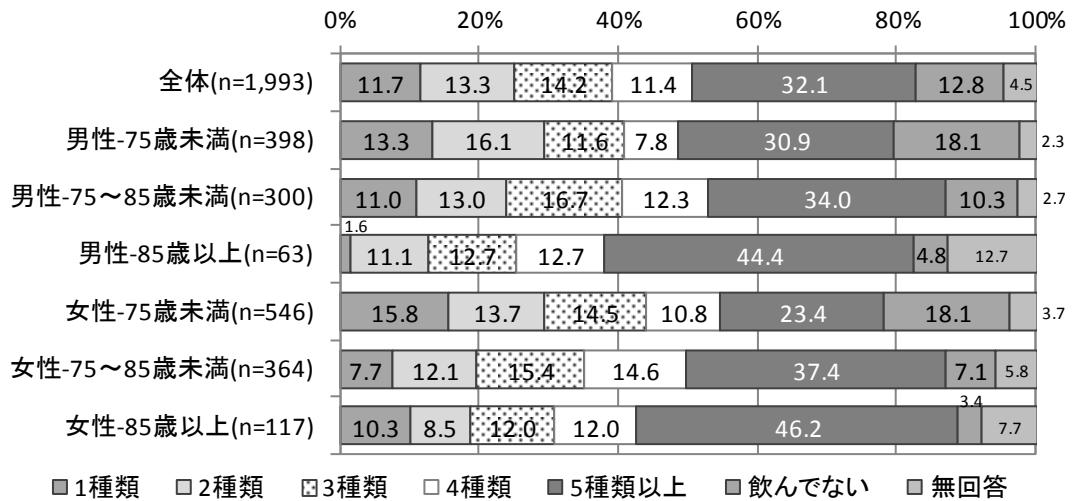
	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
全体 (n=1,993)	5.9	1.3	1.5	2.3	0.9	19.1	8.5	7.9	8.5	8.2
男性-75歳未満 (n=398)	7.5	0.5	1.5	1.0	1.0	14.8	7.8	6.8	12.6	5.8
男性-75～85歳未満 (n=300)	8.0	1.7	0.0	2.0	0.7	19.0	9.7	8.7	7.3	6.7
男性-85歳以上 (n=63)	4.8	1.6	0.0	7.9	1.6	23.8	19.0	7.9	4.8	11.1
女性-75歳未満 (n=546)	4.9	0.9	2.4	0.7	0.2	14.7	5.7	7.5	12.3	9.7
女性-75～85歳未満 (n=364)	4.9	2.2	1.6	1.4	0.5	27.2	8.8	9.9	4.1	7.1
女性-85歳以上 (n=117)	3.4	1.7	1.7	15.4	5.1	27.4	14.5	10.3	1.7	7.7

※網掛け部は、全体と比較して5ポイント以上多い箇所

### H-問 3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか（1つに○）

現在、医師が処方した薬を何種類飲んでいるかは、全体、性・年齢階級別いずれも「5種類以上」が最も多い状況です。また、年齢が高くなるにつれて薬の種類は増加する傾向にあります。

《医師が処方した薬の種類》



**H-問 4. 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか (1つに○)**

**H-問 4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか**

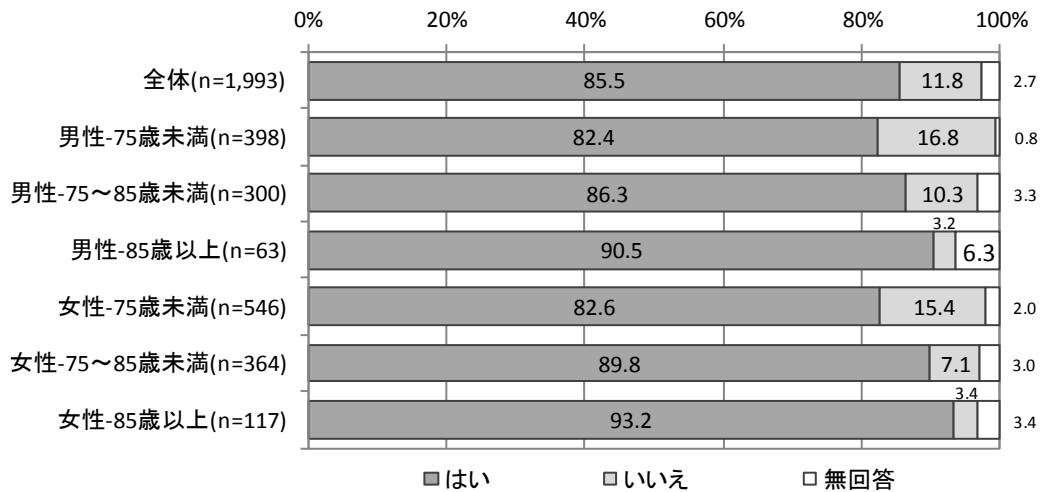
**H-問 4-2. (通信している方のみ) 通院に介助が必要ですか**

“現在、病院・医院に通院している”人は、全体では85.5%となっており、男女ともに85歳以上では9割以上の方が通院していると回答しています。

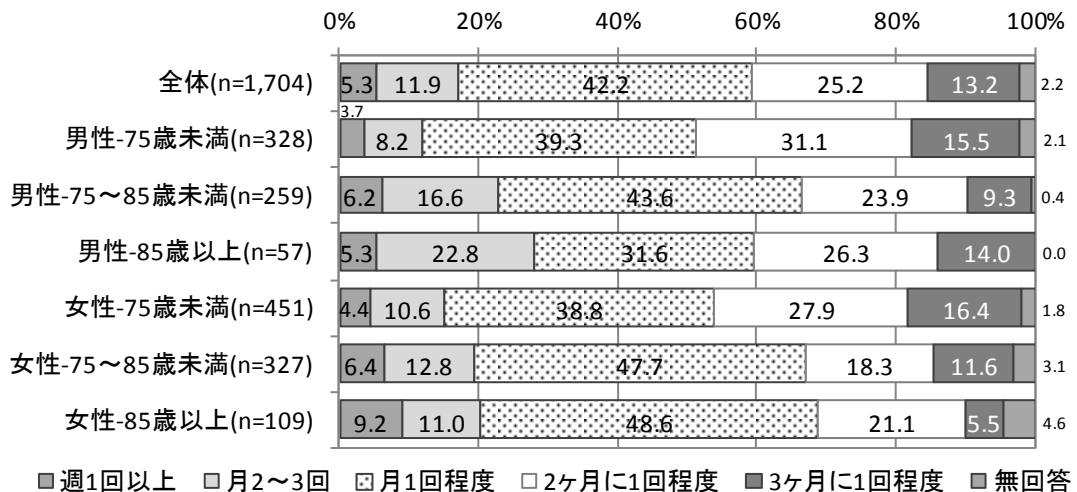
“現在、病院・医院に通院している”人の通院頻度は、いずれも「月1回程度」が最も多くなっています。

“通院に介助が必要”な人は、男女ともに85歳未満では1割前後であるのに対し、85歳以上では、男性が31.6%、女性は45.0%と多くなっています。

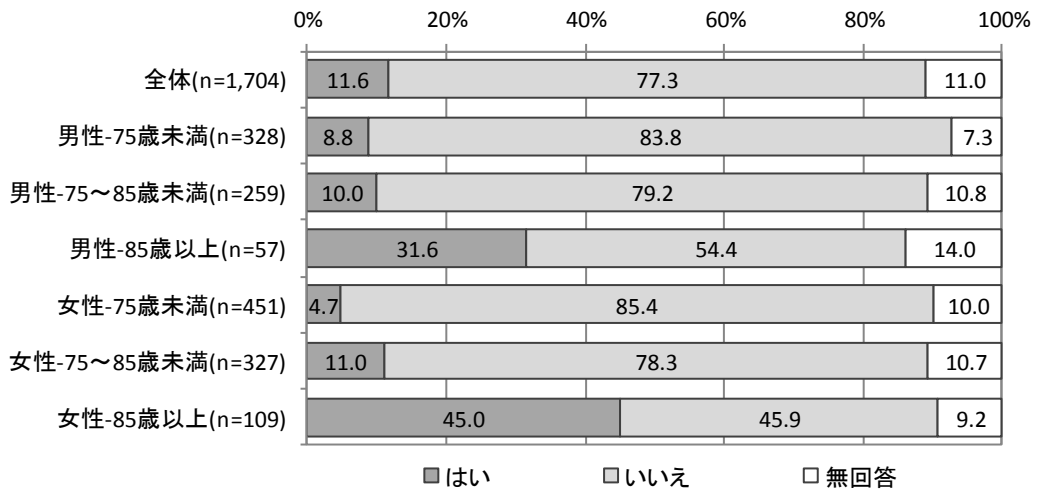
《現在、病院・医院に通院していますか》



《病院・医院の通院頻度》



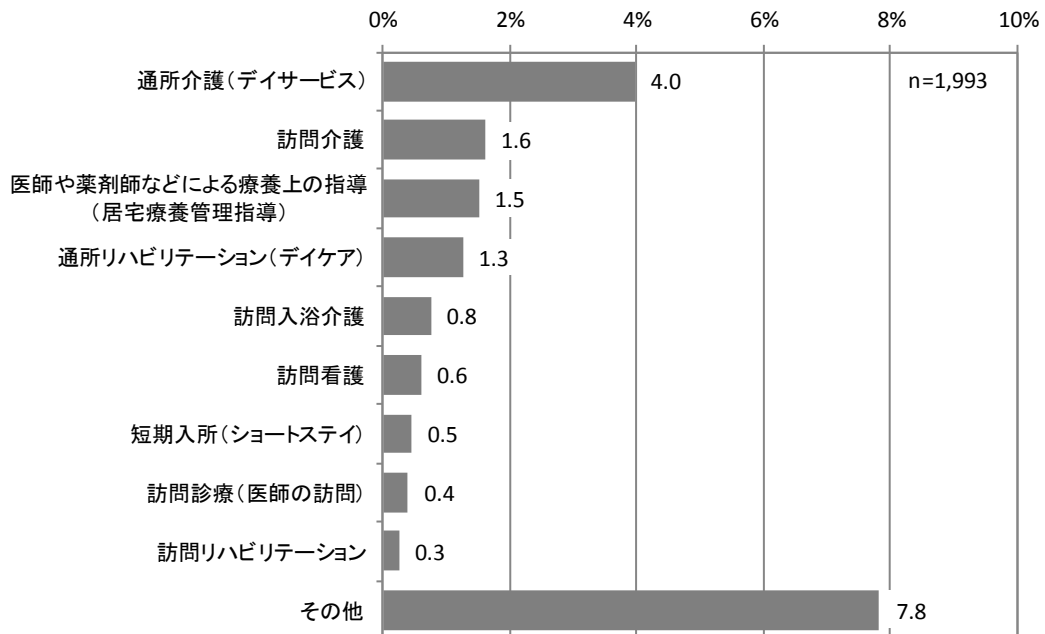
《通院に介助が必要ですか》



**H-問 5. 以下の在宅サービスを利用していますか（いくつでも）**

在宅サービスの利用状況を全体でみると、「通所介護（デイサービス）」が 4.0%で最も多く、次いで「訪問介護」（1.6%）、「医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）」（1.5%）と続いています。

《利用している在宅サービス》



《利用している在宅サービス（属性別）》

（単位：％）

	訪問診療 （医師の訪問）	訪問看護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護 （デイサービス）	通所リハビリテーション （デイケア）	短期入所 （ショートステイ）	医師や薬剤師などによる療養 上の指導 （居宅療養管理指導）	その他	無回答
全体 (n=1, 993)	0.4	1.6	0.8	0.6	0.3	4.0	1.3	0.5	1.5	7.8	84.5
男性-75歳未満 (n=398)	0.0	1.3	0.5	0.3	0.5	1.5	1.3	0.0	0.8	8.0	87.7
男性-75～85歳未満 (n=300)	0.3	2.0	0.7	0.7	0.0	2.3	1.7	0.3	3.0	9.7	83.3
男性-85歳以上 (n=63)	1.6	1.6	0.0	4.8	0.0	15.9	4.8	0.0	4.8	7.9	66.7
女性-75歳未満 (n=546)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7	0.0	0.7	7.5	90.5
女性-75～85歳未満 (n=364)	0.5	1.9	0.8	0.5	0.3	4.4	1.1	0.0	1.4	6.9	84.9
女性-85歳以上 (n=117)	0.9	6.8	6.0	2.6	0.9	19.7	1.7	5.1	2.6	12.0	59.0

※網掛け部は、「その他」「無回答」を除き各属性ごとに最も割合が高い箇所



**H-問 6. (ここ 2 週間) 毎日の生活に充実感がない**

**H-問 7. (ここ 2 週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった**

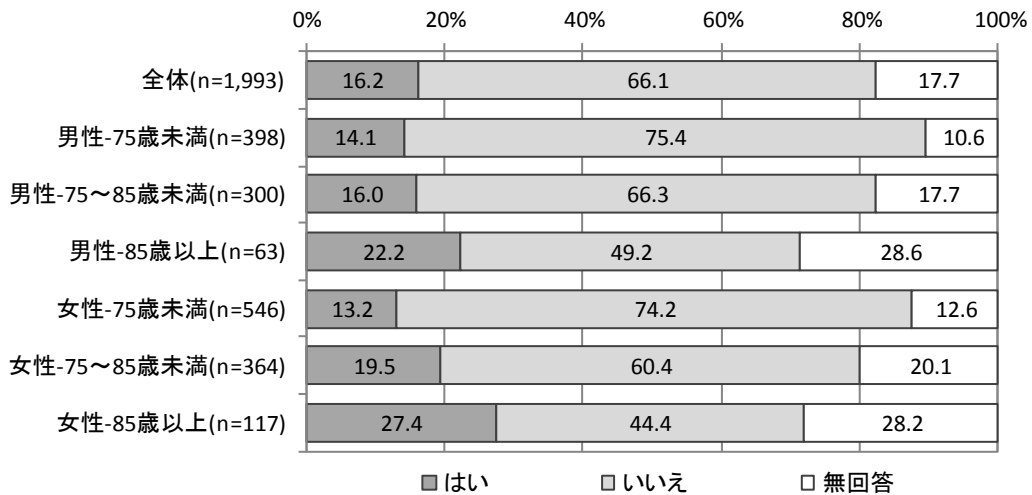
**H-問 8. (ここ 2 週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる**

“ここ 2 週間、生活に充実感がない”と感じている人は、全体では 16.2%となっていますが、男性は 85 歳以上、女性は 75 歳以上で全体よりも多くなっています。

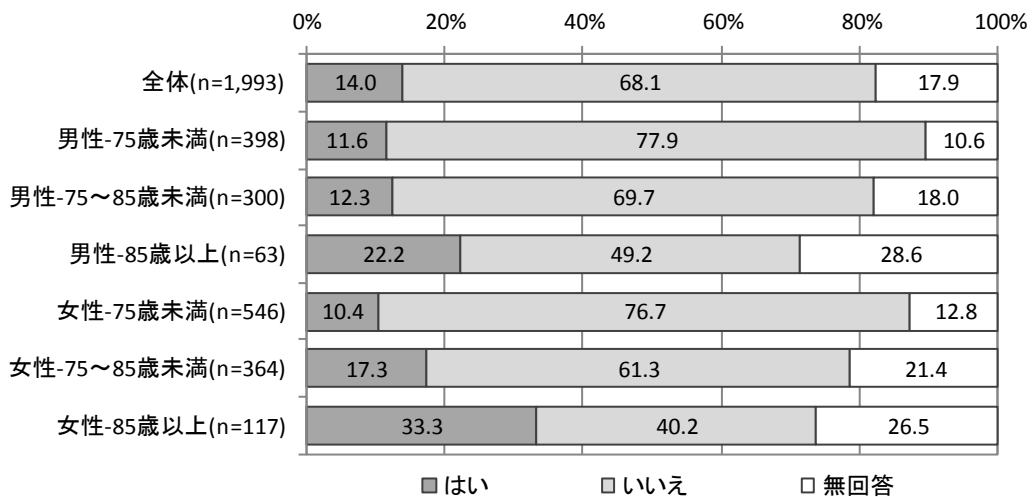
“ここ 2 週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった”と感じている人は、全体では 14.0%となっていますが、男女ともに 85 歳以上で急激に増えています。

“ここ 2 週間、以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる”人は、全体では 28.8%となっています。性・年齢階級別では、男女ともに年齢が高くなるにつれておっくうに感じられる人が多くなる傾向がみられます。

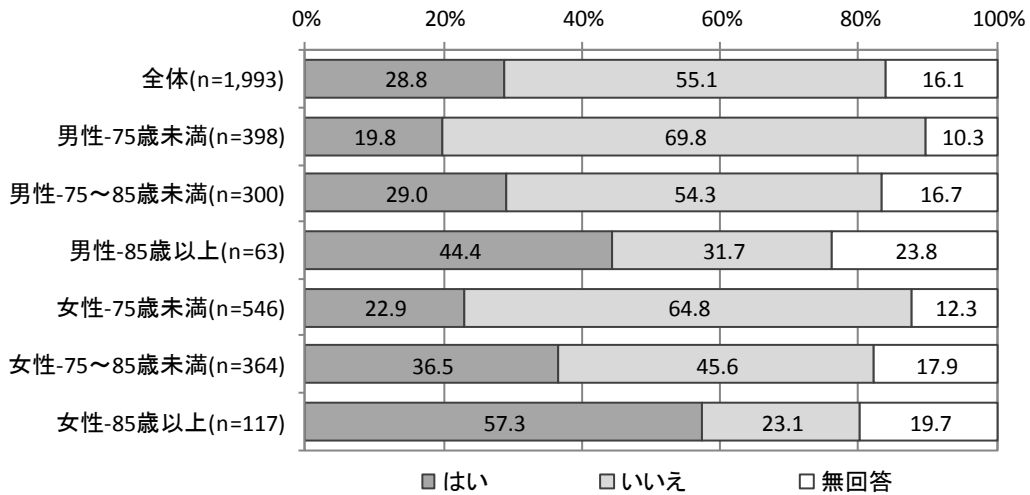
《毎日の生活に充実感がない》



《これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった》



《以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる》



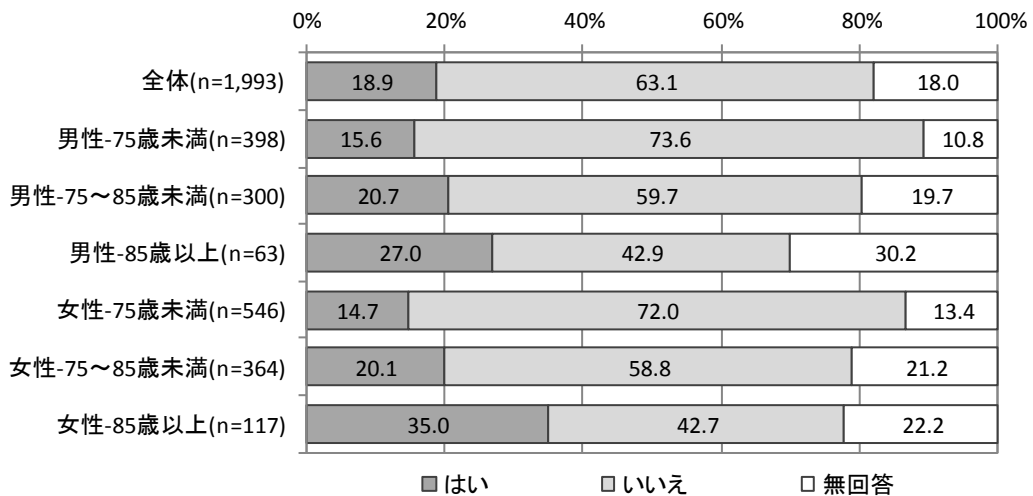
**H-問 9. (ここ 2 週間) 自分が役に立つ人間だと思えない**

**H-問 10. (ここ 2 週間) わけもなく疲れたような感じがする**

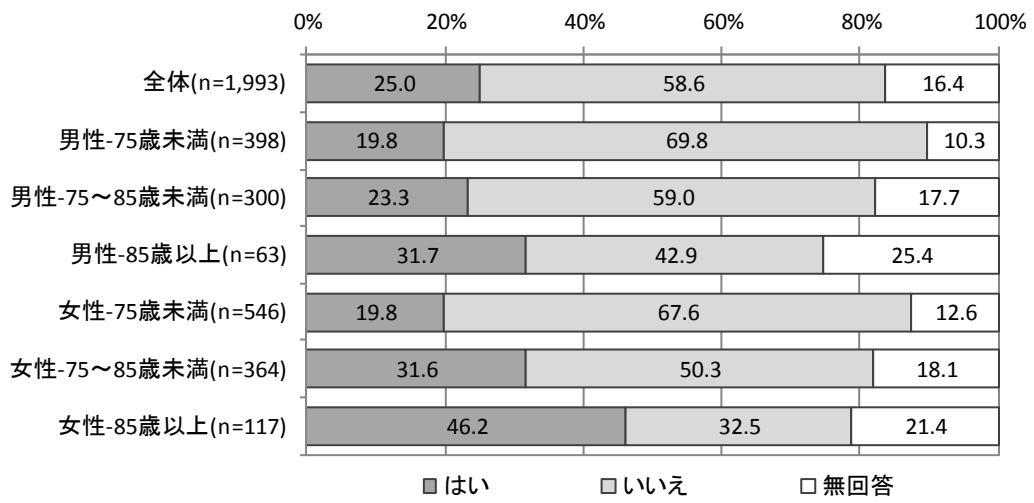
“ここ 2 週間、自分が役に立つ人間だと思えない”人は、男女ともに 75 歳未満では 15%前後となっているのに対し、85 歳以上では男性が 27.0%、女性は 35.0%と多くなっています。

“ここ 2 週間、わけもなく疲れたような感じがする”人は、全体では 25.0%となっていますが、性・年齢階級別でみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて増加し、85 歳以上の女性は 46.2%となっています。

《自分が役に立つ人間だと思えない》



《わけもなく疲れたような感じがする》



---

## 第3章 市独自設問の集計結果

---

# 1. 将来の住まいについて

1-問 1. あなたは、今後も現在の住宅に住み続けたいと思いますか？(1つに○)

1-問 1-1. どのような住宅に移りたいと思いますか？(1つに○)

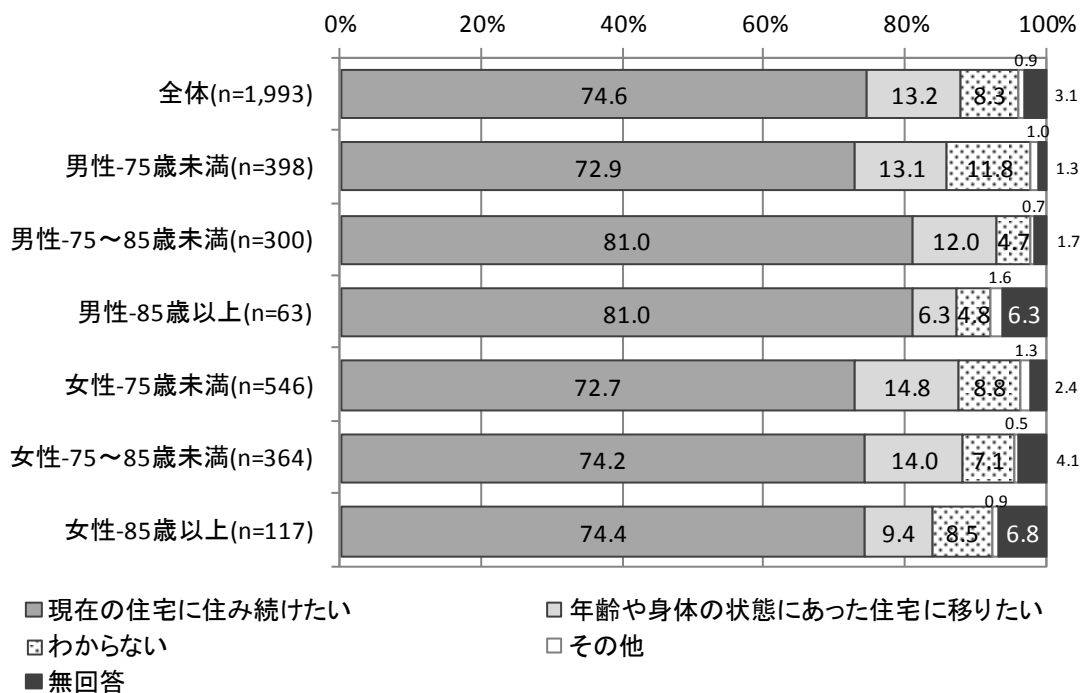
1-問 1-2. 費用負担はいくらくらいなら利用したいですか？

将来の住まいについて、全体では、「現在の住宅に住み続けたい」と回答した人は74.6%を占め、「年齢や身体の状態にあった住宅に移りたい」は13.2%にとどまっています。

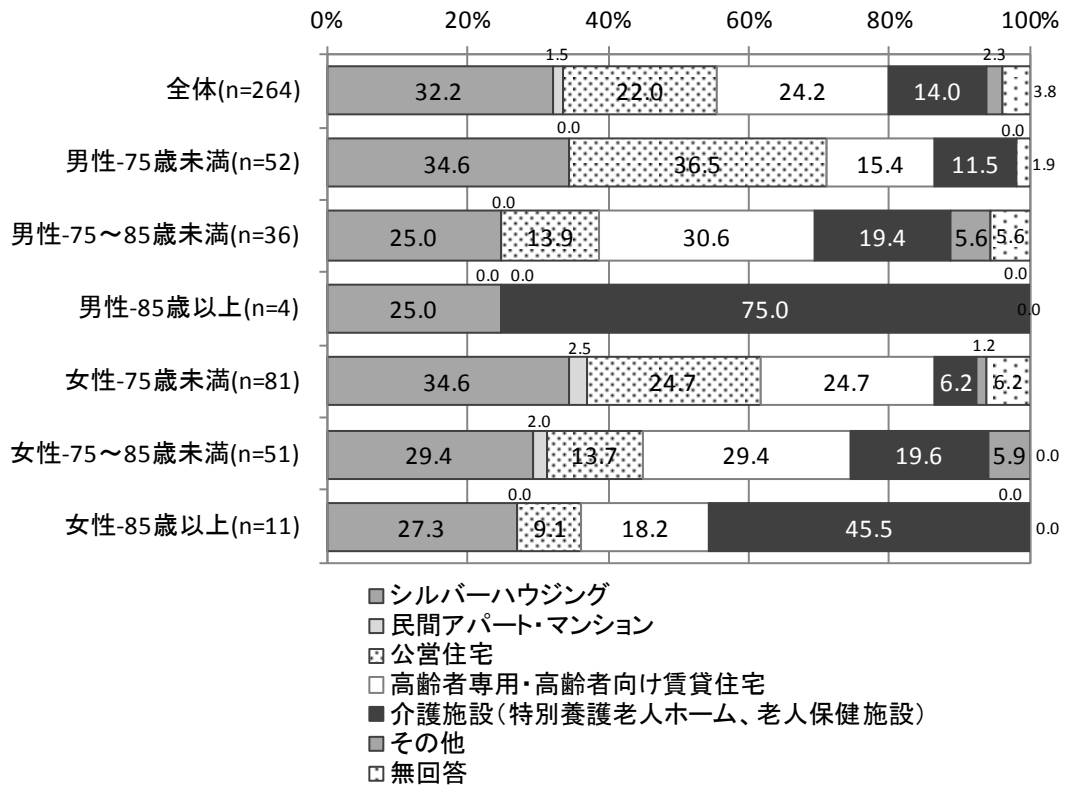
「年齢や身体の状態にあった住宅に移りたい」と回答した人が移り住みたい住宅の種類は、全体では「シルバーハウジング」が32.2%で最も多く、次いで「高齢者専用・高齢者向け賃貸住宅」(24.2%)、「公営住宅」(22.0%)と続いています。

移り住みたい住宅で希望する費用負担額は、「10万円以上」が15.2%で最も多く、次いで「2万円～3万円未満」(14.0%)、「3万円～4万円未満」(10.2%)と続いています。

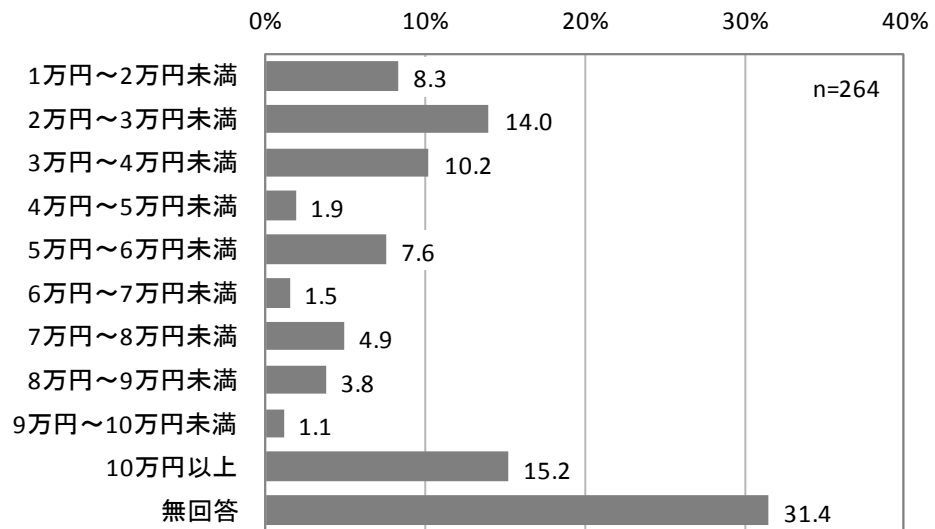
《現在の住宅に住み続けたいと思いますか》



《どのような住宅に移りたいと思いますか》



《費用負担はいくらくらいなら利用したいですか》



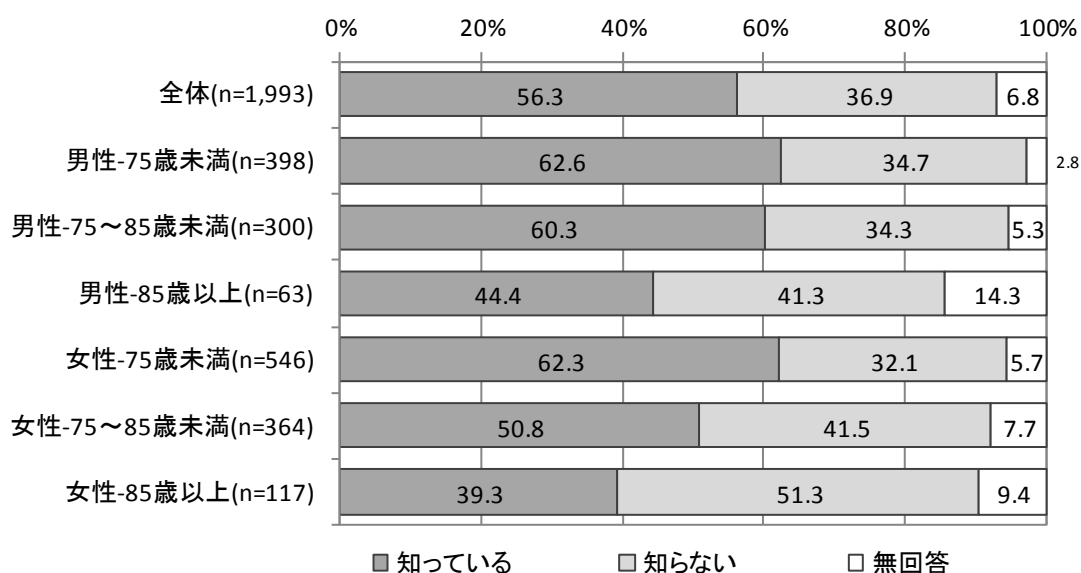
## 2. 高齢者福祉事業について

J-問 1. 認知症などで、判断能力の十分ではない高齢者にかわって、書類の手続きや金銭の管理をしてくれる「権利擁護事業」・「成年後見人制度」を知っていますか？(1つに○)

全体では、「権利擁護事業」・「成年後見人制度」を「知っている」人は 56.3%、「知らない」人は 36.9%となっています。

性・年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて認知度が低くなっており、特に、85歳以上の女性では、「知らない」が 51.3%で「知っている」の 39.3%を上回っています。

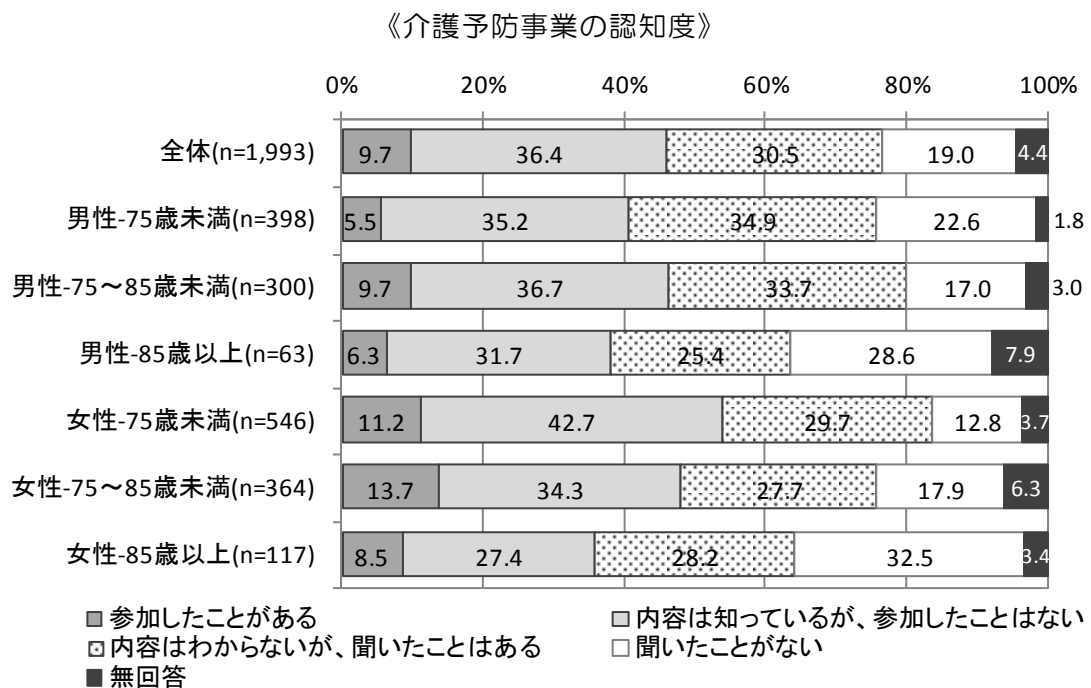
《「権利擁護事業」・「成年後見人制度」の認知度》



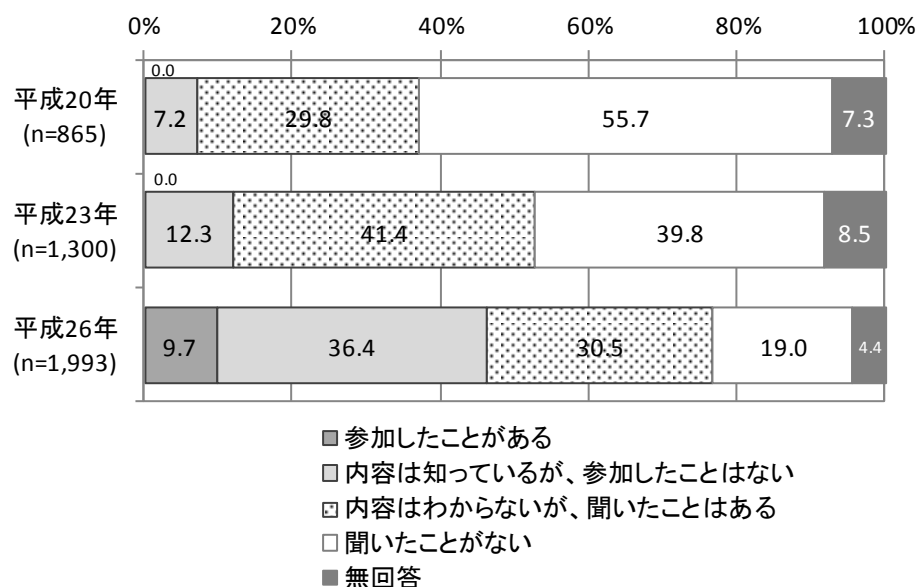
**J-問 2. 留萌市で実施している介護予防事業(ピンピンからだ広場・脳いきいき教室・健口教室・はつらつ栄養講座など)を知っていますか?(1つに○)**

全体では、「内容は知っているが、参加したことはない」が36.4%で最も多く、次いで「内容はわからないが、聞いたことはある」(30.5%)、「聞いたことがない」(19.0%)、「参加したことがある」(9.7%)の順となっています。

介護予防事業の認知度は年々高くなっており、平成20年の調査では「聞いたことがない」が半数以上の55.7%でしたが、今回の調査では19.0%となっています。



《介護予防事業の認知度 (過去調査との比較)》

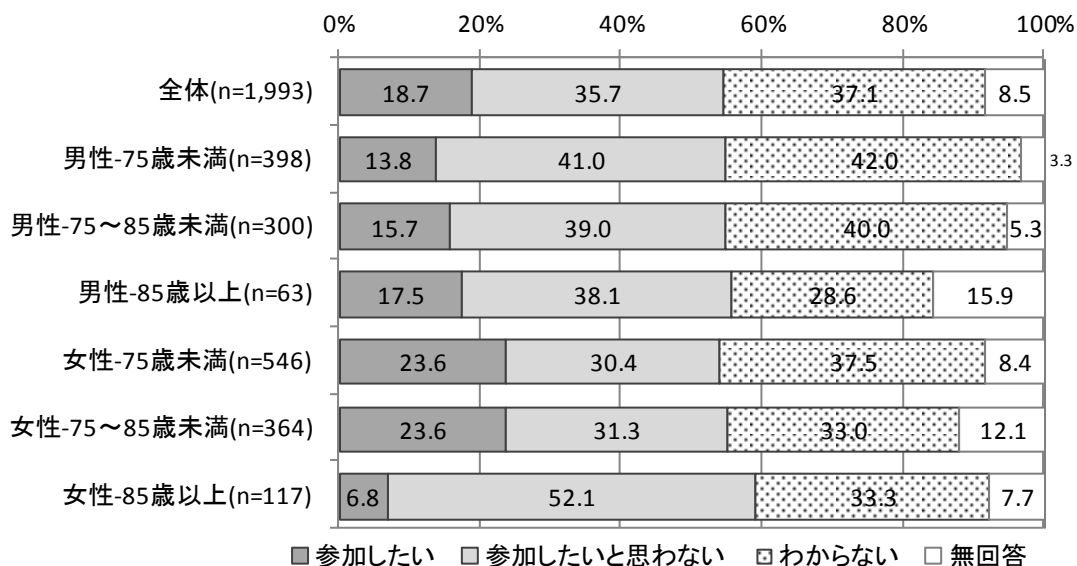




**J-問 3. 留萌市で実施している介護予防事業(ピンピンからだ広場・脳いきいき教室・健口教室・はつらつ栄養講座など)に参加したいと思いますか?(1つに○)**

全体では、介護予防事業の利用意向は「わからない」が37.1%で最も多く、次いで「参加したいと思わない」(35.7%)、「参加したい」(18.7%)となっています。

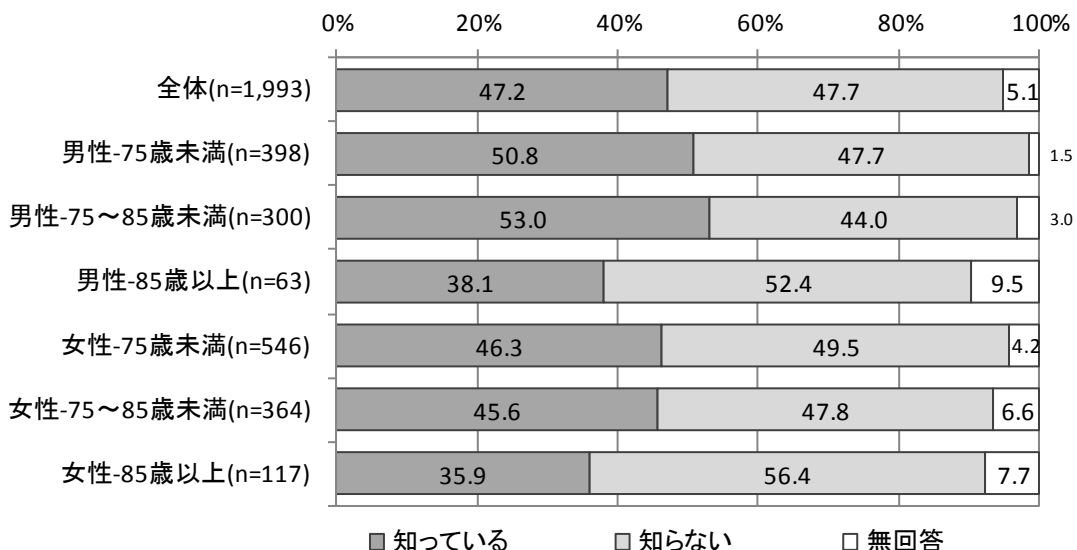
《介護予防事業の利用意向》



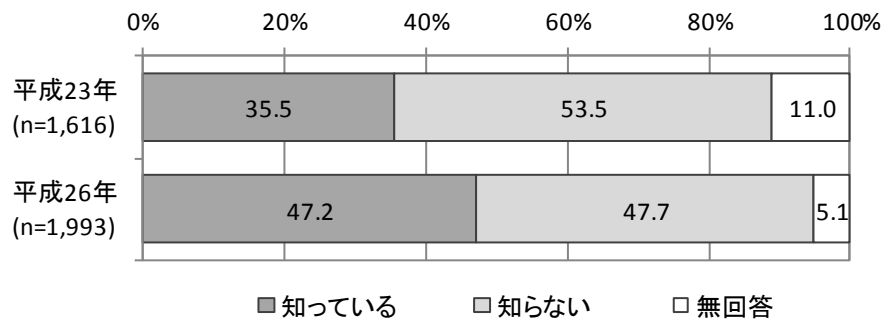
**J-問 4. 緊急時に通報ボタンを押すことにより消防等の関係機関に通報することができる「緊急通報システム」を知っていますか。(1つに○)**

全体では、「緊急通報システム」を「知っている」人は47.2%、「知らない人」は47.7%となっています。前回調査との比較では、「知っている」人は10ポイント以上増えています。

《「緊急通報システム」の認知度》



《「緊急通報システム」の認知度（過去調査との比較）》

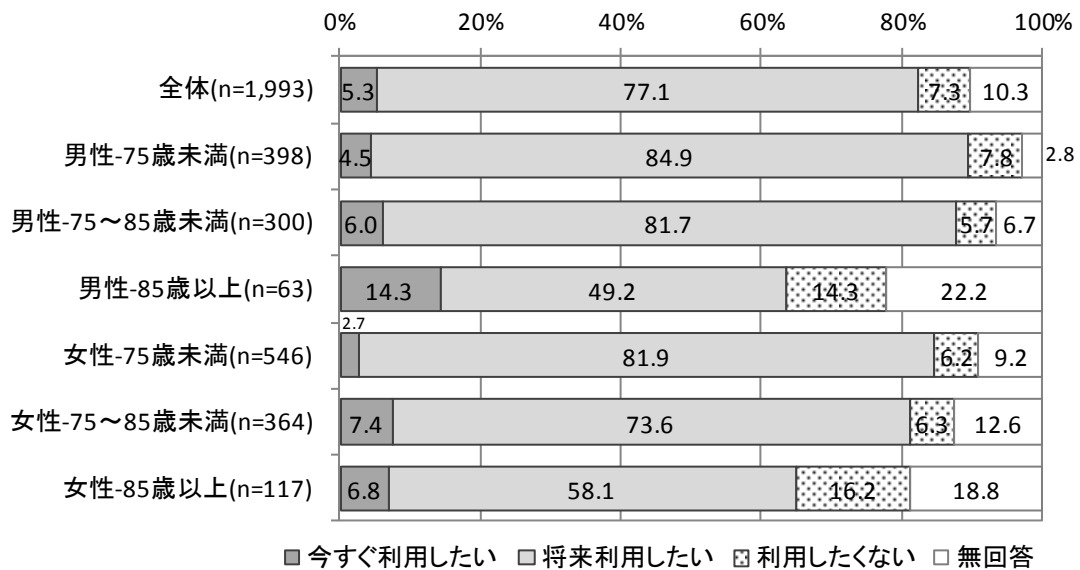


**J-問 5. 「緊急通報システム」を利用したいと思いますか。(1つに○)**

全体では、「緊急通報システム」を「今すぐ利用したい」人は 5.3%にとどまっていますが、「将来利用したい」人は 77.1%を占めています。

性・年齢階級別では、85歳以上の男性は「今すぐ利用したい」人は 14.3%で全体と比べて多くなっていますが、「将来利用したい」人は 49.2%と少なくなっています。

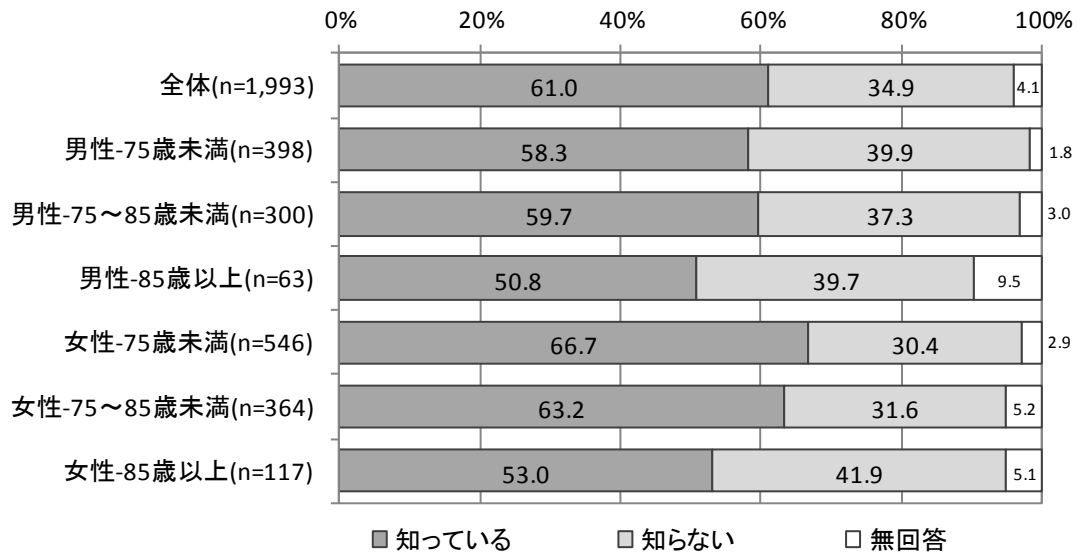
《「緊急通報システム」の利用意向》



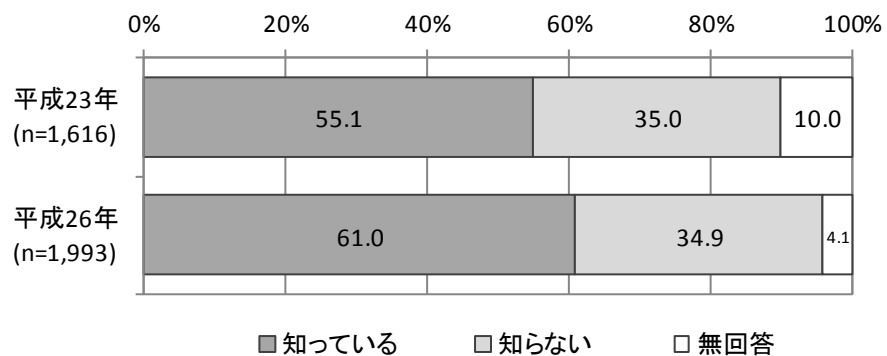
**J-問 6. 病弱や障害等のため食事を作ることが困難な高齢者世帯向けに、有料で夕食を提供し安否を確認する「給食サービス」を知っていますか。(1つに○)**

全体では、「給食サービス」を「知っている」人は61.0%、「知らない」人は34.9%となっています。過去の調査との比較では、「知っている」人は約6ポイント増となっています。

《「給食サービス」の認知度》



《「給食サービス」の認知度（過去調査との比較）》

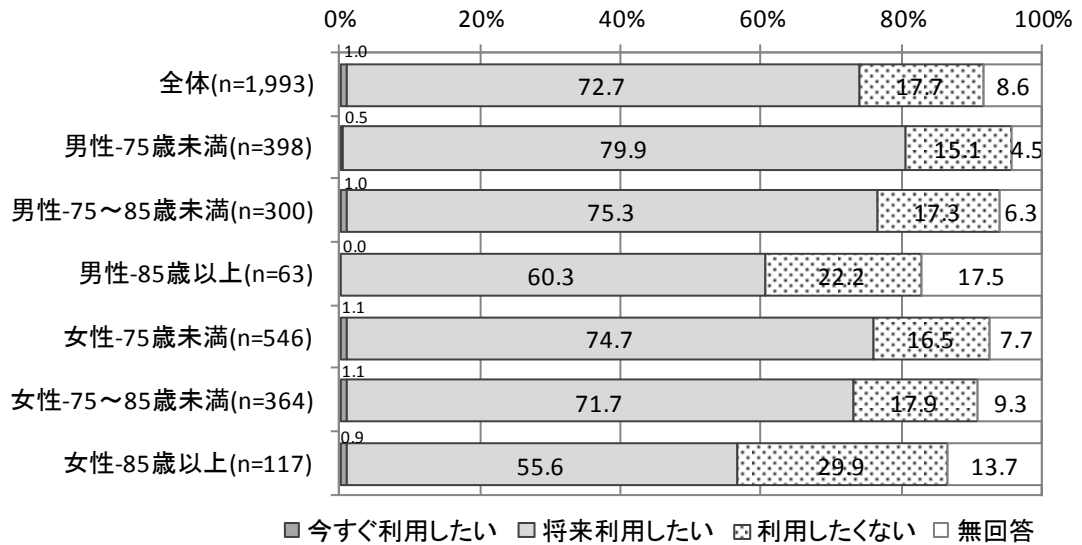


**J-問 7. 「給食サービス」を利用したいとしますか。(1つに○)**

全体では、「給食サービス」を「今すぐ利用したい」人は 1.0%にとどまっていますが、「将来利用したい」人は 72.7%となっています。

性・年齢階級別にみると、85歳以上では、男女ともに他年齢階級と比べて利用意向が低くなっています。

《「給食サービス」の利用意向》



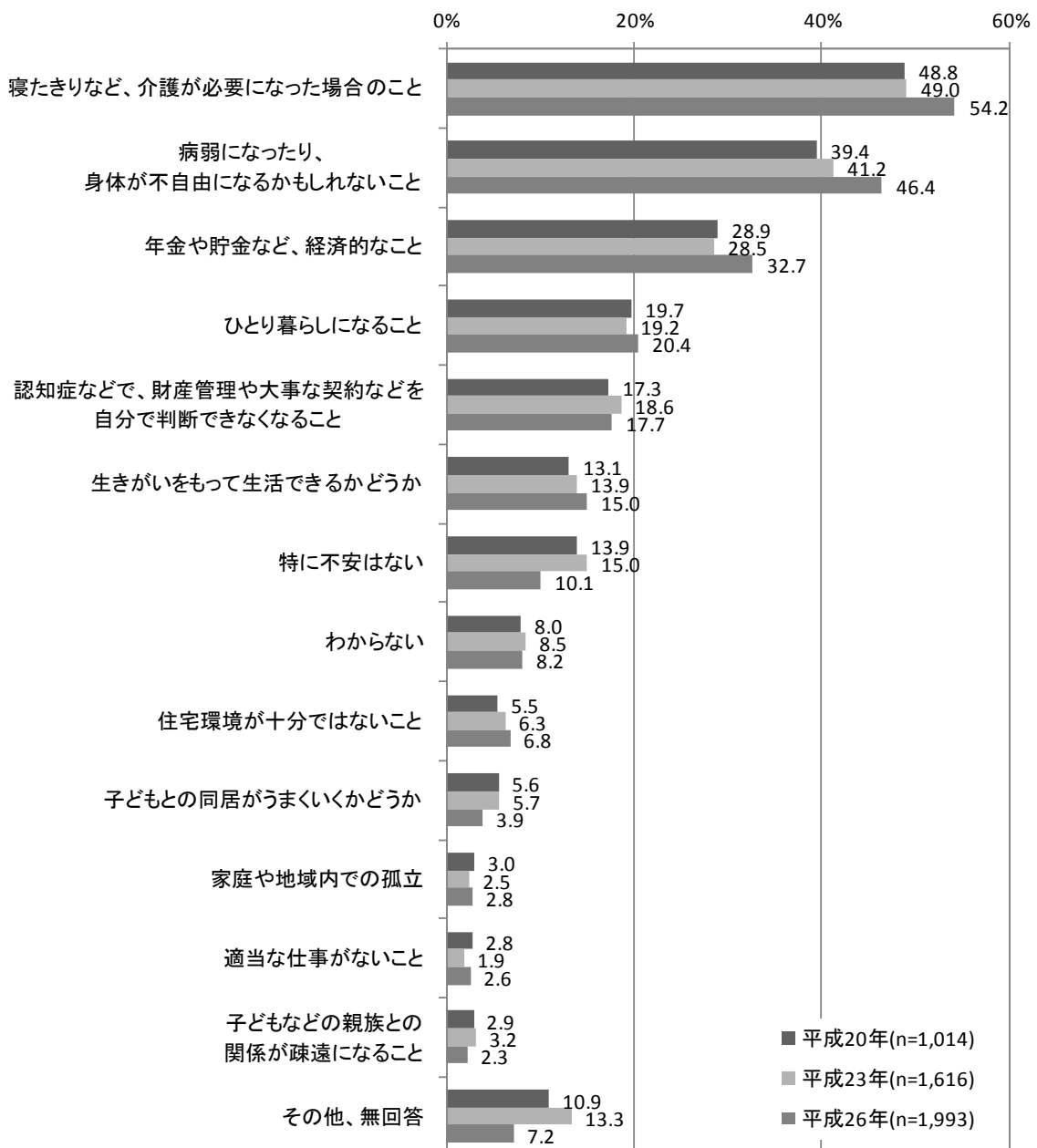
### 3. 今後のことについて

#### K-問 1. あなたは将来についてどのようなことに不安や心配ごともがありますか？

将来の不安や心配ごとは、主要な順位は過去の調査とほぼ変化はなく、「寝たきりなど、介護が必要になった場合のこと」が54.2%で最も多く、次いで「病弱になったり、身体が不自由になるかもしれないこと」(46.4%)、「年金や貯金など、経済的なこと」(32.7%)と続いています。

上位3つの項目は、前回調査時と比較してそれぞれ約5ポイント増となっており、要介護状態や経済状況についての不安や心配ごとが多くなっていることがうかがえます。

《将来についての不安や心配ごと》



## K-問 2. 高齢者が安心して暮らせるまちだと思いますか？

全体では、「どちらかといえば安心して暮らせる」が 39.7%で最も多くなっています。性・年齢階級別でも、「どちらかといえば安心して暮らせる」が最も多く、男女ともに 85 歳以上で「安心して暮らせる」が約 5 ポイント増えています。

《高齢者が安心して暮らせるまちだと思いますか》

